

Contents 目次

グローバル地域文化学部での学び	1
1 グローバル地域文化学部 カリキュラムの特徴	4
履修プロセス	5
2 科目履修について	6
学位の取得に必要なこと	6
単位制について	6
セメスター制について	6
グローバル地域文化学部設置科目について	7
3 科目登録について	8
登録単位数の上限	8
科目登録の方法	9
「免許・資格関係科目」・「自由科目」としての科目登録について	11
4 GPA制度による成績評価について	12
GPA制度の概要	12
履修中止制度	13
クレーム・コミッティ制度	13
追試験制度	13
成績評価結果の公表	13
科目担当者による授業講評	13
5 免許・資格課程の履修について	14
教職課程について	14
博物館学芸員課程・図書館司書課程・学校図書館司書教諭課程の科目について	15
6 各種手続き、その他注意事項について	16
7 2025年度 開講科目	22
開講科目一覧表の見方	22
選択必修科目B群（スタディ・アブロード科目群）について	23
外部試験結果による英語科目の単位認定について	30
2018年度以降生用カリキュラム	33
▶ヨーロッパコース 卒業要件、開講科目一覧表	34
▶アジア・太平洋コース 卒業要件、開講科目一覧表	42
▶アメリカコース 卒業要件、開講科目一覧表	50
免許資格関連科目・自由科目	58
講義テーマ一覧	65
●外国語による科目の開講について	67
●同志社大学学則、学部一般内規	74
●外国留学に関する諸規程	87
●学業履修について	89
●路線の不通または暴風警報・特別警報発表に伴う授業・期末試験の実施について	94
●グローバル地域文化学部 教員一覧	97
●学年暦	

グローバル地域文化学部での学び

同志社大学の前身である同志社英学校を1875年に設立した新島襄は、当初から「キリスト教主義」、「自由主義」、「国際主義」を教育理念として掲げました。そのような伝統を誇る大学の一角に、グローバル地域文化学部が誕生したのは2013年のことでした。ようやく10周年を越えたばかりの「末っ子」の学部ですが、一期生を先頭に、卒業生は多方面で活躍しています。

「GとRをつなぐ」——学部を紹介するときによく使うフレーズです。「グローバル (Global)」と「地域 (Region)」という対照的な言葉の結合に、みなさんは何を思い浮かべるでしょうか。日本から遠い地域で起こっている戦いによって、食料品や石油などのエネルギー源の価格が高騰していることでしょうか。それとも、英語だけではなく多くの言語に翻訳され、世界各地で愛されている日本のマンガやアニメのことでしょうか。

高度にグローバル化した私たちの生活は、あらゆる形で世界とつながっています。新型コロナウイルス感染症が蔓延した一時期、グローバル化のペースは鈍化しましたが、ポストコロナ時代となり、再びヒトやモノの交流が活発化しています。グローバル地域文化学部でも、日本内外を問わず各地に赴いて研鑽を積むという、本学部ならではの学びの実践が復活しつつあります。

その反面、ウクライナ戦争やイスラエル・パレスチナ紛争などに象徴される暴力的な対立や、地球温暖化が原因と考えられる異常気象や災害も頻発しています。その結果、世界情勢はますます緊迫化し、問題は複雑化の一途を辿るばかりです。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）によると、2022年の時点で難民の数は1億人を突破し、その後も増え続けています。こうした問題に、私たちはどのように対処すればよいのでしょうか。ひとつの価値観だけに頼っても、柔軟で創造的な解決方法を編み出すことは難しいでしょう。ましてや、ひとつの価値観から考えついた方法で解決しようとするれば一方的になってしまい、新たな摩擦や衝突が生じるに違いありません。

私たちの学部は、グローバル化した社会を対立や危機ではなく、豊かな共生にしたいと願う、ジョン・レノンの「イマジン」風に言えば「ドリーマー」が集い、共に学ぶ場です。豊かな共生に少しでも近づくために、現代の地域社会が抱える諸問題をグローバルな視点から見定め、その解決方法を探求する力の養成を目指しています。また、困難を抱える人々に寄り添い、共に考える姿勢も大切にしています。本学部のカリキュラムは、そのような観点から編成されています。基礎となる外国語教育、地域文化の形成や問題点を理解するための講義群、議論や発表を通じて知識を深めるセミナー群など、メニューは多彩です。本学部のカリキュラムを最大限に利用して、みなさん自身で主体的に、体系的な学びを本学部で実現してください。

この履修要項は、多彩なカリキュラムのなかでみなさんが道に迷わないためのガイドブックです。よく読んで、グローバル地域文化学部での4年間を実りあるものとしてください。

グローバル地域文化学部
学部長 落合明子

目指すべき人物像

グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科は、ヨーロッパ、アジア・太平洋、南北アメリカ3つの諸地域における文化の歴史的背景や現状を正確に理解しつつ、グローバル社会に対応できる幅広い教養をもって国内外のあらゆる場面で活躍し、本学の教育理念のひとつである国際主義を更に推進できる、良心と自由な精神を備えた人物の育成を目的としている。従って、本学部では、世界の中で自身の地歩をしっかりと持つ自立心と独創性、自身とは異なる価値観を受け入れることのできる、広い識見に支えられた寛容さと柔軟さ、および隣人との関係性の内に地球規模の課題を発見し、希望ある共生社会を構想する高い志を身に付けさせる。

- 複数の外国語を運用することができ、地域文化に関する学際的な知識を持つとともに、それらをグローバルな視野から多角的かつ批判的に考察することができる。(知識・技能)
- 世界の惨状や人々の哀しみに感応しつつ現代世界が抱える諸問題を自ら発見・理解するとともに、その解決へ向けた方途を柔軟かつ独創的に思考することができる。(思考力・判断力・表現力)
- グローバル社会の流動的な境界に対する鋭敏な感性を持ち、他者を尊重する寛容さや協調性および良心ある知性に基づいて、希望ある共生社会の構想と実現へ向けて貢献できる。(主体性・多様性・協働性)

〈2018年度以降生対象〉カリキュラム・ポリシー

本学部のカリキュラム編成の基本方針は、世界の諸地域が抱える現代的問題とグローバルな課題の間の密接な関連を理解し、国内外のあらゆる場面で活躍できるような人物を育成することにある。この基本方針に基づき、1学科3コースのカリキュラムとして必修科目(28単位)、選択必修科目A群(6単位以上)・B群(1単位)・C群(24単位以上)、選択科目A群(20単位以上)・B群・C群(16単位以上)・D群を設置し、124単位の修得を卒業要件とする。

▶必修科目

- 必修科目群の講義科目は、1年次に8単位を履修し、グローバル化する世界や各地域の現状に関する基礎知識やそうした現状を学ぶ視点などを習得する(知識・技能)。
- 必修科目群の演習科目は、1年次から4年次まで段階的に12単位を履修する。1年次では大学で学修を進めていく上で基本的な姿勢や技法を主に身に付けること(知識・技能)、3年次から4年次にかけては卒業論文の執筆に向けて学術的な研究テーマを立て、自ら調査・研究を進められるようになることに力点を置く(主体性・多様性・協働性)。(2年次は、下記選択必修科目A群のグローバル地域文化教養セミナー科目群にある演習を選択する。)
- 4年間の学びの集大成として、自ら問いを立てた研究テーマについて、4年次に個別指導を受けつつ、各自で研究・調査を進め、卒業論文(8単位)としてまとめる(主体性・多様性・協働性)。

▶選択必修科目A群

- 選択必修科目A群(グローバル・イシュー科目群およびグローバル地域文化教養セミナー科目群)では、主に1年次から3年次にかけてグローバル・イシュー科目群から4単位以上、およびグローバル地域文化教養セミナー科目群から2単位以上を含む6単位以上を選択履修する。複数の国や地域にまたがるグローバルな現象と課題の基礎知識を獲得し(知識・技能)、調査や分析を行なうための学問的手法を身に付け(思考力・判断力・表現力)、希望ある共生社会を積極的に模索する(主体性・多様性・協働性)。

▶ 選択必修科目B群

- ・選択必修科目B群（スタディ・アブロード科目群）では、既に修得した外国語運用能力や当該地域に関する知見を生かしつつ、異なる歴史や文化を背景とする人々と日々積極的に交流することを目標に、1単位を選択履修する（主体性・多様性・協働性）。

▶ 選択必修科目C群

- ・選択必修科目C群（外国語科目群）では、諸地域の歴史や文化を正確に理解するためのスキルとして複数の外国語運用能力を高めることを目指し、英語に加え11言語の中から1言語を選択し、主に1年次から3年次にかけて、第一言語は14単位以上、第二言語は10単位以上を履修する（知識・技能）。

▶ 選択科目A群

- ・選択科目A群の「歴史」と「文化」の講義科目群では、1年次から3年次にかけて基礎から発展へと段階的に履修することを通じて、各地域の文化と社会の歴史的形成過程や多様性について基礎的な知識を習得し（知識・技能）、諸現象を的確に理解・分析する能力を培う（思考力・判断力・表現力）。また、主体的かつ対話的な学びを通じて、多様性に富んだ社会に適応し、異なる歴史や文化をもつ人々と協働できる力を養う（主体性・多様性・協働性）。
- ・選択科目A群の「課題」分野の講義科目群では、現代世界が抱える特定のトピックに絞って深く学び、その問題の打開策について検討し（思考力・判断力・表現力）、良心ある知性をもって他者と協調しつつ行動する志を育む（主体性・多様性・協働性）。
- ・選択科目A群の実践科目群では、自ら問いを立てて調査を行う方法を他者との関わりの中で実践的に学ぶ科目（主体性・多様性・協働性）や、調査に基づく研究成果を効果的にプレゼンテーションするための能力を養うための科目を配置する（知識・技能）。

▶ 選択科目B群

- ・選択科目B群（地域文化研究隣接科目群）は、必修科目群および選択科目A群を補完・強化する社会科学系の講義科目であり、各自の関心に沿って履修し、研究対象地域や研究方法などに関する知識を深めることを目指す（知識・技能）。
- ・各言語を用いて各地域の研究に必要な語学力、および地域文化研究のための研究能力の向上を目指し、最終的に卒業論文を現地語資料の読解をととして執筆できる能力を育むことを目的とする（知識・技能）。

▶ 選択科目C群

- ・選択科目C群は、全学共通教養教育科目、他学部設置科目、免許資格関連科目、大学コンソーシアム京都単位互換科目、同志社女子大学単位互換科目などから構成され、グローバル社会に対応できる幅広い知識と柔軟な発想力の習得・強化を目指し、16単位以上を選択履修する（知識・技能および思考力・判断力・表現力）。

▶ 選択科目D群

- ・選択科目D群では、各言語を用いて各地域の研究に必要な語学力、および地域文化研究のための研究能力の向上を目指し、最終的に卒業論文を現地語資料の読解をととして執筆できる能力を育むことを目的とする（知識・技能・表現力）。

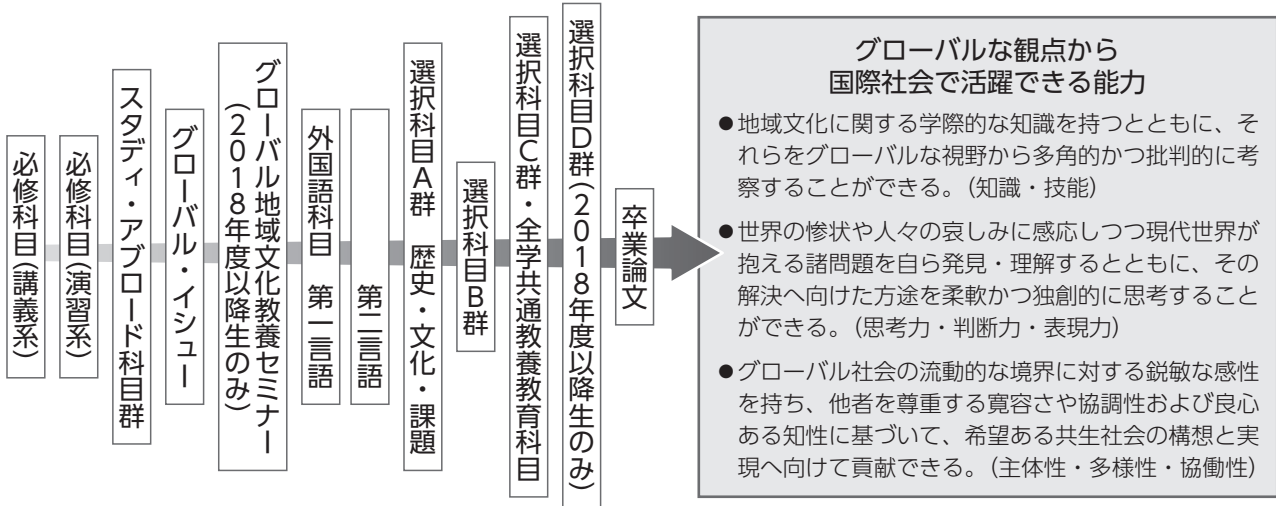
▶ 免許・資格関連科目

- ・中学校教諭（社会）および高等学校教諭（地理歴史）の免許取得に必要な免許・資格関連科目を設置する。該当する免許の取得を希望する学生は、免許・資格関連科目として指定された科目の中から所定の科目を履修する（知識・技能）。
- ・博物館学芸員、図書館司書、および学校図書司書教諭の免許の取得を希望する学生は、免許資格関連科目として指定された科目の中から所定の科目を履修する（知識・技能）。

1

グローバル地域文化学部

カリキュラムの特徴



			ヨーロッパコース	アジア・太平洋コース	アメリカコース
コースの特色			ヨーロッパ各地域の固有の歴史・文化・社会を詳しく学びながら、協調、対立、摩擦、調和といった様々な関係の中から問題点を把握し、グローバルな観点からヨーロッパを考察する。	アジア・オセアニア地域をひとつのエリアとしてとらえ、個別の国家・民族の歴史だけでなく、文化衝突、歴史理解、民族移動、ジェンダーなどの観点から、グローバル化における課題を考察する。	南北アメリカ大陸およびその周辺地域を意味する「アメリカス (the Americas)」全体を視野に入れ、そこに含まれる多様性や、それを生み出した世界の他の地域との関係性について考察する。
卒業論文のテーマ(例)			● イギリスのムスリムの若者たちとテロリズムの関係性 ● ロシア移行期以降の軌跡 ● フランス移民第二世代と「多様性」の確保 ● メディアから読み解くロマ人差別の実態	● NGOにみる中国における市民社会の動向 ● フィリピン、ミンダナオ紛争における紛争解決と平和構築 ● 台湾・香港を中心とした映画に描かれる“日本” ● 韓国メディアと日韓関係	● 現代アメリカにおける貧困のスパイラル ● アメリカの長引く対テロ戦争とベトナムの影 ● メキシコ農村地域における児童労働と就学 ● 『風と共に去りぬ』に映る黒人差別
外国語の履修方法	【初修型】	第一言語	ドイツ語・フランス語・スペイン語*・ロシア語	中国語・コリア語	スペイン語
		第二言語	英語	英語	英語
	【英語型】	第一言語	英語	英語	英語
		第二言語	(第一推奨言語)ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語／(第二推奨言語)イタリア語・アラビア語・トルコ語	(第一推奨言語)中国語・コリア語／(第二推奨言語)インドネシア語・トルコ語・アラビア語	(第一推奨言語)スペイン語／(第二推奨言語)ポルトガル語・フランス語

※ヨーロッパコース所属でスペイン語を第一言語とすることができるのは2018年度以降生のみです。

〈2018年度以降生用〉

履修プロセス

			1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	講義系	8単位	グローバル地域文化論Ⅰ※ ¹ グローバル地域文化論Ⅱ※ ² 研究入門Ⅰ 研究入門Ⅱ			
	演習系	12単位	グローバル地域文化導入セミナー グローバル地域文化入門セミナー		グローバル地域文化発展セミナーⅠ・Ⅱ	グローバル地域文化専門セミナーⅠ・Ⅱ
	卒業論文	8単位				卒業論文
選択必修科目	【A群】グローバル・イシュー科目群	4単位以上				
	グローバル地域文化教育セミナー科目群	2単位以上		グローバル地域文化教育セミナー		
	【B群】スタディ・アブロード科目群	1単位分	スプリングプログラム／サマープログラム／セメスタープログラム／海外インターンシップ／海外語学プログラム(英語)／留学とキャリア形成／グローバル地域文化学の発信			
	【C群】外国語 第一言語 第二言語	14単位以上 10単位以上	(36・44・52ページ参照)			
	【A群】(地域文化研究科目群)	歴史 文化 課題	20単位以上 (所属コースの科目から14単位以上)	地域の歴史 地域の文化 地域の課題		
【A群】(実践科目群)			質的調査の方法／計量分析の方法／グローバル地域文化学の実践1～5／発信スキル実践			
選択科目	【B群】地域文化研究隣接科目群					
	【C群】全学共通教育科目等	16単位以上				
	【D群】原語で学ぶ地域文化研究科目群		原語で学ぶ地域文化研究科目			

※1 2018年度生はグローバル地域文化論

※2 2018年度生はグローバル・スタディーズ論

2 | 科目履修について

■学位の取得に必要なこと

グローバル地域文化学部で学位を取得するためには、4年以上修学し（※休学期間は修学期間には含まれません）、所属するコースが定めるカリキュラムに沿って授業科目を履修し、所定の単位（「卒業のための要件」を満たす単位。以後、「卒業単位」と表記します）を修得しなければなりません。卒業要件を満たした場合、学士（グローバル地域文化学）の学位が授与されます。

■単位制について

学部ごとの教育課程（カリキュラム）に定められた授業科目を登録・履修し、試験などに合格することにより、それぞれの授業科目所定の単位を得て、修業年限中に卒業に必要な単位数を修得していく制度です。

■セメスター制について

1年を2つの学期（春学期、秋学期）に分け、学期ごとに完結する授業を行い、成績評価も学期ごとに行う制度です。各学期末に成績を通知します。

ただし、秋学期に履修する科目も春学期の登録期間に登録してください。

■グローバル地域文化学部設置科目について

グローバル地域文化学部は、専門分野を体系的に学ぶことができるよう、授業科目を「必修科目」、「選択必修科目 A・B・C」、「選択科目 A・B・C・D」、「自由科目」の区分で開講しています。

■必修科目

学部の専門分野を学ぶ上で核となる科目群です。段階的に学べるよう、科目ごとに履修年次が定められています。

■選択必修科目

A 群(グローバル・イシュー科目群) (グローバル地域文化教養セミナー科目群 ※2018年度以降生のみ)	コース横断的に、専門分野を応用的、専門的に学修する科目群です。
B 群(スタディ・アブロード科目群)	主に海外留学プログラムを配する科目群です。本学部では在学中に、海外で実施されるプログラムに参加することを強く推奨しています。
C 群(外国語関連科目群)	外国語科目を学ぶ科目群です。英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語、インドネシア語、トルコ語、ポルトガル語、アラビア語、イタリア語の中から選択して履修できます。ただし所属コースと、第一言語を英語とするか英語以外の外国語とするかによって選択には若干の制限があります。

■選択科目

A 群(地域文化研究科目群) (実践科目群)	地域文化研究科目群は、各コースの専門分野を3分野のテーマ別に学修する講義科目群です。講義科目の核となる科目群で、段階的に学べるよう、科目ごとに履修年次が定められています。 実践科目群は、コース横断的に、調査方法やプレゼンテーション技能を実践的に学修する科目群です。
B 群(地域文化研究隣接科目群)	上記、選択科目 A 群を補完する講義科目群です。
C 群	免許・資格関連科目、全学共通教養教育科目、他学部設置科目、大学コンソーシアム京都単位互換科目、同志社女子大学単位互換科目から、選択して履修できます。
D 群(2018年度以降生のみ)	各言語を用いて各地域の研究に必要な語学力、および地域文化研究のための研究能力の向上を目指し、最終的に卒業論文を現地語資料の読解をととして執筆できる能力を育むことを目的とします。

■自由科目

単位を修得しても卒業単位としては認められません。ただし、自由科目が免許・資格関係科目に該当する場合は、免許・資格関係科目の単位として認められます。

3 | 科目登録について

■登録単位数の上限

(1) 1年間の登録単位数の上限

1年間に登録できる単位数は以下の通り定められています。

年間最高登録単位数	44単位
セメスター最高登録単位数	32単位
セメスター最低登録単位数	1単位

(2) 「免許・資格科目」として登録する場合の上限

免許資格の取得を目的とする場合、科目登録の際に「免許・資格科目」として申請すれば、(1)の上限を超えて登録することができます。(本誌11頁参照)

■科目登録の方法

この項では、科目登録の大まかな手順を紹介します。科目登録についての詳細は『科目登録の手引き』『登録要領』を参照してください。

また、今年度の開講される科目は、本誌「7. 2025年度開講科目」（22頁～）に掲載しています。

1 今年1年間の自分自身の時間割を決めます。

- まず、所属するコースのカリキュラムを確認します。
☞ 本誌にて所属するコースの卒業要件を参照してください。
- 在学中の自分自身の学修目標を達成するため、この1年間に「どのような授業を履修すればよいのか」、その履修計画を立てます。



2 外国語の履修パターンを選びます。

グローバル地域文化学部では1年次に、外国語の履修パターンを選ぶ必要があります。1年次生は所定のフォームに初修型と英語型のどちらを選択するかを入力し、期限までに回答してください。初修型と英語型の詳細については（ヨーロッパコース36頁、アジア・太平洋コース44頁、アメリカコース52頁）を読んで確認してください。



3 今年度の履修科目を選びます。

- 「開講科目一覧表」を参照し、それぞれの科目の単位数や履修できる学年、担当者、開講期間、開講校地などを確認します。
- 科目の内容は「シラバス」（大学ホームページ）を参照してください。
☞ 登録した科目を途中で放棄すると不合格となり成績に影響します。自分の学びたい内容かどうかをよく確認してから科目登録してください。
- 時間割は「開講科目一覧表」、「シラバス」、「グローバル地域文化学部2025年度時間割表」（別冊）で確認できます。



4 登録期間に今年度の履修科目を登録します。

- WEB (DUET) にて希望する科目の登録を行います。

<https://duet.doshisha.ac.jp/>

- 科目によっては「先行登録」が必要な科目があります。

☞ 定員が設けられている、選考を行うなどの理由により、先行して登録手続を行う科目です。

- 科目登録の際は、「科目名」「クラス」を間違えないよう注意してください。また、「登録エラー」が生じないように登録してください。

☞ 同じ曜日・講時に2科目以上登録したり、同じ曜日の連続した講時に別の校地の開講科目を登録したりすると「登録エラー」となります。



5 登録科目の確認をしてください。

- 登録科目確認期間に「登録科目確認表」をDUETよりダウンロードしてください。この確認表で「登録エラー」を確認してください。エラーがある場合、必ず「登録エラー修正」の手続を行ってください。
- 登録エラーがなく、計画通りの科目登録ができていることを確認すれば、科目登録の手続は完了です。



6 授業開始1ヶ月後に登録科目の履修を中止することができます。

授業開始1ヶ月後に「履修中止」の期間が設けられており、授業を受講した結果、望ましい評価が得られないと判断した科目の履修を中止することができます。不本意なまま受講を続けた科目の評価がGPAに悪影響を及ぼすことのないよう設けられた制度です。期間外の履修中止はできません。

なお、夏期集中科目については授業開始後に別途履修中止期間を設けます。

科目登録に関する日程や教室などは、
『登録要領』のほか、掲示板やホームページにも掲載されます。
期限を過ぎると手続ができませんので、
注意してください。

■「免許・資格関係科目」・「自由科目」としての科目登録について

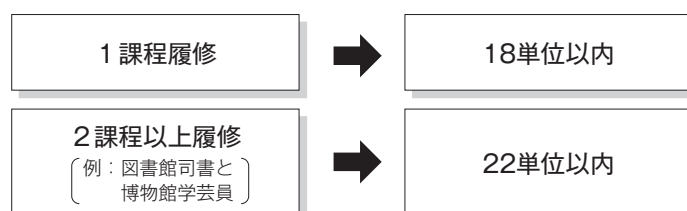
☞ 免許・資格課程の履修については、14頁を参照してください。

「免許・資格関係科目」としての科目登録

教員免許や図書館司書、学校図書館司書教諭、博物館学芸員の資格取得のために履修が必要な科目については、各年次の最高登録単位数とは別枠で履修することができます。この場合、「免許・資格関係科目」として登録します。科目登録時に登録コードの種別欄に「M」をつけて登録してください。ただし、「免許・資格関係科目」として登録した場合は、卒業単位には算入されません。

免許・資格関係科目として1年間に登録できる最高登録単位数は、各年次の年間最高登録単位数とは別に、1課程では18単位、2課程以上の場合は22単位です。

免許・資格関係科目としての年間登録単位数



- 免許・資格関連科目の登録種別欄で「M」を選択して登録（M登録）するには、履修を希望する免許資格課程の「仮登録（一般登録期間にDUETにて可能）」もしくは「課程登録（説明会出席等の所定手続が必要）」を必ず行わなければなりません。手続方法は免許資格課程や年次によって異なるので免許資格課程センターの掲示で確認を行ってください。
- 「仮登録」もしくは「課程登録」を行った課程で定められている科目に限りM登録を行うことが可能となります。「仮登録」もしくは「課程登録」が完了していない場合、M登録することはできず登録エラーとなるので注意してください。

「自由科目」としての科目登録

卒業に必要な単位として算入しない科目を自由科目といいます。科目登録時に登録種別「Z」をつけて登録することにより、任意の科目を自由科目として履修することが可能です。自由科目は卒業単位やGPAには算入されません。ただし、登録制限単位数には算入されますので、注意してください。

	免許・資格関係科目	自由科目
GPA（平均点）への算入は？	×NO（算入しない）	×NO（算入しない）
上限単位を超えての登録は？	○YES（可） （科目登録時に「M」を付けて登録する。）	×NO（不可）
卒業単位への算入は？	×NO（算入しない）	×NO（算入しない）
免許資格取得に有効か？	○YES（可）	○YES（可）

4 GPA制度による成績評価について

GPA制度は、大学教育における成績評価制度のグローバル・スタンダードとして、現在、国際的にもっとも認知度の高い制度です。大学教育の国際的競争環境に関する教員と学生双方の自覚を高め、GPAを核とした的確な履修指導や学習支援システムを充実させることにより、学生の自立的な自己教育を支援し、本学の教育を質的に一層向上させることを目的としています。

■GPA制度の概要

各科目の成績評価を以下の判定基準にしたがい、5段階（A、B、C、D、F）で評価し、各成績評価段階に4.0～0.0の評点（Grade Point）を付与して、1単位あたりの評点平均値（Grade Point Average）を算出する方法です。GPAは、不合格を意味するF評価の成績を含めて以下の計算式で算出しますが、F評価であった科目を再履修してD以上の評価を得た場合、最後についたF評価は新たな評価に書き換えられて算出されます。

◆判定基準

評価	評点	判定内容
A	4.0	特に優れた成績を示した
B	3.0	優れた成績を示した
C	2.0	妥当と認められる成績を示した
D	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

〔GPA算出方法〕

$$(\text{A} \times 4.0 + \text{B} \times 3.0 + \text{C} \times 2.0 + \text{D} \times 1.0 + \text{F} \times 0.0) \div (\text{A} + \text{B} + \text{C} + \text{D} + \text{F})$$

①～⑤はA～Fの評価がついた科目の単位数の合計

成績通知書には履修した全ての科目の評価とGPAが記載され、成績証明書には不合格科目を除く履修した全ての科目の評価とGPAが記載されます。

※同志社女子大学や大学コンソーシアム京都の単位互換制度、早稲田大学学部交流生制度、在学留学制度などによって修得した単位は、A・B・C…評価ではなく、「認定」または「不合格」によって評価されます。これらの評価については、GPAに算入されません。

※一部「合格／不合格」で評価される科目もあり、当該科目はGPAには算入されません。

◆成績評価の書き換えについて

F評価であった科目を再履修してD評価以上を得た場合、直近のF評価は新たな評価に書き換えられます。

〔例〕

●〈再履修回数1回の場合〉

履修年度	科目名・クラス	評価		履修年度	科目名・クラス	評価
2024	グローバル地域文化論Ⅰ	F	書き換え	2025	グローバル地域文化論Ⅰ	C

2024年度の「F」評価が2025年度の「C」評価によって書き換えられます。書き換えられたことによって2024年度の「F」評価の評点「0.0」は算入されなくなります。

●〈再履修回数2回の場合〉

履修年度	科目名・クラス	評価	成績確定 書き換え	履修年度	科目名・クラス	評価
2023	グローバル地域文化論Ⅰ	F		2023	グローバル地域文化論Ⅰ	F
2024	グローバル地域文化論Ⅰ	F		2025	グローバル地域文化論Ⅰ	C

2024年度の「F」評価によって2023年度の「F」評価は確定。よって以後の成績通知書にこの「F」評価は記載されます。

2024年度の「F」評価が2025年度の「C」評価によって書き換えられます。書き換えられたことによって2024年度の「F」評価の評点「0.0」は算入されなくなります。

〈注意事項〉



- 「大学コンソーシアム京都単位互換科目」「同志社女子大学単位互換科目」「プロジェクト科目」は成績を書き換えません。

■履修中止制度

1ヶ月程度授業を受講し、望ましい評価が得られないと判断した科目については、定められた期間中に、一定の条件のもとに、登録科目の履修中止を認めます。期間外の履修中止はできません。

なお、夏期集中科目については授業開始後に別途履修中止期間を設けます。

■クレーム・コミッティ制度

大学が学生からの授業内容・授業方法に関する改善の要望や成績評価に関する質問や異議申し立てを受け付け、調査し回答するために、クレーム・コミッティ制度を設けています。

- 受講している科目の授業内容や授業方法に関する改善の要望がある場合は、グローバル地域文化学部事務室に申し出てください。なお、いかなる場合であっても、相談者の学生IDや氏名が授業担当者に明かされることはなく、相談によって不利益を被ることはありません。

■追試験制度

全年次生を対象として病気またはやむを得ない事由により、定期試験ならびにグローバル地域文化学部教授会が認める臨時試験（中間テスト等）を受験できなかった場合、追試験の申請を行うことができます。詳細については89頁「学業履修について」及び学内の掲示板で確認してください。

■成績評価結果の公表

各学部・研究科が定める科目を除き、授業クラス毎の平均点および評点の分布を大学ホームページ上で公開します。

■科目担当者による授業講評

科目担当者が、学期末試験やレポート試験結果および「学生による授業評価アンケート」などを含めた授業関連活動に関する講評を、大学ホームページ上で公開します。教員と学生間の教育的フィードバックを目的として実施されています。

5 | 免許・資格課程の履修について

本学では、次の4課程を設置しており、「免許・資格」と記載する場合はこれら4課程を指します。

本学設置資格課程	グローバル地域文化学部にて、取得可能な資格
教職課程	○
博物館学芸員課程	○
図書館司書課程	○
学校図書館司書教諭課程	○

グローバル地域文化学部では、上記の4課程を設置しています。免許・資格課程の履修については、必ず自身の入学年度に応じた『免許・資格関係履修要項』で確認してください。4課程にわたって重複している科目は、修得すれば該当のいずれの課程の単位としても認められます。

なお、免許・資格関係に関する連絡事項はグローバル地域文化学部掲示板とは別の掲示板で周知されますので、注意してください。

- ・免許資格課程の履修にあたっては、卒業に必要な単位に加え、各免許資格課程で定められた所要単位を修得しなければなりません。1年次から計画的に履修する必要があります。

■教職課程について

取得できる教員免許教科

ヨーロッパコース	中一種免（社会）	高一種免（地理歴史）
アジア・太平洋コース	中一種免（社会）	高一種免（地理歴史）
アメリカコース	中一種免（社会）	高一種免（地理歴史）

教職課程の科目について

教員免許状取得資格については『教育職員免許法・同施行規則』に定められており、各分類について定められた単位を修得しなければなりません。各分類と本学の科目の対応については、『免許・資格関係履修要項』で確認してください。

また、それらの科目が卒業必要単位として認められるかどうかは、後掲の「7. 2025年度開講科目」で確認してください。グローバル地域文化学部での必修科目、選択必修科目、選択科目（他学部設置科目を含む）は卒業必要単位として認められます。

■博物館学芸員課程・図書館司書課程・学校図書館司書教諭課程の科目について

これら3課程の科目は、それぞれ「博物館法施行規則等」「図書館施行規則に定める科目」「学校図書館司書教諭講習規定に定める科目」に定められています。各法令に定められた科目と本学の科目との対応は、『免許・資格関係履修要項』で確認してください。

また、それらの科目が卒業必要単位として認められるかどうか、また、認められる場合はどのカテゴリの科目として認められるのかは、本誌の「7. 2025年度開講科目」で確認してください。グローバル地域文化学部での必修科目、選択科目（他学部設置科目を含む）は卒業必要単位として認められます。

6 各種手続き、その他注意事項について

ここでは、学籍・学費・学業履修に関する手続、規定事項などについて記載します。

■授業時間・試験時間

授業時間、試験時間については以下のとおりです。ただし、学年暦で定める各学期期末試験期間中以外に実施される試験の実施時間については各科目担当教員の指示に従って受験してください。

◆授業時間

1 講時	9 : 00 ~ 10 : 30
2 講時	10 : 45 ~ 12 : 15
3 講時	13 : 10 ~ 14 : 40
4 講時	14 : 55 ~ 16 : 25
5 講時	16 : 40 ~ 18 : 10
6 講時	18 : 25 ~ 19 : 55
7 講時	20 : 10 ~ 21 : 40

◆試験時間

1 講時	9 : 20 ~ 10 : 30
2 講時	11 : 00 ~ 12 : 10
3 講時	13 : 25 ~ 14 : 35
4 講時	15 : 05 ~ 16 : 15
5 講時	16 : 45 ~ 17 : 55
6 講時	18 : 25 ~ 19 : 35
7 講時	20 : 05 ~ 21 : 15

■警報時の取扱い

路線が不通の場合および暴風警報、特別警報が発表された場合、授業の休講や試験の中止がなされる場合があります。※大雨警報は対象外です。

詳細については94頁を参照してください。なお、警報等への当日の対応については本学ホームページ上で周知する場合がありますので、必ず確認をするようにしてください。なお、休講や試験中止となった場合の補講などについては各科目担当教員の指示に従ってください。

■身上変更について

在学期間中に住所（本人、父母等両方を含む）、姓名、連帯保証人に変更が生じた場合、至急以下のとおり変更手続を行ってください。

変 更 事 由	手 続 方 法
本人の現住所・電話番号の変更	学修支援システムDUET上「住所変更」にて修正
父母等住所・電話番号の変更	「住所変更届」を提出 提出先：グローバル地域文化学部事務室
姓名の変更	戸籍抄本とともに「改姓（名）届」を提出 提出先：グローバル地域文化学部事務室
連帯保証人の変更	「連帯保証人変更届」を提出 提出先：グローバル地域文化学部事務室

■在学年限および休学可能期間について

在学年限とは、本学に在学できる最大の期間をいい、下表に記載の年限を超えて在学することはできません。ただし、休学した期間は在学期間に算入しません。なお、休学できる期間も下表のとおり定められています。

課 程	在学年限	休学可能期間（通算）
学 部	8 年	4 年

■休学・退学について

疾病その他やむを得ない事由により休学、退学を希望する場合、定められた期間までに「休学願」、「退学願」を提出する必要があります（各願の様式はグローバル地域文化学部事務室にて配布）。各願の提出後、グローバル地域文化学部教授会の審議を経て正式に休学、退学が承認されます。休学期間は1年または半年とし、春学期時に休学を申請する場合のみ1年間の休学を申請することができます。申請にあたり不明な点がある場合は必ず余裕をもって事前にグローバル地域文化学部事務室まで問い合わせてください。

願の種類	提 出 締 切
休学願	各学期の講義開始日まで
退学願	各学期終了日まで

■卒業見込について

4年次春学期の科目登録期間において、卒業に必要となる科目をすべて登録すると「卒業見込」の状態となり、就職活動や大学院入試などで必要となる「卒業見込証明書」が発行できるようになります。

春学期時に卒業見込証明書が必要な場合は必ず春学期登録期間に「卒業見込」状態となるよう1年間の科目登録を行ってください。

■学費について

学費については、大学から郵送する振込依頼書を使用し、指定の期日までに納入を行ってください。延納・分納を希望する場合は所定の期間内に申請手続を行ってください。

各学期の学費納付書の送付予定は次のとおりです。

■春学期用（年額用を含む）：4月中旬

■秋学期用：10月中旬

休学申請を行った場合、別途休学在籍料納入用の振込依頼書を後日送付しますので、上記期間に送付される通常の振込依頼書は使用しないでください。

■各種証明書について

就職活動や留学などで各種証明書が必要となる場合、志高館1階に設置されている証明書発行機より出力することができます。発行可能な証明書は次の表のとおりです。また、発行可能時間は時期により異なりますので注意してください。

証明書の種類	発行について
在学証明書、成績証明書、卒業見込証明書、 教育職員免許状単位習得見込証明書	和文：1通100円
	英文：1通300円
健康診断証明書 (4年次生以上のみ。3年次生以下は保健センターにて申請すること)	春学期登録期間中に実施される定期健康診断を受診している必要がある
学割証(※)	年度内10枚が上限。就職活動などで10枚以上必要となる場合はグローバル地域文化学部事務室に相談すること

(※)がついた証明書については大阪サテライト・キャンパス、東京サテライト・キャンパスでも発行可能です。

■学生への連絡について

科目登録や授業に関する連絡について、学部掲示板（志高館1階）、大学が交付したメールアドレス、学修支援システムDUETを通じて連絡することがあります。大切な連絡を見落とすことのないよう、登校時には掲示板を確認してください。また、DUETや大学が交付したメールアドレスに送付されるメッセージを携帯電話やスマートフォンなどに転送する設定を必ず行い、通知を見落とさないよう努めてください。

■各種窓口について

学生生活上、不明な点が生じた場合は各事務室窓口まで問い合わせてください。以下に一例を示しますので参考にしてください。

相談内容	取扱窓口
科目履修、休学・退学、証明書、成績等に関する事	グローバル地域文化学部事務室
留学等に関する事	国際センター国際課（扶桑館1階）
学費延納・分納、奨学金、学生生活等に関する事	学生生活課（寒梅館1階）
障がい学生支援、SOGI等に関する事	スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室（寒梅館1階）

■欠席届について

授業に欠席し、その理由を授業担当者に伝える場合は、欠席届をご利用ください。欠席届の用紙はグローバル地域文化学部事務室で配布していますので、必要事項を記入の上、授業担当者に直接提出してください。なお、欠席届は任意で提出するものですので、届出必要科目は各自で判断してください。

提出の際の留意点

- 欠席届は、欠席の事由を授業担当者へ伝える届です。本学には「公欠」の制度はありませんので、「追試験の対象となる事由」に該当する事由か否かにかかわらず、欠席届の取扱い（欠席扱いにしない・する等）は、担当者の判断に委ねられます。
- 欠席の事由を客観的に証明する書類がある場合は、欠席届に添付して提出してください（コピー可）。

例) 病気の場合は「診断書」、

就職試験の場合は「受験先企業等が発行する就職試験受験証明書（本学所定用紙あり）」など

※ただし、欠席の事由が以下に該当する場合は、まずそれぞれの窓口に申し出て相談してください。

相談内容	取扱窓口
学校感染症罹患による出席停止	グローバル地域文化学部事務室
免許資格課程が必修としている正課科目の実習（教育実習、博物館実習、図書館演習）や介護等体験に参加	免許資格課程センター事務室 （今出川キャンパス教務センター）
裁判員制度によるもの	グローバル地域文化学部事務室
検察審査会制度によるもの	グローバル地域文化学部事務室

■休講・補講について

休講情報については学修支援システムDUETから確認できます。授業実施当日に急遽休講となる場合もありますので定期的に確認してください。

授業休講に伴う補講については各科目担当者の指示に従い受講してください。

■授業1週目(DO Week)と授業2週目以降に行われるオンデマンド配信の受講方法について

通常の教室での授業は13週の授業期間に受講し、残り2週分の授業はオンデマンドで受講することを基本とします。授業1週目(DO Week)のオンデマンド配信はシラバスからURLを確認、受講の上、指示された課題等に取り組んでください。具体的な受講手順については大学HPに掲載していますので、以下のURL、QRコード等から詳細を確認してください。

また、授業2週目以降に行われるオンデマンド配信の受講方法については科目担当者からの指示に従ってください。

DO Weekから始まる新たな学び

https://www.doshisha.ac.jp/students/new_calender/index.html



■「学則第9条の5対象」について

同志社大学学則第9条の5では、文部科学省令である大学設置基準に規定されている遠隔授業の卒業必要単位数への算入上限を規定しており、学修支援システムDUETやシラバスに掲載している「学則第9条の5対象」は履修中の科目、もしくは単位修得済の科目がその「対象」であるか「対象外」であるかを示すものです。

本学では、2023年度までは新型コロナウイルス感染症における特例措置等により、すべての科目を「学則第9条の5」の「対象外」としていました。これにより、すべての修得単位が卒業必要単位数へ算入されるため、この表示に留意する必要はありませんでしたが、2024年度以降は特例措置の適用がなくなるため、この項目に留意して履修計画を立てる必要があります。

グローバル地域文化学部生は、「学則第9条の5」の「対象」科目については、卒業必要単位数に60単位まで算入可能です。各科目が「対象」か「対象外」かについてはシラバスで確認してください。

詳細については以下URLから確認してください。

「学則第9条の5対象科目」について

<https://duet-man.doshisha.ac.jp/student/article9-5.pdf>

■科目ナンバリングについて

各科目には科目ナンバリングが定められています。科目ナンバリングとは、授業科目に番号・分類を付与することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。各科目の履修水準や学問分野を参考に履修するだけでなく、留学先の大学で授業を履修する際、本学授業科目との単位互換の目安として利用することもできます。必要に応じて活用してください。科目ナンバリングについての詳細は、以下のURLから確認してください。

なお、他学部の科目については、当該学部が定める科目ナンバリングの履修配当年次または履修を推奨する年次と、本学部で認める配当年次が異なる場合があります。

科目ナンバリングについて

<https://clf.doshisha.ac.jp/numbering/numbering.html>

7

2025年度 開講科目

■開講科目一覧表の見方

履修年次

履修ができる学年を示します。 例) 2～：2年次以上で履修できる科目です。

登録コード

科目を特定する「科目コード」とクラスを特定する「クラスコード」で構成されています。クラスコードが明記されている科目は、科目登録の際、両方のコードを正しく入力してください。

科目名・クラス

○で囲んだ数字はクラスを示します。科目名が同じ場合、特別に認められている科目を除いて、1つのクラスしか履修することはできません。

校 地

授業が開講される校地を表します。

- 今 : 今出川校地
- 田 : 京田辺校地
- インターネット: 遠隔授業

期間・時間

授業の開講される期間と週時間を表します。

- 春2 : 春学期に開講。週2時間 (週1コマ)
- 春4 : 春学期に開講。週に4時間 (週2コマ)
- 秋2 : 秋学期に開講。週2時間 (週1コマ)
- 春・秋2 : 春学期～秋学期 (通年) に開講。週2時間 (週1コマ)
- 春集中 : 春学期に開講。集中科目 (時間の指定がない)

登録方法

登録に際して留意事項や特別な手続きが必要なものについて、記載しています。

- 大学一括登録 : 大学が一括して登録しますので、登録手続きは不要です。
- 先行登録 : 『登録要領』を確認の上、先行登録期間に登録をしてください。
- クラス指定 : 指定されたクラスに登録してください。
- プレースメントテスト : プレースメントテストによってクラスが指定されます。決定したクラスを大学が一括して登録しますので、登録手続は不要です。

履修条件

当該科目を履修するために必要な条件を記載しています。科目名が記載されている場合は、その科目を履修済みであることが条件となります。

*他学部設置科目について

グローバル地域文化学部では、他学部設置科目を履修することが可能です。履修が可能な科目は、別紙「グローバル地域文化学部時間割表」に掲載しています。履修する場合は、各学部の『履修要項』を参照してください。(『履修要項』は今出川キャンパス教務センターにて閲覧できます)

「見る」「聴く」「話す」「四肢を使って作業する」など、心身の機能障がいのため「社会的障壁」となる内容を含む科目(演習、実験、実習、語学など)については、「合理的配慮」として代替措置をとることが可能なものがあります。登録前にグローバル地域文化学部事務室までご相談ください。

■選択必修科目B群（スタディ・アブロード科目群）について

概 要

本学部では、選択必修科目B群（スタディ・アブロード科目群）にて、様々な行き先、期間の海外留学科目を設置しています。海外体験を通して、実用的な外国語能力を向上させることと共に、当該地域の問題及びグローバルな諸問題を深く理解することを目的としています。選択必修としていることからわかる通り、本学部では在学中に、海外で実施されるプログラムに参加することを強く推奨しています。計画的に履修してください。

卒業要件

1単位を履修すること。卒業要件を超過する単位は選択必修科目C群（外国語関連科目群）の当該言語の卒業単位に算入します。

各プログラムについて

以下に当科目群で履修できるプログラムを紹介します。科目の詳細や開講の有無などは各プログラムの募集説明会等で確認してください。

1. 海外語学研修プログラム

①サマープログラム

日本で行われる事前授業の後、夏期休暇中に海外における短期集中の語学学習を行います。高度な外国語運用能力を養成するとともに、現地での生活体験を通してその国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。

プログラム名	研修地	配当 年次	開講 学期	単位 数
サマープログラム・英語A	ヨーク大学（イギリス）	1～	春	4
	ディーキン大学（オーストラリア）			
	ゲルフ大学（カナダ）			
	トンプソン・リバーズ大学（カナダ）			
サマープログラム・英語B	カリフォルニア大学デービス校（アメリカ）	1～	春	3
	コーク・カレッジ大学（アイルランド）			
	オークランド大学（ニュージーランド）			
	カリフォルニア大学サンディエゴ校（アメリカ）			
	ケンブリッジ大学（イギリス）			
サマープログラム・ドイツ語B	マルティン・ルター大学（ドイツ）	2～	春	3
サマープログラム・フランス語	フランシュ=コンテ大学（フランス）	2～	春	4
サマープログラム・中国語B	北京大学（中国）	2～	春	3
サマープログラム・スペイン語	ラス・アメリカス大学（メキシコ）	2～	春	4
サマープログラム・ロシア語	ロシア国立サンクトペテルブルグ経済大学（ロシア）	2～	春	4
サマープログラム・コリア語	延世大学（韓国）	2～	春	3

②スプリングプログラム

秋学期に日本で行われる事前授業の後、2月～3月の春期休暇中に現地での生活体験と集中的な語学研修を行うことにより、外国語運用能力を養成するとともに、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。

プログラム名	研修地	配当年次	開講学期	単位数
スプリングプログラム・英語A	ホーソン・メルボルン英語学校（オーストラリア）	1～	秋	4
	ヨーク大学（イギリス）			
	オタゴ大学（ニュージーランド）			
スプリングプログラム・英語B	オークランド大学（ニュージーランド）	1～	秋	3
スプリングプログラム・英語C	カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）	1～	秋	2
スプリングプログラム・ドイツ語	フライブルク大学（ドイツ）	1～	秋	3
スプリングプログラム・フランス語	CAVILAM-Alliance française （クレルモン・フェラン大学監修）（フランス）	1～	秋	3
スプリングプログラム・中国語	華東師範大学（中国）	1～	秋	1
スプリングプログラム・スペイン語B	サラマンカ大学（スペイン）	1～	秋	3
スプリングプログラム・コリア語	慶熙大学（韓国）	1～	秋	3

③セメスタープログラム

事前授業で異文化コミュニケーションの実践的な方法論や訪問先の社会・文化について学んだ後、秋学期中に現地で合計350時間程度の語学研修を受け、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングの4技能を総合的に上達させるとともに、大学生としてふさわしいクリティカルシンキング（批判的思考法）を鍛えることを目指します。

プログラム名	研修地	配当年次	開講学期	単位数
セメスタープログラム・英語Ⅰ・Ⅱ	ディーキン大学（オーストラリア）	2～	秋	8
	ハワイ大学（アメリカ）			
セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	テュービンゲン大学（ドイツ）	2～	春	8

※セメスタープログラム・英語およびドイツ語に参加する場合、当該科目の開講学期には、その他の科目の登録はできない。

※3年次にセメスタープログラムに参加した場合、3年次生必修科目である「グローバル地域文化発展セミナーⅠまたはⅡ」は帰国後の4年次に履修すること。

2. 海外語学プログラム（英語）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

「海外語学プログラム（英語）」は、グローバル地域文化学部生用にスタディ・アブロード科目群の1つとして提供されます。1 Semester（約4ヶ月間）海外の研修校で集中的に英語研修を受けることによって、英語の運用能力を総合的に高めることを目的とします。

プログラム名	研修地	配当年次	開講学期	単位数
海外語学プログラム（英語）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	ウェスタン・ミシガン大学（アメリカ）	2～	秋	9

※現地での研修中の本学での履修に関しては、Semesterプログラムと同じ扱いになります。

3. 海外フィールドワーク

グローバル教育センターが開設協力している全学共通教養教育科目で、政府機関や民間団体を集中的に訪問します。グローバル地域文化学部では、下記プログラムを履修後、「留学とキャリア形成」（1単位）を履修することで、選択必修科目B群（スタディ・アブロード科目群）の卒業要件を満たすことができます。なお、下記のプログラムの単位は選択科目C群に算入します。

プログラム名	研修地	配当年次	開講学期	単位数
Mid-college “Be Strong” Program	アメリカ（ワシントンD.C.）	1～	春	4
Freshman “Go Global” Program	ベトナム（ホーチミン）	1～	秋	2
	ドイツ（チュービンゲン他）、フランス、ベルギー	1～	秋	2

4. ヨーロピアン・スタディーズEUキャンパスプログラム

本学の海外キャンパスであるEUキャンパス（ドイツ・チュービンゲン大学）で実施するプログラムです。チュービンゲン大学が提供するIES科目（6科目）と本学学部が設置する科目で構成され、英語（または日本語）でドイツ、ヨーロッパへの理解を深めることを目的としています。下記プログラムを履修した場合、選択必修科目B群（スタディ・アブロード科目群）の卒業要件を満たすことができます。なお、下記のプログラムで履修した科目の単位は選択科目C群に算入します。

プログラム名	研修地	配当年次	開講学期	単位数
ヨーロピアン・スタディーズEUキャンパスプログラム	チュービンゲン大学（ドイツ）	2～	秋	※

※プログラム内で履修する科目数によります。

5. 留学とキャリア形成

留学経験を将来のキャリアに活かすために、留学経験を踏まえて、グローバル人材となるための資質について考え、議論し、キャリア計画を立てることを支援する授業です。

科目名	履修条件	配当年次	開講学期	単位数
留学とキャリア形成	欄外参照	1～	秋	1

海外フィールドワーク科目（25頁3. 海外フィールドワークを参照）を履修した場合、または各国政府主催の留学や海外研修（27頁7. その他②を参照）に参加した場合は、その後に「留学とキャリア形成」を履修することで選択必修科目B群（スタディ・アブロード科目群）の卒業要件を満たすことができます。

履修条件

以下の科目を履修済であること

- ①サマープログラム・英語
(英語A / 英語B / 英語C)
- ②サマープログラム・初修外国語
(ドイツ語A / ドイツ語B / フランス語 / 中国語 / 中国語B / スペイン語 / ロシア語 / コリア語)
- ③スプリングプログラム・英語
(英語A / 英語B / 英語C / 英語D)
- ④スプリングプログラム・初修外国語
(ドイツ語 / フランス語 / 中国語 / スペイン語B / コリア語)
- ⑤セメスタープログラム・英語 I / 英語 II
- ⑥セメスタープログラム・ドイツ語 I / ドイツ語 II
- ⑦海外インターンシップ
- ⑧スタディ・ツアー
- ⑨海外語学プログラム（英語） I / II / III
- ⑩Freshman“Go Global” Program
- ⑪Mid-college“Be Strong”Program

※派遣留学、交換留学およびヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム終了後の学生も当科目履修可。

※学部が認定した各国政府主催の留学や海外研修に参加し、8. その他②の認定を希望する学生は当科目を必ず履修すること。

注意事項

※修得した単位は英語のスタディ・アブロード科目として単位を付与します（選択必修科目B群のスタディ・アブロード科目の単位として1単位付与、もしくは選択必修科目C群の英語科目の単位として1単位付与）

6. グローバル地域文化学の発信

グループでプロジェクトに取り組むことを通して、アカデミック・リサーチ・スキルや、英語で発信するコミュニケーション能力を養う科目です。

科目名	履修条件	配当 年次	開講 学期	単位 数
グローバル地域文化学の発信	グローバル地域文化学の実践1～5のいずれか1科目を履修済みであること。	1～	春秋	1

7. その他

- ①外国協定大学派遣留学制度による留学（派遣留学）または学部間協定留学制度による留学（交換留学）に参加した場合、選択必修科目B群（スタディ・アブロード科目群）の卒業要件を満たすものとして取り扱います。
- ②学部が認定した各国政府主催の留学や海外研修（またはそれらに準ずる留学や研修等）に参加し、かつ参加後に「留学とキャリア形成」を履修した場合、選択必修科目B群（スタディ・アブロード科目群）の卒業要件を満たすことができます。認定に該当するかの確認と認定申請は現地に出発する2ヶ月前までにグローバル地域文化学部事務室で行ってください。

サマープログラム／スプリングプログラム／セメスタープログラム／海外インターンシップ／
海外語学プログラム(英語)／海外フィールドワーク／EUキャンパスプログラム タイムライン(例)

 出願・選考期間
 事前授業
 現地研修期間（期間は渡航先により異なります）

	サマープログラム		スプリングプログラム		セメスター プログラム (英語)	セメスター プログラム (ドイツ語)	海外 インターンシップ	海外語学 プログラム (英語)	海外 フィールドワーク	ヨーロッパ・スタ ディーズEUキャン パスプログラム
	初修外国語	英語	初修外国語	英語						
前年度10月										
11月										
12月										
1月										
2月										
3月										
当年度4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
1月										
2月										
3月										

※このタイムラインは変更されることもあります。

配当年次

サマープログラム	初修外国語	2年次生以上（2年次に渡航する場合の出願・選考は1年次秋学期）
	英語	1年次生以上（1年次に渡航する場合の出願・選考は1年次春学期）
スプリングプログラム	初修外国語	1年次生以上（1年次秋学期末に渡航する場合の登録は1年次秋学期）
	英語	1年次生以上（1年次秋学期末に渡航する場合の登録は1年次秋学期）
セメスタープログラム(英語・ドイツ語)		2年次生以上（2年次に渡航する場合の出願・選考は1年次秋学期）
海外インターンシップ		2年次生以上（2年次に渡航する場合の出願・選考は1年次秋学期）
海外語学プログラム(英語)		2年次生以上（2年次に渡航する場合の出願・選考は1年次秋学期）
海外フィールドワーク		1年次生以上（1年次に渡航する場合の出願・選考は1年次春学期）
ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム		2年次生以上（2年次に渡航する場合の出願・選考は1年次秋学期）

出願資格

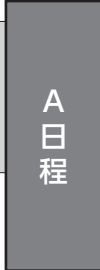
セメスタープログラム(英語)	TOEFL-ITP [®] テスト450点以上あるいはTOEFL-iBT [®] テスト45点以上あるいはIELTS4.5以上の者
セメスタープログラム(ドイツ語)	1年次生対象科目、または2年次生対象科目を履修済（登録中も可）のレベルを目安とする。 ※1年次生対象科目は（入門Ⅰ・Ⅱ、インテンシヴⅠ・Ⅱ） 2年次生対象科目は（応用Ⅰ～4、インテンシヴⅢ・Ⅳ） なお、本学の初修外国語としてドイツ語を選択していないドイツ語既習者の場合も、選考試験の結果次第で登録が認められる。
海外語学プログラム(英語)	グローバル地域文化学部在籍し、TOEFL-ITP [®] テスト435点以上あるいはTOEFL-iBT [®] テスト41点以上あるいはIELTS4.0以上の者

※その他のプログラムについては、各募集要項を参照すること。

派遣留学 タイムライン(例)

- 1年間留学する場合のタイムライン（例）です。
- B日程対象大学には、同志社大学の春学期から留学期間が開始される大学もあります。
- 1セメスターのみで留学することが可能な協定校もあります。

	出願・選考期間
	留学期間（期間は渡航先により異なります）

		1年次に出願	2年次に出願	3年次に出願
1年次	春学期			
	秋学期			
2年次	春学期			
	秋学期			
3年次	春学期			
	秋学期			
4年次	春学期			
	秋学期			
(5年次)	春学期			
	秋学期			

■外部試験結果による英語科目の単位認定について

入学前および在学中に、次頁の表のとおり、各種試験において一定の水準以上の成果を修めた場合は、選択必修科目C群（英語）の修得単位として認定します。

認定された単位は「ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA1」～「ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュB2」という科目名で成績通知書や成績証明書に表記され、成績欄には「認定」と表示されます。GPAには算入されません。また、認定された単位はセメスターおよび年間最高登録単位数には含まれません。

1. 認定条件

申請に際し「ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA1」～「ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA4」では、次頁の表に記した各種試験の水準を満たすことに加え、指定科目を履修済みであることを条件としています。指定科目には、以下の科目が含まれます。単位認定1科目（2単位）につき、指定科目1科目の履修が条件となります。

指定科目

- 『全学共通教養教育科目履修要項』に記載の「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」
- SAP科目 ※全学共通教養教育科目のスタンフォード大学科目、AKP科目、KCJS科目
- 『グローバル地域文化学部履修要項』に記載の「外国語による科目の開講について」の科目一覧のうち、英語により授業を行う科目（2025年度グローバル地域文化学部履修要項では68～73頁に記載）

※指定科目は履修年度を問わず、在学中に履修したものを対象とします（単位認定されたものは対象外）。

※「ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュB1」～「ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュB2」は指定科目による条件を設けていません。

2. 単位認定申請手続き

単位認定希望者は、申請期間内に、単位認定申請書、成績通知書、外部検定試験結果（合格証明書やスコアカードの原本）をグローバル地域文化学部事務室に提出してください。

申請期間は春学期・秋学期の年2回設けます。詳細は掲示板等で周知します。

3. 認定について

- ①例えばTOEIC®L&Rテストで800点取得して、異なる指定科目を2科目履修済みの場合は「ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA1」および「ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA2」の2科目（4単位）が認定されます。
- ②試験結果は、申請日より遡って2年以内に取得したものに限りします。
- ③本科目による単位認定は8単位を上限とします。
- ④この制度により認定された科目と単位は「外国語honors」申請時の出願資格である英語関連科目には参入されません。
- ⑤休学期間中の申請はできません。
- ⑥窓口提出のみ受け付けます（派遣留学やセメスタープログラム参加中には申請できません）。

〈単位認定条件一覧表〉

試験名		科目名	
TOEFL ITP®テスト	※1	ポスト・アドヴァンス・イングリッシュA1	ポスト・アドヴァンス・イングリッシュA2
TOEFL iBT®テスト	※2※3	79以上	79以上
TOEFL®Essentials™テスト	※3	8.5以上	8.5以上
TOEIC®L&Rテスト		730以上	730以上
TOEIC®L&Rテスト(IP)	※4	730以上	730以上
IELTS	※5	6.0以上	6.0以上
実用英語技能検定		準1級	準1級
国際連合公用語英語検定試験		A級	A級
認定単位数		2単位	2単位
		ポスト・アドヴァンス・イングリッシュA1からポスト・アドヴァンス・イングリッシュA2まで、合わせて最大8単位まで	
その他、申請および認定の条件		・指定科目の中から1科目を履修済みであること。 ・ポスト・アドヴァンス・イングリッシュA1が認定済またはポスト・アドヴァンス・イングリッシュA1と同時に申請していること。 ・指定科目（ポスト・アドヴァンス・イングリッシュA1の認定時に申請した科目を除く）の中から、1科目を履修済みであること。	・ポスト・アドヴァンス・イングリッシュA1・2・3が認定済またはポスト・アドヴァンス・イングリッシュA2と同時に申請していること。 ・指定科目（ポスト・アドヴァンス・イングリッシュA1・2・3の認定時に申請した科目を除く）の中から、1科目を履修済みであること。

※1 TOEFL ITP[®]テストは、2020年4月以降は本学で受験したスコアのみ可。

※2 TOEFL iBT® Home Editionテストは不可。

※3 「Test Dateスコア」のみ可、「MyBest™スコア」は認めない。

※4 TOEIC® L&Rテスト (IP (オンライン)) は不可。

※5 IELTSペーパー版、IELTSコンピューター版 (HCD IELTS)、IELTS for UKVIも可。IELTSオンライン版は不可。「One Skill Retakeスコア」は認めない。

2018 年度以降生用

カリキュラム

卒業要件	必修科目	選択必修科目			選択科目				合計
		A群	B群	C群	A群	B群	C群	D群	
	28	6以上 ※ 1	1 ※ 2	24以上 ※ 3	20以上 ※ 4	— ※ 5	16以上	—	124以上

必修科目28単位、選択必修科目のうちA群から6単位以上、B群から1単位、C群から24単位以上、選択科目のうちA群から20単位以上、C群から16単位以上、合計124単位を履修すること。

- | 必修科目 | | 単位 | | | |
|--------------------------|--|----|------------------------------|---|---|
| グローバル地域文化論Ⅰ※6 | | 2 | スプリングプログラム・英語B | 3 | アナリティカル・リーディング2※12 |
| グローバル地域文化論Ⅱ※7 | | 2 | スプリングプログラム・英語C | 2 | イングリッシュ・セミナー1※12 |
| ヨーロッパ研究入門Ⅰ | | 2 | スプリングプログラム・英語D | 1 | イングリッシュ・セミナー2※12 |
| ヨーロッパ研究入門Ⅱ | | 2 | スプリングプログラム・ドイツ語 | 3 | イングリッシュ・セミナー3※12 |
| グローバル地域文化導入セミナー | | 2 | スプリングプログラム・フランス語 | 3 | イングリッシュ・ワークショップ1※12 |
| グローバル地域文化入門セミナー | | 2 | スプリングプログラム・中国語 | 1 | イングリッシュ・ワークショップ2※12 |
| グローバル地域文化発展セミナーⅠ | | 2 | スプリングプログラム・スペイン語B | 3 | イングリッシュ・ワークショップ3※12 |
| グローバル地域文化発展セミナーⅡ | | 2 | スプリングプログラム・韓国語 | 3 | アカデミック・イングリッシュA※12 |
| グローバル地域文化専門セミナーⅠ | | 2 | セメスタープログラム・英語Ⅰ | 4 | アカデミック・イングリッシュB※12 |
| グローバル地域文化専門セミナーⅡ | | 2 | セメスタープログラム・英語Ⅱ | 4 | プロフェッショナル・イングリッシュA※12 |
| 卒業論文 | | 8 | セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ | 4 | プロフェッショナル・イングリッシュB※12 |
| ※6 2018年度生はグローバル地域文化論 | | | セメスタープログラム・ドイツ語Ⅱ | 4 | イングリッシュ・プラクティクム1※12 |
| ※7 2018年度生はグローバル・スタディーズ論 | | | スタディ・ツアー | 2 | イングリッシュ・プラクティクム2※12 |
| | | | 海外インターンシップ | 2 | ブレ・イングリッシュ・プラクティクム※12 |
| | | | 海外語学プログラム(英語)Ⅰ | 4 | 現代地域事情・上級講読(英語圏)1※12 |
| | | | 海外語学プログラム(英語)Ⅱ | 4 | 現代地域事情・上級講読(英語圏)2※12 |
| | | | 海外語学プログラム(英語)Ⅲ | 1 | 言語文化研究1※12 |
| | | | 留学とキャリア形成 | 1 | 言語文化研究2※12 |
| | | | グローバル地域文化学の実践 | 1 | Intensive Courses for TOEFL (Practice)※13 |
| | | | 派遣留学プログラム1※10 | 1 | Intensive Courses for TOEFL (Tutorial)※13 |
| | | | 派遣留学プログラム2※10 | 2 | English Immersion1 |
| | | | ※8 2019年度以降生対象 | | English Immersion2 |
| | | | ※9 2021年度以前生対象、2022年度より廃止 | | English Immersion3 |
| | | | ※10 派遣留学単位認定用科目(2019年度以降生対象) | | English Immersion4 |
| | | | | | ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA1 |
| | | | | | ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA2 |
| | | | | | ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA3 |
| | | | | | ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA4 |
| | | | | | ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュB1 |
| | | | | | ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュB2 |
| | | | | | ドイツ語入門Ⅰ |
| | | | | | ドイツ語入門Ⅱ |
| | | | | | ドイツ語インテンシヴⅠ |
| | | | | | ドイツ語インテンシヴⅡ |
| | | | | | ドイツ語インテンシヴⅢ |
| | | | | | ドイツ語インテンシヴⅣ |
| | | | | | ドイツ語インテンシヴⅤ |
| | | | | | ドイツ語インテンシヴⅥ |
| | | | | | ドイツ語応用Ⅰ |
| | | | | | ドイツ語応用Ⅱ |
| | | | | | ドイツ語応用Ⅲ |
| | | | | | ドイツ語応用Ⅳ |
| | | | | | ドイツ語会話初級Ⅰ |
| | | | | | ドイツ語会話初級Ⅱ |
| | | | | | ドイツ語会話中級Ⅰ |
| | | | | | ドイツ語会話中級Ⅱ |
| | | | | | ドイツ語会話上級Ⅰ |
| | | | | | ドイツ語会話上級Ⅱ |
| | | | | | ドイツ語文化事情Ⅰ |
| | | | | | ドイツ語文化事情Ⅱ |
| | | | | | ドイツ語表現Ⅰ |
| | | | | | ドイツ語表現Ⅱ |
| | | | | | 言語文化原典演習(ドイツ語)Ⅰ |
| | | | | | 言語文化原典演習(ドイツ語)Ⅱ |
| | | | | | 現代地域事情・上級講読(ドイツ語圏)Ⅰ |
| | | | | | 現代地域事情・上級講読(ドイツ語圏)Ⅱ |

フランス語入門Ⅰ	2
フランス語入門Ⅱ	2
フランス語インテンシヴⅠ	3
フランス語インテンシヴⅡ	3
フランス語インテンシヴⅢ	3
フランス語インテンシヴⅣ	3
フランス語インテンシヴⅤ	2
フランス語インテンシヴⅥ	2
フランス語インテンシヴⅦ	2
フランス語インテンシヴⅧ	2
フランス語応用1	1
フランス語応用2	1
フランス語応用3	1
フランス語応用4	1
フランス語会話初級1	1
フランス語会話初級2	1
フランス語会話中級1	1
フランス語会話中級2	1
フランス語会話上級1	1
フランス語会話上級2	1
フランス語文化事情1	2
フランス語文化事情2	2
フランス語表現法1	2
フランス語表現法2	2
言語文化原典演習(フランス語)1	2
言語文化原典演習(フランス語)2	2
現代地域事情・上級講読(フランス語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(フランス語圏)2	2
中国語入門Ⅰ	2
中国語入門Ⅱ	2
中国語インテンシヴⅠ	3
中国語インテンシヴⅡ	3
中国語インテンシヴⅢ	3
中国語インテンシヴⅣ	3
中国語インテンシヴⅤ	2
中国語インテンシヴⅥ	2
中国語インテンシヴⅦ	2
中国語インテンシヴⅧ	2
中国語応用1	1
中国語応用2	1
中国語応用3	1
中国語応用4	1
中国語会話初級1	1
中国語会話初級2	1
中国語会話中級1	1
中国語会話中級2	1
中国語会話上級1	1
中国語会話上級2	1
中国語文化事情1	2
中国語文化事情2	2
中国語表現法1	2
中国語表現法2	2
言語文化原典演習(中国語)1	2
言語文化原典演習(中国語)2	2
現代地域事情・上級講読(中国語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(中国語圏)2	2
スペイン語入門Ⅰ	2
スペイン語入門Ⅱ	2
スペイン語インテンシヴⅠ	3
スペイン語インテンシヴⅡ	3
スペイン語インテンシヴⅢ	3
スペイン語インテンシヴⅣ	3
スペイン語インテンシヴⅤ	2
スペイン語インテンシヴⅥ	2
スペイン語応用1	1
スペイン語応用2	1
スペイン語応用3	1
スペイン語応用4	1
スペイン語会話初級1	1
スペイン語会話初級2	1
スペイン語会話中級1	1
スペイン語会話中級2	1
スペイン語会話上級1	1
スペイン語会話上級2	1
スペイン語文化事情1	2
スペイン語文化事情2	2
スペイン語表現法1	2
スペイン語表現法2	2
言語文化原典演習(スペイン語)1	2
言語文化原典演習(スペイン語)2	2
現代地域事情・上級講読(スペイン語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(スペイン語圏)2	2
ロシア語入門Ⅰ	2
ロシア語入門Ⅱ	2
ロシア語インテンシヴⅠ	3
ロシア語インテンシヴⅡ	3
ロシア語インテンシヴⅢ	3
ロシア語インテンシヴⅣ	3

ロシア語応用1	1
ロシア語応用2	1
ロシア語応用3	1
ロシア語応用4	1
ロシア語会話初級1	1
ロシア語会話初級2	1
ロシア語会話中級1	1
ロシア語会話中級2	1
ロシア語会話上級1	1
ロシア語会話上級2	1
ロシア語文化事情1	2
ロシア語文化事情2	2
ロシア語表現法1	2
ロシア語表現法2	2
言語文化原典演習(ロシア語)1	2
言語文化原典演習(ロシア語)2	2
現代地域事情・上級講読(ロシア語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(ロシア語圏)2	2
コリア語入門Ⅰ	2
コリア語入門Ⅱ	2
コリア語インテンシヴⅠ	3
コリア語インテンシヴⅡ	3
コリア語インテンシヴⅢ	3
コリア語インテンシヴⅣ	3
コリア語インテンシヴⅤ	2
コリア語インテンシヴⅥ	2
コリア語応用1	1
コリア語応用2	1
コリア語応用3	1
コリア語応用4	1
コリア語会話初級1	1
コリア語会話初級2	1
コリア語会話中級1	1
コリア語会話中級2	1
コリア語会話上級1	1
コリア語会話上級2	1
コリア語文化事情1	2
コリア語文化事情2	2
コリア語表現法1	2
コリア語表現法2	2
言語文化原典演習(コリア語)1	2
言語文化原典演習(コリア語)2	2
現代地域事情・上級講読(コリア語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(コリア語圏)2	2
地域文化理解のためのインドネシア語1(文法)	2
地域文化理解のためのインドネシア語2(文法)	2
地域文化理解のためのインドネシア語3(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのインドネシア語4(講読)	2
地域文化理解のためのインドネシア語5(講読)	2
地域文化理解のためのトルコ語1(文法)	2
地域文化理解のためのトルコ語2(文法)	2
地域文化理解のためのトルコ語3(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのトルコ語4(講読)	2
地域文化理解のためのトルコ語5(講読)	2
地域文化理解のためのポルトガル語1(文法)	2
地域文化理解のためのポルトガル語2(文法)	2
地域文化理解のためのポルトガル語3(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのポルトガル語4(講読)	2
地域文化理解のためのポルトガル語5(講読)	2
地域文化理解のためのアラビア語1	2
地域文化理解のためのアラビア語2(文法)	2
地域文化理解のためのアラビア語3(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのアラビア語4(講読)	2
地域文化理解のためのアラビア語5(講読)	2
イタリア語初級Ⅰ	1
イタリア語初級Ⅱ	1
地域文化理解のためのイタリア語1(コミュニケーション)	2
イタリア語中級Ⅰ	1
イタリア語中級Ⅱ	1
地域文化理解のためのイタリア語2(講読)	2
地域文化理解のためのイタリア語3(講読)	2
地域文化理解のためのイタリア語4(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのフランス語(カナダ)1(総合)	2
地域文化理解のためのフランス語(カナダ)2(総合)	2
※11 2022年度以降生対象	
※12 2021年度以前生対象	
※13 2021年度以前生対象、2022年度より廃止	
※14 2023年度以前生対象、2024年度より廃止	
※15 2018年度生は地域文化理解のためのフランス語(カナダ)1(講読)	
※16 2018年度生は地域文化理解のためのフランス語(カナダ)2(コミュニケーション)	

選択科目	単位
選択科目A群	
ヨーロッパ地域の歴史1	2
ヨーロッパ地域の歴史2	2
ヨーロッパ地域の歴史3	2
ヨーロッパ地域の文化1	2
ヨーロッパ地域の文化2	2
ヨーロッパ地域の文化3	2
ヨーロッパ地域の文化4	2
ヨーロッパ地域の文化5	2
ヨーロッパ地域の課題1	2
ヨーロッパ地域の課題2	2
ヨーロッパ地域の課題3	2
ヨーロッパ地域の課題4	2
ヨーロッパ地域の課題5	2
ヨーロッパ地域の課題6	2
ヨーロッパ地域の課題7	2
ヨーロッパ地域の課題8	2
発信スキル実践	1
質的調査の方法	2
計量分析の方法	2
グローバル地域文化学の実践1	2
グローバル地域文化学の実践2	2
グローバル地域文化学の実践3	2
グローバル地域文化学の実践4	2
グローバル地域文化学の実践5	2

選択科目B群	
ヨーロッパの思想史	2
ヨーロッパ社会史1	2
ヨーロッパ社会史2	2
ヨーロッパの政治史	2
ヨーロッパの経済	2
ヨーロッパの経済史	2
ロシア・東ヨーロッパの政治	2
EUの政治	2
世界の言語1～10	1
グローバル地域文化特殊講義1～10	1
グローバル地域文化研究の実践1,2	1

※17 派遣留学単位認定用科目(2019年度以降生対象)

選択科目C群	
地理学1	2
地理学2	2
日本史概論	4
免許・資格関連科目	
全学共通教養教育科目	
他学部設置科目	
大学コンソーシアム京都単位互換科目	
同志社女子大学単位互換科目	
チュービンゲン大学IES単位互換科目1～6	2

※18 ヨーロピアン・スタディーズEUキャンパス
プログラム単位認定用科目

選択科目D群	
英語で読む地域文化研究1	2
英語で読む地域文化研究2	2
英語で読む地域文化研究3	2
英語で読む地域文化研究4	2
英語で読む地域文化研究5	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar1	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar2	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar3	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar4	2
ドイツ語で読む地域文化研究1	2
ドイツ語で読む地域文化研究2	2
フランス語で読む地域文化研究1	2
フランス語で読む地域文化研究2	2
中国語で読む地域文化研究1	2
中国語で読む地域文化研究2	2
スペイン語で読む地域文化研究1	2
スペイン語で読む地域文化研究2	2
ロシア語で読む地域文化研究1	2
ロシア語で読む地域文化研究2	2
コリア語で読む地域文化研究1	2
コリア語で読む地域文化研究2	2
アジア諸言語で読む地域文化研究1	2
アジア諸言語で読む地域文化研究2	2

自由科目	単位
情報機器の操作	2
教育実習指導	1
教育実習A	2
教育実習B	2
教育実習C	4
教職実践演習(中・高)	2
特別支援と福祉の教育(2018年度生のみ)	2

第一推奨言語の科目を色づけしています。

■選択必修科目C群(外国語関連科目群)履修上の注意点

- 選択必修科目C群(外国語関連科目群)では、第一言語14単位以上、第二言語10単位以上を履修します。第一言語を初修外国語とする場合は初修型、第一言語を英語とする場合は英語型となります。
- 英語型・初修型の選択は入学時に行います。2年次生の秋学期(発展セミナー申請時)に変更の機会があります。
- **初修型の場合** 第一言語はドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語から一つを選択します。第一言語としてこれら以外の初修外国語を選択することはできません。また、第二言語は必ず英語となります。
- **英語型の場合** 第二言語は、【第一推奨言語】ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語 【第二推奨言語】イタリア語・アラビア語・トルコ語 【その他の言語】中国語・コリア語・インドネシア語・ポルトガル語の中から一つを選択します。
- 選択必修科目B群(スタディ・アブロード科目群)の卒業必要単位(1単位)を超過する単位は選択必修科目C群(外国語関連科目群)の当該言語の単位に算入されます。

	初修型		英語型	
	第一言語(14単位)	第二言語(10単位)	第一言語(14単位)	第二言語(10単位)
ヨーロッパコース	ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語から1言語	英語	英語	【第一推奨言語】ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語 【第二推奨言語】イタリア語・アラビア語・トルコ語 【その他の言語】

※第一言語、第二言語ともに一つの言語で14単位、10単位を満たす必要があります。

- ★1年次生は英語の履修科目を決める前に、全員がプレースメントテストを受験します。プレースメントテストの結果によって履修科目が決定します。詳細は別冊の「グローバル地域文化学部登録要領」で確認してください。
- ★初修型・英語型にかかわらず、初修外国語はまずインテンシヴⅠ・Ⅱを履修することを推奨します。ただし、インテンシヴが設置されているのはドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、コリア語のみです。
- ★英語型を選択した場合、第二言語としてドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語の履修を推奨します。ヨーロッパコースでは、途中で英語型から初修型に履修パターンを変更する場合、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語以外の言語を履修していても初修型の第一言語としては認められません。
- ★英語型を選択した場合、「その他の言語」として、中国語・コリア語・インドネシア語・ポルトガル語から1言語を履修することもできますが、その場合は必ず登録履修相談を受けてください。
- ★外国人留学生在が日本語・日本文化教育科目のうち、日本語Ⅰ(アカデミック・リーディングAⅥ(2023年度以前生は読解AⅥ))～日本語Ⅱ(文法Ⅸ)、ビジネス日本語C、ビジネス日本語Dの単位を履修した場合、英語型は第二言語「日本語」として卒業要件単位に算入されます。初修型の場合は第一言語・第二言語には含まれませんが、「その他の言語」として選択必修科目C群の卒業要件単位に算入されます。
- ★日本語を母語としない学生が外国語を選択する際は、母語もしくは母語に準ずる言語の履修は避けてください。

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
ヨーロッパコース 開講科目一覧表

科目 区分	履修 年次	登録コード 科目 コード	クラス コード	科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜 講	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部 履修 可否
必修 科目	1～	12200001	-	グローバル地域文化論（2018年度生）	2	今	春2	水1	見原 礼子 王 柳蘭 物部 ひろみ	一般登録		×
	1～	12200002	-	グローバル・スタディーズ論（2018年度生）	2	今	秋2	水1	二村 太郎 清水 穰 立石 洋子 阿部 範之 清水 達也 殷 晴	一般登録		×
	1～	12200005	-	グローバル地域文化論Ⅰ（2019年度以降生）	2	今	春2	水1	見原 礼子 王 柳蘭 物部 ひろみ	一般登録		×
	1～	12200006	-	グローバル地域文化論Ⅱ（2019年度以降生）	2	今	秋2	水1	二村 太郎 清水 穰 立石 洋子 阿部 範之 清水 達也 殷 晴	一般登録		×
	1～	12200011	-	ヨーロッパ研究入門Ⅰ	2	今	春2	火4	伊藤 玄吾 中嶋 洋平 水谷 智 石井 香江	一般登録		×
	1～	12200012	-	ヨーロッパ研究入門Ⅱ	2	今	秋2	火4	中嶋 洋平 尹 慧瑛 PEREZ RIOBO Andres 立石 洋子 大木 清香	一般登録		×
	1～	12200051	001	グローバル地域文化導入セミナー ①	2	今	春2	木3	亀谷 百合佳	大学一括登録		×
			002	グローバル地域文化導入セミナー ②					倉科 一希			
			003	グローバル地域文化導入セミナー ③					神崎 舞			
			004	グローバル地域文化導入セミナー ④					伊藤 玄吾			
			005	グローバル地域文化導入セミナー ⑤					殷 晴			
			006	グローバル地域文化導入セミナー ⑥					久野 聖子			
			007	グローバル地域文化導入セミナー ⑦					尹 慧瑛			
			008	グローバル地域文化導入セミナー ⑧					石野 未架			
			009	グローバル地域文化導入セミナー ⑨					坂本 南美			
			010	グローバル地域文化導入セミナー ⑩					石井 香江			
			011	グローバル地域文化導入セミナー ⑪					遠藤 徹			
	1～	12200052	011	グローバル地域文化入門セミナー ⑪	2	今	秋2	木3	伊藤 玄吾	大学一括登録		×
			012	グローバル地域文化入門セミナー ⑫					石井 香江			
			013	グローバル地域文化入門セミナー ⑬					尹 慧瑛			
			014	グローバル地域文化入門セミナー ⑭					久野 聖子			
	3～	12200053	101	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ⑩①	2	今	春2	金4	見原 礼子	大学一括登録		×
			102	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ⑩②					PEREZ RIOBO Andres			
			103	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ⑩③					高木 繁光			
			104	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ⑩④					清水 穰			
			105	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ⑩⑤					中嶋 洋平			
			106	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ⑩⑥					水谷 智			
			107	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ⑩⑦					立石 洋子			

2018年度以降生用

ヨーロッパコース

アジア・太平洋コース

アメリカコース

免許資格関連科目・自由科目

〈2018年度以降生用〉

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
ヨーロッパコース 開講科目一覧表

科目 区分	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部 履修 可否
		科 目 コード	クラス コード									
必修 科目	3～	12200054	101	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ⑩①	2	今	秋2	金4	見原 礼子	大学一括登録		×
			102	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ⑩②					PEREZ RIOBO Andres			
			103	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ⑩③					高木 繁光			
			104	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ⑩④					清水 稯			
			105	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ⑩⑤					中嶋 洋平			
			106	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ⑩⑥					水谷 智			
			107	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ⑩⑦					立石 洋子			
	4～	12200055	101	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ⑪①	2	今	春2	金5	見原 礼子	一般登録		×
			102	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ⑪②					大木 清香			
			103	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ⑪③					高木 繁光			
			104	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ⑪④					清水 稯			
			105	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ⑪⑤					中嶋 洋平			
			106	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ⑪⑥					水谷 智			
			107	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ⑪⑦					立石 洋子			
	4～	12200056	101	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ⑫①	2	今	秋2	金5	見原 礼子	一般登録		×
			102	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ⑫②					大木 清香			
			103	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ⑫③					高木 繁光			
			104	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ⑫④					清水 稯			
			105	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ⑫⑤					中嶋 洋平			
			106	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ⑫⑥					水谷 智			
			107	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ⑫⑦					立石 洋子			
	4～	12200058	101	卒業論文 ⑬①	8	今	秋集中		見原 礼子	一般登録	3月卒業予定者用 (3月卒業予定者はこちらの卒業論文を登録してください)	×
			102	卒業論文 ⑬②					大木 清香			
			103	卒業論文 ⑬③					高木 繁光			
			104	卒業論文 ⑬④					清水 稯			
			105	卒業論文 ⑬⑤					中嶋 洋平			
			106	卒業論文 ⑬⑥					水谷 智			
			107	卒業論文 ⑬⑦					立石 洋子			
	4～	12200059	101	卒業論文 ⑬①	8	今	春集中		見原 礼子	一般登録	9月卒業予定者用 (9月卒業予定者はこちらの卒業論文を登録してください)	×
			102	卒業論文 ⑬②					大木 清香			
			103	卒業論文 ⑬③					高木 繁光			
			104	卒業論文 ⑬④					清水 稯			
			105	卒業論文 ⑬⑤					中嶋 洋平			
			106	卒業論文 ⑬⑥					水谷 智			
			107	卒業論文 ⑬⑦					立石 洋子			
選択必修科目A群	1～	12201021	-	グローバル・ 이슈ー1	2	今	秋2	火3	PEREZ RIOBO Andres	一般登録		×
	1～	12201022	-	グローバル・ 이슈ー2	2	今	秋2	金3	秋林 こずえ			
	2～	12201023	-	グローバル・ 이슈ー3	2				休講			
	2～	12201024	-	グローバル・ 이슈ー4	2	今	秋2	木3	森山 央朗			
	1～	12201025	-	グローバル・ 이슈ー5	2	今	秋2	月1	和泉 真澄			
	2～	12201026	-	グローバル・ 이슈ー6	2	今	春2	水4	西川 由紀子			
	2～	12201027	-	グローバル・ 이슈ー7	2	今	春2	金2	中嶋 洋平			
	2～	12201028	-	グローバル・ 이슈ー8	2	今	春2	金1	大山 修一 青池 歌子			
	1～	12201029	-	グローバル・ 이슈ー9	2	今	春2	金4	浅羽 祐樹			
	2～	12201030	-	グローバル・ 이슈ー10	2	今	春2	火4	清水 稯			
	1～	12201031	-	グローバル・ 이슈ー11	2	今	秋2	月3	尾崎 茂			

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
ヨーロッパコース 開講科目一覧表

科目 区分	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部 履修 可否
		科 目 コード	クラス コード									
選択必修科目A群	2～	12201051	-	グローバル地域文化教養セミナー1	2	今	春2	木4	穂山 洋子	大学一括登録	グローバル地域 文化導入セミナー	×
	2～	12201052	-	グローバル地域文化教養セミナー2	2	今	秋2	木4	殷 晴			
	2～	12201053	-	グローバル地域文化教養セミナー3	2	今	春2	木4	渡辺 文			
	2～	12201054	-	グローバル地域文化教養セミナー4	2	今	春2	木4	伊藤 玄吾			
	2～	12201055	-	グローバル地域文化教養セミナー5	2	今	秋2	木4	崎田 智子			
	2～	12201056	-	グローバル地域文化教養セミナー6	2	今	秋2	木4	神崎 舞			
	2～	12201057	-	グローバル地域文化教養セミナー7	2	今	春2	木4	遠藤 徹			
	2～	12201058	-	グローバル地域文化教養セミナー8	2	今	秋2	木4	石井 香江			
	2～	12201059	-	グローバル地域文化教養セミナー9	2	今	春2	木4	倉科 一希			
	2～	12201060	-	グローバル地域文化教養セミナー10	2	今	春2	木4	浅羽 祐樹			
	2～	12201061	-	グローバル地域文化教養セミナー11	2	今	春2	木4	二村 太郎			
	2～	12201062	-	グローバル地域文化教養セミナー12	2	今	秋2	木4	清水 稜			
	2～	12201063	-	グローバル地域文化教養セミナー13	2	今	春2	木4	阿部 範之			
	選択必修科目B群	選択必修科目B群の内、全学共通教養教育科目の外国語教育科目は別冊の「全学共通教養教育科目履修要項」を参照してください。										
3～		12201101	-	スタディ・ツアー（英語）	2				休講	大学一括登録		×
3～		12201104	-	スタディ・ツアー（中国語）	2				休講	大学一括登録		×
3～		12201106	-	スタディ・ツアー（ロシア語）	2				休講	大学一括登録		×
2～		12201151	-	海外インターンシップ（英語）	2				休講	大学一括登録		×
2～		12201154	-	海外インターンシップ（中国語）	2				休講	大学一括登録		×
2～		12201171	-	海外語学プログラム（英語）Ⅰ	4	今	秋集中		稲垣 俊史	大学一括登録		×
2～		12201172	-	海外語学プログラム（英語）Ⅱ	4	今	秋集中		稲垣 俊史	大学一括登録		×
2～		12201173	-	海外語学プログラム（英語）Ⅲ	1	今	秋集中		稲垣 俊史	大学一括登録		×
1～		12201191	-	留学とキャリア形成	1	今	秋2	火4	シュトラウマン 千里	一般登録		×
1～		12201192	001	グローバル地域文化学の発信 ①	1	今	春2	火5	石野 未架	一般登録	グローバル地域文 化学の実践1～5 のいずれか1科目	×
	002	グローバル地域文化学の発信 ②	秋2	火5			石野 未架					
選択必修科目C群	選択必修科目C群の内、全学共通教養教育科目の外国語教育科目は別冊の「全学共通教養教育科目履修要項」を参照してください。											
	3～	12201801	-	English Immersion1	2	今	秋2	金3	稲垣 俊史	一般登録		×
	3～	12201802	-	English Immersion2	2	今	春2	金3	稲垣 俊史	一般登録		×
	3～	12201803	-	English Immersion3	2	今	秋2	月2	Oliver JOSEPH	一般登録		×
	3～	12201804	-	English Immersion4	2	今	春2	月2	Oliver JOSEPH	一般登録		×
	1～	12201201	-	地域文化理解のためのインドネシア語1(文法)	2	今	春2	金1	Ami Aminah MEUTIA	一般登録		○
	1～	12201202	-	地域文化理解のためのインドネシア語2(文法)	2	今	秋2	水3	鈴木 隆史	一般登録		○
	2～	12201203	-	地域文化理解のためのインドネシア語3(コミュニケーション)	2	今	春2	金2	Ami Aminah MEUTIA	一般登録		○
	2～	12201204	-	地域文化理解のためのインドネシア語4(講読)	2	今	秋2	水4	鈴木 隆史	一般登録		○
	3～	12201205	-	地域文化理解のためのインドネシア語5(講読)	2	今	春2	金3	Ami Aminah MEUTIA	一般登録		○
	1～	12201301	-	地域文化理解のためのトルコ語1(文法)	2	今	春2	水4	谷 真澄	一般登録		○
	1～	12201302	-	地域文化理解のためのトルコ語2(文法)	2	今	秋2	水4	谷 真澄	一般登録		○
	2～	12201303	-	地域文化理解のためのトルコ語3(コミュニケーション)	2	今	春2	水5	谷 真澄	一般登録		○
	2～	12201304	-	地域文化理解のためのトルコ語4(講読)	2	今	秋2	水5	谷 真澄	一般登録		○
	3～	12201305	-	地域文化理解のためのトルコ語5(講読)	2	今	春2	木4	谷 真澄	一般登録		○
	1～	12201401	-	地域文化理解のためのポルトガル語1(文法)	2	今	春2	金2	村松 英理子	一般登録		○
	1～	12201402	-	地域文化理解のためのポルトガル語2(文法)	2	今	秋2	金2	村松 英理子	一般登録		○
	2～	12201403	-	地域文化理解のためのポルトガル語3(コミュニケーション)	2	今	春2	金3	村松 英理子	一般登録		○
	2～	12201404	-	地域文化理解のためのポルトガル語4(講読)	2	今	秋2	金3	村松 英理子	一般登録		○
	3～	12201405	-	地域文化理解のためのポルトガル語5(講読)	2	今	春2	金4	村松 英理子	一般登録		○

〈2018年度以降生用〉

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
ヨーロッパコース 開講科目一覧表

科目 区分	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部 履修 可否
		科 目 コード	クラス コード									
選択必修科目C群	1～	12201511	-	地域文化理解のためのアラビア語 1	2	今	春2	金2	中道 静香	一般登録		×
	1～	12201512	-	地域文化理解のためのアラビア語 2	2	今	秋2	金2	中道 静香	一般登録	地域文化理解のためのアラビア語1 ^{※1}	×
	1～	12201513	-	地域文化理解のためのアラビア語 3	2	今	秋2	水3	森山 央朗	一般登録		×
	2～	12201514	-	地域文化理解のためのアラビア語 4	2	今	春2	火2	森口 明美	一般登録	地域文化理解のためのアラビア語2または地域文化理解のためのアラビア語3 ^{※2}	×
	2～	12201515	-	地域文化理解のためのアラビア語 5	2	今	秋2	火2	森口 明美	一般登録	地域文化理解のためのアラビア語2または地域文化理解のためのアラビア語3 ^{※2}	×
	3～	12201516	-	地域文化理解のためのアラビア語 6	2				休講	一般登録	地域文化理解のためのアラビア語5 ^{※2}	×
	1～	12201601	001	イタリア語初級Ⅰ ①	1	今	春2	水3	菅野 類	先行登録		×
			051	イタリア語初級Ⅰ ⑤①				火3	菅野 類			
			052	イタリア語初級Ⅰ ⑤②				火1	近藤 直樹			
			053	イタリア語初級Ⅰ ⑤③				火2	近藤 直樹			
	1～	12201602	001	イタリア語初級Ⅱ ①	1	今	秋2	水3	菅野 類	先行登録	イタリア語初級Ⅰ ^{※1}	×
			051	イタリア語初級Ⅱ ⑤①				火3	菅野 類			
			052	イタリア語初級Ⅱ ⑤②				火1	近藤 直樹			
			053	イタリア語初級Ⅱ ⑤③				火2	近藤 直樹			
	1～	12201603	-	地域文化理解のためのイタリア語1(コミュニケーション)	2	今	秋2	月4	Carolina CAPASSO	一般登録	イタリア語初級Ⅰ ^{※1}	○
	2～	12201604	001	イタリア語中級Ⅰ ①	1	田 今	春2	水4	菅野 類	先行登録	イタリア語初級Ⅱ ^{※2}	×
			051	イタリア語中級Ⅰ ⑤①				火3	近藤 直樹			
	2～	12201605	001	イタリア語中級Ⅱ ①	1	田 今	秋2	水4	菅野 類	先行登録	イタリア語中級Ⅰ ^{※1}	×
			051	イタリア語中級Ⅱ ⑤①				火3	近藤 直樹			
	2～	12201606	-	地域文化理解のためのイタリア語2(講読)	2	今	秋2	月2	渋谷 陽子	一般登録	イタリア語初級Ⅱ ^{※2}	○
	3～	12201607	-	地域文化理解のためのイタリア語3(講読)	2	今	春2	月2	渋谷 陽子	一般登録	イタリア語中級Ⅱまたは地域文化理解のためのイタリア語2(講読) ^{※2}	○
	2～	12201608	-	地域文化理解のためのイタリア語4(コミュニケーション)	2	今	春2	月4	Carolina CAPASSO	一般登録	イタリア語初級Ⅱ ^{※2}	○
	2～	12201701	-	地域文化理解のためのフランス語(カナダ)1(講読)(2018年度生)	2	今	春2	月2	Louis LAFLEUR	一般登録		○
	2～	12201702	-	地域文化理解のためのフランス語(カナダ)2(コミュニケーション)(2018年度生)	2	今	秋2	月2	Louis LAFLEUR	一般登録		○
	2～	12201751	-	地域文化理解のためのフランス語(カナダ)1(総合)(2019年度以降生)	2	今	春2	月2	Louis LAFLEUR	一般登録		○
	2～	12201752	-	地域文化理解のためのフランス語(カナダ)2(総合)(2019年度以降生)	2	今	秋2	月2	Louis LAFLEUR	一般登録		○
選択科目A群	選択科目A群の講義テーマは65頁「選択科目A群（地域文化研究科目群）科目・講義テーマ一覧」を参照のこと。											
	1～	12212011	-	ヨーロッパ地域の歴史1	2	今	秋2	木1	水谷 智	一般登録		×
	2～	12212012	-	ヨーロッパ地域の歴史2	2	今	春2	水1	穂山 洋子	一般登録		○
	2～	12212013	-	ヨーロッパ地域の歴史3	2	今	春2	金2	石井 香江	一般登録		○
	1～	12212121	-	ヨーロッパ地域の文化1	2	今	秋2	火3	伊藤 玄吾	一般登録		×
	1～	12212122	-	ヨーロッパ地域の文化2	2	今	春2	金2	高木 繁光	一般登録		×
	2～	12212123	-	ヨーロッパ地域の文化3	2				休講	一般登録		○
	2～	12212124	-	ヨーロッパ地域の文化4	2	今	秋2	水2	宮崎 克裕	一般登録		○
	2～	12212125	-	ヨーロッパ地域の文化5	2	今	秋2	火2	中野 幸男	一般登録		○
	1～	12212211	-	ヨーロッパ地域の課題1	2	今	春2	水5	木戸 衛一	一般登録		×
	1～	12212212	-	ヨーロッパ地域の課題2	2	今	春集中		内山 愉太	一般登録	8月25日～8月28日に集中講義を実施	×
	1～	12212213	-	ヨーロッパ地域の課題3	2	今	秋2	金2	森 正人	一般登録		×
	1～	12212214	-	ヨーロッパ地域の課題4	2	今	秋2	金3	平出 貴大	一般登録		×
	2～	12212215	-	ヨーロッパ地域の課題5	2	今	春2	月2	久野 聖子	一般登録		○
	2～	12212216	-	ヨーロッパ地域の課題6	2	今	秋2	火2	亀谷 百合佳	一般登録		○
	2～	12212217	-	ヨーロッパ地域の課題7	2	今	春2	火2	尹 慧瑛	一般登録		○
	2～	12212218	-	ヨーロッパ地域の課題8	2	今	春2	月1	則武 立樹	一般登録		○

※1 指定の科目を履修済みもしくは同一年度に登録中であること。ただし春学期の指定科目が不合格の場合は、秋学期の当該科目は履修できない。
 ※2 指定の科目を履修済みであること。

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
ヨーロッパコース 開講科目一覧表

科目区分	履修年次	登録コード 科目コード	クラスコード	科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部履修可否
選択科目A群	2～	12202902	-	発信スキル実践	1				休講	先行登録		×
	1～	12202911	-	質的調査の方法	2	今	春2	金1	見原 礼子	一般登録		×
	1～	12202912	-	計量分析の方法	2	今	秋2	火3	土田 潤	一般登録		×
	1～	12202921	-	グローバル地域文化学の実践1	2				休講	大学一括登録		×
	1～	12202922	-	グローバル地域文化学の実践2	2	今	秋集中		尹 慧瑛	大学一括登録		×
	1～	12202923	-	グローバル地域文化学の実践3	2	今	春2	木2	見原 礼子	大学一括登録		×
	1～	12202924	-	グローバル地域文化学の実践4	2	今	秋2	火2	坂本 南美	大学一括登録		×
	1～	12202925	-	グローバル地域文化学の実践5	2	今	春2	木2	石井 香江	大学一括登録		×
選択科目B群	2～	12213001	-	ヨーロッパの思想史	2	今	春2	火2	中川 明才	一般登録		×
	2～	12213002	-	ヨーロッパ社会史1	2	今	春2	火4	藤原 辰史	一般登録		×
	2～	12213003	-	ヨーロッパ社会史2	2	今	秋2	木5	服部 伸	一般登録		×
	2～	12213004	-	ヨーロッパの政治史	2	今	秋2	水1	力久 昌幸	一般登録		×
	3～	12213005	-	ヨーロッパの経済	2	今	春2	火1	菅 一城	一般登録		×
	3～	12213006	-	ヨーロッパの経済史	2	今	秋2	火1	菅 一城	一般登録		×
	3～	12213007	-	ロシア・東ヨーロッパの政治	2	今	春2	水5	橋本 信子	一般登録		×
	2～	12213008	-	E Uの政治	2	今	秋2	火3	鷺江 義勝	一般登録		×
	2～	12208001	-	地理学1	2	今	春2	火1	二村 太郎	一般登録		○
	2～	12208002	-	地理学2	2	今	秋2	火1	香川 雄一	一般登録		○
選択科目C群	1～	12208003	-	日本史概論	4	今	春・秋	金1	堀井 佳代子	一般登録		×
	免許・資格関連科目（本誌58頁参照）											
	全学共通教養教育科目（該当する入学年度の「全学共通教養教育科目履修要項」（別冊）参照）											
	他学部設置科目											
	大学コンソーシアム京都単位互換科目											
	同志社女子大学単位互換科目											
選択科目D群	2～	12234001	-	英語で読む地域文化研究1	2	今	秋2	木2	坂本 南美	先行登録		×
	2～	12234002	-	英語で読む地域文化研究2	2	今	春2	月4	神崎 舞	先行登録		×
	2～	12234003	-	英語で読む地域文化研究3	2	今	春2	木3	尾崎 茂	先行登録		×
	2～	12234004	-	英語で読む地域文化研究4	2	今	秋2	金1	倉科 一希	先行登録		×
	2～	12234005	-	英語で読む地域文化研究5	2				休講	先行登録		×
	2～	12234051	-	Global and Regional Cultural Studies Seminar1	2	今	春2	火2	Matthew LARKING	先行登録		×
	2～	12234052	-	Global and Regional Cultural Studies Seminar2	2	今	秋2	水1	Zachary NANBU	先行登録		×
	2～	12234053	-	Global and Regional Cultural Studies Seminar3	2	今	秋2	月2	David Perrie MCCURRACH	先行登録		×
	2～	12234054	-	Global and Regional Cultural Studies Seminar4	2	今	春2	水2	LAVIGNE Anthony Giacomo	先行登録		×
	2～	12234101	-	ドイツ語で読む地域文化研究1	2	今	春2	金3	穂山 洋子	先行登録		×
	2～	12234102	-	ドイツ語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	金2	高木 繁光	先行登録		×
	2～	12234201	-	フランス語で読む地域文化研究1	2	今	春2	火3	亀谷 百合佳	先行登録		×
	2～	12234202	-	フランス語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	木2	伊藤 玄吾	先行登録		×
	2～	12234301	-	中国語で読む地域文化研究1	2	今	春2	水4	横山 雄大	先行登録		×
	2～	12234302	-	中国語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	木3	副島 一郎	先行登録		×
	2～	12234401	-	スペイン語で読む地域文化研究1	2	今	春2	木2	PEREZ RIOBO Andres	先行登録		×
	2～	12234402	-	スペイン語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	金2	柴田 修子	先行登録		×
	2～	12234501	-	ロシア語で読む地域文化研究1	2	今	春2	金3	中野 幸男	先行登録		×
	2～	12234502	-	ロシア語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	金3	中野 幸男	先行登録		×
	2～	12234601	-	コリア語で読む地域文化研究1	2	今	春2	金3	コ ヨンジン	先行登録		×
	2～	12234602	-	コリア語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	金3	浅羽 祐樹	先行登録		×
	2～	12234701	-	アジア諸言語で読む地域文化研究1	2				休講	先行登録		×
	2～	12234702	-	アジア諸言語で読む地域文化研究2	2				休講	先行登録		×

卒業要件	必修科目	選択必修科目			選択科目				合計
		A群	B群	C群	A群	B群	C群	D群	
	28	6以上 ※ 1	1 ※ 2	24以上 ※ 3	20以上 ※ 4	— ※ 5	16以上	—	124以上

必修科目28単位、選択必修科目のうちA群から6単位以上、B群から1単位、C群から24単位以上、選択科目のうちA群から20単位以上、C群から16単位以上、合計124単位を履修すること。

- | 必修科目 | 単位 |
|------------------|----|
| グローバル地域文化論Ⅰ※6 | 2 |
| グローバル地域文化論Ⅱ※7 | 2 |
| アジア・オセアニア研究入門Ⅰ | 2 |
| アジア・オセアニア研究入門Ⅱ | 2 |
| グローバル地域文化導入セミナー | 2 |
| グローバル地域文化入門セミナー | 2 |
| グローバル地域文化発展セミナーⅠ | 2 |
| グローバル地域文化発展セミナーⅡ | 2 |
| グローバル地域文化専門セミナーⅠ | 2 |
| グローバル地域文化専門セミナーⅡ | 2 |
| 卒業論文 | 8 |
- ※6 2018年度生はグローバル地域文化論
 ※7 2018年度生はグローバル・スタディーズ論
- | 選択必修科目 | 単位 |
|-----------------------|----|
| 選択必修科目A群 | |
| (グローバル・イシュー科目) | |
| グローバル・イシュー1 | 2 |
| グローバル・イシュー2 | 2 |
| グローバル・イシュー3 | 2 |
| グローバル・イシュー4 | 2 |
| グローバル・イシュー5 | 2 |
| グローバル・イシュー6 | 2 |
| グローバル・イシュー7 | 2 |
| グローバル・イシュー8 | 2 |
| グローバル・イシュー9 | 2 |
| グローバル・イシュー10 | 2 |
| グローバル・イシュー11 | 2 |
| (グローバル地域文化教育養育セミナー科目) | |
| グローバル地域文化教育養育セミナー1 | 2 |
| グローバル地域文化教育養育セミナー2 | 2 |
| グローバル地域文化教育養育セミナー3 | 2 |
| グローバル地域文化教育養育セミナー4 | 2 |
| グローバル地域文化教育養育セミナー5 | 2 |
| グローバル地域文化教育養育セミナー6 | 2 |
| グローバル地域文化教育養育セミナー7 | 2 |
| グローバル地域文化教育養育セミナー8 | 2 |
| グローバル地域文化教育養育セミナー9 | 2 |
| グローバル地域文化教育養育セミナー10 | 2 |
| グローバル地域文化教育養育セミナー11 | 2 |
| グローバル地域文化教育養育セミナー12 | 2 |
| グローバル地域文化教育養育セミナー13 | 2 |
- | 選択必修科目B群 | 単位 |
|-----------------|----|
| サマープログラム・英語A | 4 |
| サマープログラム・英語B | 3 |
| サマープログラム・英語C | 2 |
| サマープログラム・ドイツ語B | 3 |
| サマープログラム・フランス語 | 4 |
| サマープログラム・中国語B※8 | 3 |
| サマープログラム・中国語※9 | 4 |
| サマープログラム・スペイン語 | 4 |
| サマープログラム・ロシア語 | 3 |
| サマープログラム・コリア語 | 3 |
| スプリングプログラム・英語A | 4 |
- | 選択必修科目C群 | 単位 |
|---|----|
| Intensive Advanced English 1※11 | 3 |
| Intensive Advanced English 2※11 | 3 |
| Core English (LS) - Intermediate 1※11 | 1 |
| Core English (LS) - Intermediate 2※11 | 2 |
| Core English (RW) - Intermediate 1※11 | 1 |
| Core English (RW) - Intermediate 2※11 | 1 |
| Core English (LS) - Pre-Intermediate 1※11 | 2 |
| Core English (RW) - Pre-Intermediate 1※11 | 2 |
| Core English (RW) - Pre-Intermediate 2※11 | 1 |
| Basic English (LS) 1※11 | 2 |
| Basic English (LS) 2※11 | 2 |
| Basic English (RW) 1※11 | 1 |
| Basic English (RW) 2※11 | 2 |
| General Academic English (LS) - Intermediate※11 | 1 |
| General Academic English (RW) - Intermediate※11 | 1 |
| General Academic English (LS) - Pre-Intermediate※11 | 1 |
| General Academic English (RW) - Pre-Intermediate※11 | 1 |
| English for Professional Purposes 1※11 | 1 |
| English for Professional Purposes 2※11 | 1 |
| English for Academic Purposes 1※11 | 2 |
| English for Academic Purposes 2※11 | 2 |
| English for Academic Purposes 3※11 | 2 |
| Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1 | 2 |
| Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2 | 2 |
| Study Abroad Preparation (IELTS) 1 | 2 |
| Study Abroad Preparation (IELTS) 2 | 2 |
| コミュニケーション・イングリッシュ1※12 | 1 |
| コミュニケーション・イングリッシュ2※12 | 1 |
| アナリティカル・リーディング1※12 | 1 |
- | | |
|---|---|
| アナリティカル・リーディング2※12 | 1 |
| イングリッシュ・セミナー1※12 | 1 |
| イングリッシュ・セミナー2※12 | 1 |
| イングリッシュ・セミナー3※12 | 2 |
| イングリッシュ・ワークショップ1※12 | 1 |
| イングリッシュ・ワークショップ2※12 | 1 |
| イングリッシュ・ワークショップ3※12 | 2 |
| アカデミック・イングリッシュA※12 | 2 |
| アカデミック・イングリッシュB※12 | 2 |
| プロフェッショナル・イングリッシュA※12 | 2 |
| プロフェッショナル・イングリッシュB※12 | 2 |
| イングリッシュ・プラクティズム1※12 | 4 |
| イングリッシュ・プラクティズム2※12 | 4 |
| ブレ・イングリッシュ・プラクティズム※12 | 4 |
| 現代地域事情・上級講読(英語圏)1※12 | 2 |
| 現代地域事情・上級講読(英語圏)2※12 | 2 |
| 言語文化研究1※12 | 2 |
| 言語文化研究2※12 | 2 |
| Intensive Courses for TOEFL (Practice)※13 | 1 |
| Intensive Courses for TOEFL (Tutorial)※13 | 1 |
| English Immersion1 | 2 |
| English Immersion2 | 2 |
| English Immersion3 | 2 |
| English Immersion4 | 2 |
| ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA1 | 2 |
| ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA2 | 2 |
| ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA3 | 2 |
| ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA4 | 2 |
| ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュB1 | 2 |
| ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュB2 | 2 |
| ドイツ語入門Ⅰ | 2 |
| ドイツ語入門Ⅱ | 2 |
| ドイツ語インテンシヴⅠ | 3 |
| ドイツ語インテンシヴⅡ | 3 |
| ドイツ語インテンシヴⅢ | 3 |
| ドイツ語インテンシヴⅣ | 3 |
| ドイツ語インテンシヴⅤ | 2 |
| ドイツ語インテンシヴⅥ | 2 |
| ドイツ語応用1 | 1 |
| ドイツ語応用2 | 1 |
| ドイツ語応用3 | 1 |
| ドイツ語応用4 | 1 |
| ドイツ語会話初級1 | 1 |
| ドイツ語会話初級2 | 1 |
| ドイツ語会話中級1 | 1 |
| ドイツ語会話中級2 | 1 |
| ドイツ語会話上級1 | 1 |
| ドイツ語会話上級2 | 1 |
| ドイツ語文化事情1 | 2 |
| ドイツ語文化事情2 | 2 |
| ドイツ語表現法1 | 2 |
| ドイツ語表現法2 | 2 |
| 言語文化原典演習(ドイツ語)1 | 2 |
| 言語文化原典演習(ドイツ語)2 | 2 |
| 現代地域事情・上級講読(ドイツ語圏)1 | 2 |
| 現代地域事情・上級講読(ドイツ語圏)2 | 2 |

フランス語入門Ⅰ	2
フランス語入門Ⅱ	2
フランス語インテンシヴⅠ	3
フランス語インテンシヴⅡ	3
フランス語インテンシヴⅢ	3
フランス語インテンシヴⅣ	3
フランス語インテンシヴⅤ	2
フランス語インテンシヴⅥ	2
フランス語インテンシヴⅦ	2
フランス語インテンシヴⅧ	2
フランス語応用1	1
フランス語応用2	1
フランス語応用3	1
フランス語応用4	1
フランス語会話初級1	1
フランス語会話初級2	1
フランス語会話中級1	1
フランス語会話中級2	1
フランス語会話上級1	1
フランス語会話上級2	1
フランス語文化事情1	2
フランス語文化事情2	2
フランス語表現法1	2
フランス語表現法2	2
言語文化原典演習(フランス語)1	2
言語文化原典演習(フランス語)2	2
現代地域事情・上級講読(フランス語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(フランス語圏)2	2
中国語入門Ⅰ	2
中国語入門Ⅱ	2
中国語インテンシヴⅠ	3
中国語インテンシヴⅡ	3
中国語インテンシヴⅢ	3
中国語インテンシヴⅣ	3
中国語インテンシヴⅤ	2
中国語インテンシヴⅥ	2
中国語インテンシヴⅦ	2
中国語インテンシヴⅧ	2
中国語応用1	1
中国語応用2	1
中国語応用3	1
中国語応用4	1
中国語会話初級1	1
中国語会話初級2	1
中国語会話中級1	1
中国語会話中級2	1
中国語会話上級1	1
中国語会話上級2	1
中国語文化事情1	2
中国語文化事情2	2
中国語表現法1	2
中国語表現法2	2
言語文化原典演習(中国語)1	2
言語文化原典演習(中国語)2	2
現代地域事情・上級講読(中国語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(中国語圏)2	2
スペイン語入門Ⅰ	2
スペイン語入門Ⅱ	2
スペイン語インテンシヴⅠ	3
スペイン語インテンシヴⅡ	3
スペイン語インテンシヴⅢ	3
スペイン語インテンシヴⅣ	3
スペイン語インテンシヴⅤ	2
スペイン語インテンシヴⅥ	2
スペイン語応用1	1
スペイン語応用2	1
スペイン語応用3	1
スペイン語応用4	1
スペイン語会話初級1	1
スペイン語会話初級2	1
スペイン語会話中級1	1
スペイン語会話中級2	1
スペイン語会話上級1	1
スペイン語会話上級2	1
スペイン語文化事情1	2
スペイン語文化事情2	2
スペイン語表現法1	2
スペイン語表現法2	2
言語文化原典演習(スペイン語)1	2
言語文化原典演習(スペイン語)2	2
現代地域事情・上級講読(スペイン語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(スペイン語圏)2	2
ロシア語入門Ⅰ	2
ロシア語入門Ⅱ	2
ロシア語インテンシヴⅠ	3
ロシア語インテンシヴⅡ	3
ロシア語インテンシヴⅢ	3
ロシア語インテンシヴⅣ	3

ロシア語応用1	1
ロシア語応用2	1
ロシア語応用3	1
ロシア語応用4	1
ロシア語会話初級1	1
ロシア語会話初級2	1
ロシア語会話中級1	1
ロシア語会話中級2	1
ロシア語会話上級1	1
ロシア語会話上級2	1
ロシア語文化事情1	2
ロシア語文化事情2	2
ロシア語表現法1	2
ロシア語表現法2	2
言語文化原典演習(ロシア語)1	2
言語文化原典演習(ロシア語)2	2
現代地域事情・上級講読(ロシア語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(ロシア語圏)2	2
コリア語入門Ⅰ	2
コリア語入門Ⅱ	2
コリア語インテンシヴⅠ	3
コリア語インテンシヴⅡ	3
コリア語インテンシヴⅢ	3
コリア語インテンシヴⅣ	3
コリア語インテンシヴⅤ	2
コリア語インテンシヴⅥ	2
コリア語応用1	1
コリア語応用2	1
コリア語応用3	1
コリア語応用4	1
コリア語会話初級1	1
コリア語会話初級2	1
コリア語会話中級1	1
コリア語会話中級2	1
コリア語会話上級1	1
コリア語会話上級2	1
コリア語文化事情1	2
コリア語文化事情2	2
コリア語表現法1	2
コリア語表現法2	2
言語文化原典演習(コリア語)1	2
言語文化原典演習(コリア語)2	2
現代地域事情・上級講読(コリア語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(コリア語圏)2	2
地域文化理解のためのインドネシア語1(文法)	2
地域文化理解のためのインドネシア語2(文法)	2
地域文化理解のためのインドネシア語3(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのインドネシア語4(講読)	2
地域文化理解のためのインドネシア語5(講読)	2
地域文化理解のためのトルコ語1(文法)	2
地域文化理解のためのトルコ語2(文法)	2
地域文化理解のためのトルコ語3(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのトルコ語4(講読)	2
地域文化理解のためのトルコ語5(講読)	2
地域文化理解のためのポルトガル語1(文法)	2
地域文化理解のためのポルトガル語2(文法)	2
地域文化理解のためのポルトガル語3(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのポルトガル語4(講読)	2
地域文化理解のためのポルトガル語5(講読)	2
地域文化理解のためのアラビア語1	2
地域文化理解のためのアラビア語2(文法)	2
地域文化理解のためのアラビア語3(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのアラビア語4(講読)	2
地域文化理解のためのアラビア語5(講読)	2
イタリア語初級Ⅰ	1
イタリア語初級Ⅱ	1
地域文化理解のためのイタリア語1(コミュニケーション)	1
イタリア語中級Ⅰ	2
イタリア語中級Ⅱ	1
地域文化理解のためのイタリア語2(講読)	2
地域文化理解のためのイタリア語3(講読)	2
地域文化理解のためのイタリア語4(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのフランス語(カナダ)1(総合)	2
地域文化理解のためのフランス語(カナダ)2(総合)	2
※11 2022年度以降生対象	
※12 2021年度以前生対象	
※13 2021年度以前生対象、2022年度より廃止	
※14 2023年度以前生対象、2024年度より廃止	
※15 2018年度生は地域文化理解のためのフランス語(カナダ)1(講読)	
※16 2018年度生は地域文化理解のためのフランス語(カナダ)2(コミュニケーション)	

選択科目	単位
選択科目A群	
アジア・オセアニア地域の歴史1	2
アジア・オセアニア地域の歴史2	2
アジア・オセアニア地域の歴史11	2
アジア・オセアニア地域の歴史12	2
アジア・オセアニア地域の歴史13	2
アジア・オセアニア地域の文化1	2
アジア・オセアニア地域の文化2	2
アジア・オセアニア地域の文化3	2
アジア・オセアニア地域の文化4	2
アジア・オセアニア地域の文化11	2
アジア・オセアニア地域の文化12	2
アジア・オセアニア地域の文化13	2
アジア・オセアニア地域の文化14	2
アジア・オセアニア地域の文化15	2
アジア・オセアニア地域の文化16	2
アジア・オセアニア地域の課題1	2
アジア・オセアニア地域の課題2	2
アジア・オセアニア地域の課題3	2
アジア・オセアニア地域の課題4	2
アジア・オセアニア地域の課題5	2
アジア・オセアニア地域の課題6	2
発信スキル実践	1
質的調査の方法	2
計量分析の方法	2
グローバル地域文化学の実践1	2
グローバル地域文化学の実践2	2
グローバル地域文化学の実践3	2
グローバル地域文化学の実践4	2
グローバル地域文化学の実践5	2

選択科目B群	
アジアの教育と社会1	2
アジアの教育と社会2	2
中国の政治	2
南アジアの政治と社会	2
東アジアの国際関係	2
アジアの経済	2
中国の経済	2
アセアンの経済	2
韓国の経済	2
世界の言語1～10 ^{※17}	1
グローバル地域文化特殊講義1～10 ^{※17}	2
グローバル地域文化研究の実践1、2 ^{※17}	1

※17 派遣留学単位認定用科目(2019年度以降生対象)

選択科目C群	
地理学1	2
地理学2	2
日本史概論	4
免許・資格関連科目	
全学共通教養教育科目	
他学部設置科目	
大学コンソーシアム京都単位互換科目	
同志社女子大学単位互換科目	
チュービンゲン大学IES単位互換科目1～6 ^{※18}	2

※18 ヨーロピアン・スタディーズEUキャンパスプログラム単位認定用科目

選択科目D群	
英語で読む地域文化研究1	2
英語で読む地域文化研究2	2
英語で読む地域文化研究3	2
英語で読む地域文化研究4	2
英語で読む地域文化研究5	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar1	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar2	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar3	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar4	2
ドイツ語で読む地域文化研究1	2
ドイツ語で読む地域文化研究2	2
フランス語で読む地域文化研究1	2
フランス語で読む地域文化研究2	2
中国語で読む地域文化研究1	2
中国語で読む地域文化研究2	2
スペイン語で読む地域文化研究1	2
スペイン語で読む地域文化研究2	2
ロシア語で読む地域文化研究1	2
ロシア語で読む地域文化研究2	2
コリア語で読む地域文化研究1	2
コリア語で読む地域文化研究2	2
アジア諸言語で読む地域文化研究1	2
アジア諸言語で読む地域文化研究2	2

自由科目	単位
情報機器の操作	2
教育実習指導	1
教育実習A	2
教育実習B	2
教育実習C	4
教職実践演習(中・高)	2
特別支援と福祉の教育(2018年度生のみ)	2

第一推奨言語の科目を色づけしています。

■選択必修科目C群(外国語関連科目群)履修上の注意点

- 選択必修科目C群(外国語関連科目群)では、第一言語14単位以上、第二言語10単位以上を履修します。第一言語を初修外国語とする場合は初修型、第一言語を英語とする場合は英語型となります。
- 英語型・初修型の選択は入学時に行います。2年次生の秋学期(発展セミナー申請時)に変更の機会があります。
- **初修型の場合** 第一言語は中国語・コリア語から一つを選択します。第一言語としてこれら以外の初修外国語を選択することはできません。また、第二言語は必ず英語となります。
- **英語型の場合** 第二言語は【第一推奨言語】中国語・コリア語 【第二推奨言語】インドネシア語・トルコ語・アラビア語 【その他の言語】ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語・ポルトガル語・イタリア語の中から一つを選択します。
- 選択必修科目B群(スタディ・アブロード科目群)の卒業必要単位(1単位)を超過する単位は選択必修科目C群(外国語関連科目群)の当該言語の単位に算入されます。

	初修型		英語型	
	第一言語(14単位)	第二言語(10単位)	第一言語(14単位)	第二言語(10単位)
アジア・太平洋コース	中国語・コリア語 から1言語	英語	英語	【第一推奨言語】 中国語・コリア語 【第二推奨言語】 インドネシア語・ トルコ語・アラビア語 【その他の言語】

※第一言語、第二言語ともに一つの言語で14単位、10単位を満たす必要があります。

- ★1年次生は英語の履修科目を決める前に、全員がプレースメントテストを受験します。プレースメントテストの結果によって履修科目が決定します。詳細は別冊の「グローバル地域文化学部登録要領」で確認してください。
- ★初修型・英語型にかかわらず、初修外国語はまずインテンシヴⅠ・Ⅱを履修することを推奨します。ただし、インテンシヴが設置されているのは中国語、コリア語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語のみです。
- ★英語型を選択した場合、第二言語として中国語、コリア語の履修を推奨します。アジア・太平洋コースでは、途中で英語型から初修型に履修パターンを変更する場合、中国語、コリア語以外の言語を履修していても初修型の第一言語としては認められません。
- ★英語型を選択した場合、「その他の言語」として、ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語・ポルトガル語・イタリア語から1言語を履修することもできますが、その場合は必ず登録履修相談を受けてください。
- ★外国人留学生が日本語・日本文化教育科目のうち、日本語Ⅰ(アカデミック・リーディングAⅥ(2023年度以前生は読解AⅥ))～日本語Ⅱ(文法Ⅸ)、ビジネス日本語C、ビジネス日本語Dの単位を履修した場合、英語型は第二言語「日本語」として卒業要件単位に算入されます。初修型の場合は第一言語・第二言語には含まれませんが、「その他の言語」として選択必修科目C群の卒業要件単位に算入されます。
- ★日本語を母語としない学生が外国語を選択する際は、母語もしくは母語に準ずる言語の履修は避けてください。

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
アジア・太平洋コース 開講科目一覧表

科目区分	履修年次	登録コード 科目コード	クラスコード	科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部履修可否
必修科目	1～	12200001	-	グローバル地域文化論（2018年度生）	2	今	春2	水1	見原 礼子 王 柳蘭 物部 ひろみ	一般登録		×
	1～	12200002	-	グローバル・スタディーズ論（2018年度生）	2	今	秋2	水1	二村 太郎 清水 穰 立石 洋子 阿部 範之 清水 達也 殷 晴	一般登録		×
	1～	12200005	-	グローバル地域文化論Ⅰ（2019年度以降生）	2	今	春2	水1	見原 礼子 王 柳蘭 物部 ひろみ	一般登録		×
	1～	12200006	-	グローバル地域文化論Ⅱ（2019年度以降生）	2	今	秋2	水1	二村 太郎 清水 穰 立石 洋子 阿部 範之 清水 達也 殷 晴	一般登録		×
	1～	12200013	-	アジア・オセアニア研究入門Ⅰ	2	今	春2	火4	阿部 範之	一般登録		×
	1～	12200014	-	アジア・オセアニア研究入門Ⅱ	2	今	秋2	火4	小川原 宏幸	一般登録		×
	1～	12200051	001	グローバル地域文化導入セミナー ①	2	今	春2	木3	亀谷 百合佳	大学一括登録		×
			002	グローバル地域文化導入セミナー ②					倉科 一希			
			003	グローバル地域文化導入セミナー ③					神崎 舞			
			004	グローバル地域文化導入セミナー ④					伊藤 玄吾			
			005	グローバル地域文化導入セミナー ⑤					殷 晴			
			006	グローバル地域文化導入セミナー ⑥					久野 聖子			
			007	グローバル地域文化導入セミナー ⑦					尹 慧瑛			
			008	グローバル地域文化導入セミナー ⑧					石野 未架			
			009	グローバル地域文化導入セミナー ⑨					坂本 南美			
			010	グローバル地域文化導入セミナー ⑩					石井 香江			
			011	グローバル地域文化導入セミナー ⑪					遠藤 徹			
	1～	12200052	021	グローバル地域文化入門セミナー ㉑	2	今	秋2	木3	殷 晴	大学一括登録		×
			022	グローバル地域文化入門セミナー ㉒					尾崎 茂			
			023	グローバル地域文化入門セミナー ㉓					王 柳蘭			
			024	グローバル地域文化入門セミナー ㉔					錢 鷗			
	3～	12200053	201	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ㉑	2	今	春2	月3	副島 一郎	大学一括登録		×
			202	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ㉒					石野 未架			
			203	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ㉓					渡辺 文			
			204	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ㉔					王 柳蘭			
			205	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ㉕					小川原 宏幸			
			206	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ㉖					阿部 範之			
	3～	12200054	201	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ㉑	2	今	秋2	月3	副島 一郎	大学一括登録		×
			202	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ㉒					石野 未架			
			203	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ㉓					渡辺 文			
			204	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ㉔					王 柳蘭			
			205	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ㉕					小川原 宏幸			
			206	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ㉖					阿部 範之			
	4～	12200055	201	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ㉑	2	今	春2	月4	副島 一郎	一般登録		×
			202	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ㉒					崎田 智子			
			203	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ㉓					渡辺 文			
			204	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ㉔					王 柳蘭			
			205	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ㉕					小川原 宏幸			
			206	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ㉖					阿部 範之			

2018年度以降生用

ヨーロッパコース

アジア・太平洋コース

アメリカコース

免許資格関連科目・自由科目

〈2018年度以降生用〉

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
アジア・太平洋コース 開講科目一覧表

科目 区分	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部 履修 可否
		科 目 コード	クラス コード									
必修 科目	4～	12200056	201	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ㉑	2	今	秋2	月4	副島 一郎	一般登録		×
			202	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ㉒					崎田 智子			
			203	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ㉓					渡辺 文			
			204	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ㉔					王 柳蘭			
			205	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ㉕					小川原 宏幸			
			206	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ㉖					阿部 範之			
	4～	12200058	201	卒業論文 ㉑	8	今	秋集中		副島 一郎	一般登録	3月卒業予定者用 (3月卒業予定者は こちらの卒業論文を登録して ください)	×
			202	卒業論文 ㉒					崎田 智子			
			203	卒業論文 ㉓					渡辺 文			
			204	卒業論文 ㉔					王 柳蘭			
			205	卒業論文 ㉕					小川原 宏幸			
			206	卒業論文 ㉖					阿部 範之			
	4～	12200059	201	卒業論文 ㉑	8	今	春集中		副島 一郎	一般登録	9月卒業予定者用 (9月卒業予定者は こちらの卒業論文を登録して ください)	×
			202	卒業論文 ㉒					崎田 智子			
			203	卒業論文 ㉓					渡辺 文			
			204	卒業論文 ㉔					王 柳蘭			
			205	卒業論文 ㉕					小川原 宏幸			
			206	卒業論文 ㉖					阿部 範之			
選択必修科目A群	1～	12201021	-	グローバル・ 이슈ー1	2	今	秋2	火3	PEREZ RIOBO Andres	一般登録		×
	1～	12201022	-	グローバル・ 이슈ー2	2	今	秋2	金3	秋林 こずえ			
	2～	12201023	-	グローバル・ 이슈ー3	2				休講			
	2～	12201024	-	グローバル・ 이슈ー4	2	今	秋2	木3	森山 央朗			
	1～	12201025	-	グローバル・ 이슈ー5	2	今	秋2	月1	和泉 真澄			
	2～	12201026	-	グローバル・ 이슈ー6	2	今	春2	水4	西川 由紀子			
	2～	12201027	-	グローバル・ 이슈ー7	2	今	春2	金2	中嶋 洋平			
	2～	12201028	-	グローバル・ 이슈ー8	2	今	春2	金1	大山 修一 青池 歌子			
	1～	12201029	-	グローバル・ 이슈ー9	2	今	春2	金4	浅羽 祐樹			
	2～	12201030	-	グローバル・ 이슈ー10	2	今	春2	火4	清水 稜			
	1～	12201031	-	グローバル・ 이슈ー11	2	今	秋2	月3	尾崎 茂			
	2～	12201051	-	グローバル地域文化教養セミナー1	2	今	春2	木4	穂山 洋子	大学一括登録	グローバル地域 文化導入セミナー	×
	2～	12201052	-	グローバル地域文化教養セミナー2	2	今	秋2	木4	殷 晴			
	2～	12201053	-	グローバル地域文化教養セミナー3	2	今	春2	木4	渡辺 文			
	2～	12201054	-	グローバル地域文化教養セミナー4	2	今	春2	木4	伊藤 玄吾			
	2～	12201055	-	グローバル地域文化教養セミナー5	2	今	秋2	木4	崎田 智子			
	2～	12201056	-	グローバル地域文化教養セミナー6	2	今	秋2	木4	神崎 舞			
	2～	12201057	-	グローバル地域文化教養セミナー7	2	今	春2	木4	遠藤 徹			
	2～	12201058	-	グローバル地域文化教養セミナー8	2	今	秋2	木4	石井 香江			
	2～	12201059	-	グローバル地域文化教養セミナー9	2	今	春2	木4	倉科 一希			
	2～	12201060	-	グローバル地域文化教養セミナー10	2	今	春2	木4	浅羽 祐樹			
	2～	12201061	-	グローバル地域文化教養セミナー11	2	今	春2	木4	二村 太郎			
	2～	12201062	-	グローバル地域文化教養セミナー12	2	今	秋2	木4	清水 稜			
	2～	12201063	-	グローバル地域文化教養セミナー13	2	今	春2	木4	阿部 範之			
選択必修科目B群	選択必修科目B群の内、全学共通教養教育科目の外国語教育科目は別冊の「全学共通教養教育科目履修要項」を参照してください。											
	3～	12201101	-	スタディ・ツアー (英語)	2				休講	大学一括登録		×
	3～	12201104	-	スタディ・ツアー (中国語)	2				休講	大学一括登録		×
	3～	12201106	-	スタディ・ツアー (ロシア語)	2				休講	大学一括登録		×
	2～	12201151	-	海外インターンシップ (英語)	2				休講	大学一括登録		×
	2～	12201154	-	海外インターンシップ (中国語)	2				休講	大学一括登録		×

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
アジア・太平洋コース 開講科目一覧表

科目 区分	履修 年次	登録コード 科目 コード	クラス コード	科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部 履修 可否
選択必修科目B群	2～	12201171	-	海外語学プログラム（英語）Ⅰ	4	今	秋集中		稲垣 俊史	大学一括登録		×
	2～	12201172	-	海外語学プログラム（英語）Ⅱ	4	今	秋集中		稲垣 俊史	大学一括登録		×
	2～	12201173	-	海外語学プログラム（英語）Ⅲ	1	今	秋集中		稲垣 俊史	大学一括登録		×
	1～	12201191	-	留学とキャリア形成	1	今	秋2	火4	シュトラウマン 千里	一般登録		×
	1～	12201192	001 002	グローバル地域文化学の発信 ① グローバル地域文化学の発信 ②	1	今	春2 秋2	火5 火5	石野 未架 石野 未架	一般登録	グローバル地域文化学の実践1～5のいずれか1科目	×
選択必修科目C群	選択必修科目C群の内、全学共通教養教育科目の外国語教育科目は別冊の「全学共通教養教育科目履修要項」を参照してください。											
	3～	12201801	-	English Immersion1	2	今	秋2	金3	稲垣 俊史	一般登録		×
	3～	12201802	-	English Immersion2	2	今	春2	金3	稲垣 俊史	一般登録		×
	3～	12201803	-	English Immersion3	2	今	秋2	月2	Oliver JOSEPH	一般登録		×
	3～	12201804	-	English Immersion4	2	今	春2	月2	Oliver JOSEPH	一般登録		×
	1～	12201201	-	地域文化理解のためのインドネシア語1(文法)	2	今	春2	金1	Ami Aminah MEUTIA	一般登録		○
	1～	12201202	-	地域文化理解のためのインドネシア語2(文法)	2	今	秋2	水3	鈴木 隆史	一般登録		○
	2～	12201203	-	地域文化理解のためのインドネシア語3(コミュニケーション)	2	今	春2	金2	Ami Aminah MEUTIA	一般登録		○
	2～	12201204	-	地域文化理解のためのインドネシア語4(講読)	2	今	秋2	水4	鈴木 隆史	一般登録		○
	3～	12201205	-	地域文化理解のためのインドネシア語5(講読)	2	今	春2	金3	Ami Aminah MEUTIA	一般登録		○
	1～	12201301	-	地域文化理解のためのトルコ語1(文法)	2	今	春2	水4	谷 真澄	一般登録		○
	1～	12201302	-	地域文化理解のためのトルコ語2(文法)	2	今	秋2	水4	谷 真澄	一般登録		○
	2～	12201303	-	地域文化理解のためのトルコ語3(コミュニケーション)	2	今	春2	水5	谷 真澄	一般登録		○
	2～	12201304	-	地域文化理解のためのトルコ語4(講読)	2	今	秋2	水5	谷 真澄	一般登録		○
	3～	12201305	-	地域文化理解のためのトルコ語5(講読)	2	今	春2	木4	谷 真澄	一般登録		○
	1～	12201401	-	地域文化理解のためのポルトガル語1(文法)	2	今	春2	金2	村松 英理子	一般登録		○
	1～	12201402	-	地域文化理解のためのポルトガル語2(文法)	2	今	秋2	金2	村松 英理子	一般登録		○
	2～	12201403	-	地域文化理解のためのポルトガル語3(コミュニケーション)	2	今	春2	金3	村松 英理子	一般登録		○
	2～	12201404	-	地域文化理解のためのポルトガル語4(講読)	2	今	秋2	金3	村松 英理子	一般登録		○
	3～	12201405	-	地域文化理解のためのポルトガル語5(講読)	2	今	春2	金4	村松 英理子	一般登録		○
	1～	12201511	-	地域文化理解のためのアラビア語1	2	今	春2	金2	中道 静香	一般登録		×
	1～	12201512	-	地域文化理解のためのアラビア語2	2	今	秋2	金2	中道 静香	一般登録	地域文化理解のためのアラビア語1 ^{*1}	×
	1～	12201513	-	地域文化理解のためのアラビア語3	2	今	秋2	水3	森山 央朗	一般登録		×
	2～	12201514	-	地域文化理解のためのアラビア語4	2	今	春2	火2	森口 明美	一般登録	地域文化理解のためのアラビア語2または地域文化理解のためのアラビア語3 ^{*2}	×
	2～	12201515	-	地域文化理解のためのアラビア語5	2	今	秋2	火2	森口 明美	一般登録	地域文化理解のためのアラビア語2または地域文化理解のためのアラビア語3 ^{*2}	×
	3～	12201516	-	地域文化理解のためのアラビア語6	2				休講	一般登録	地域文化理解のためのアラビア語5 ^{*2}	×
	1～	12201601	001 051 052 053	イタリア語初級Ⅰ ① イタリア語初級Ⅰ ⑤ イタリア語初級Ⅰ ⑤ イタリア語初級Ⅰ ⑤	1	田 今	春2	水3 火3 火1 火2	菅野 類 菅野 類 近藤 直樹 近藤 直樹	先行登録		×
	1～	12201602	001 051 052 053	イタリア語初級Ⅱ ① イタリア語初級Ⅱ ⑤ イタリア語初級Ⅱ ⑤ イタリア語初級Ⅱ ⑤	1	田 今	秋2	水3 火3 火1 火2	菅野 類 菅野 類 近藤 直樹 近藤 直樹	先行登録	イタリア語初級Ⅰ ^{*1}	×
	1～	12201603	-	地域文化理解のためのイタリア語1(コミュニケーション)	2	今	秋2	月4	Carolina CAPASSO	一般登録	イタリア語初級Ⅰ ^{*1}	○
	2～	12201604	001 051	イタリア語中級Ⅰ ① イタリア語中級Ⅰ ⑤	1	田 今	春2	水4 火3	菅野 類 近藤 直樹	先行登録	イタリア語初級Ⅱ ^{*2}	×
	2～	12201605	001 051	イタリア語中級Ⅱ ① イタリア語中級Ⅱ ⑤	1	田 今	秋2	水4 火3	菅野 類 近藤 直樹	先行登録	イタリア語中級Ⅰ ^{*1}	×

※1 指定の科目を履修済もしくは同一年度に登録中であること。ただし春学期の指定科目が不合格の場合は、秋学期の当該科目は履修できない。
※2 指定の科目を履修済であること。

〈2018年度以降生用〉

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
アジア・太平洋コース 開講科目一覧表

科目区分	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位数	校地	期間時間	曜講	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部履修可否
		科目コード	クラスコード									
選択必修科目C群	2～	12201606	-	地域文化理解のためのイタリア語2(講読)	2	今	秋2	月2	渋江 陽子	一般登録	イタリア語初級Ⅱ※2	○
	3～	12201607	-	地域文化理解のためのイタリア語3(講読)	2	今	春2	月2	渋江 陽子	一般登録	イタリア語中級Ⅱまたは地域文化理解のためのイタリア語2(講読)※2	○
	2～	12201608	-	地域文化理解のためのイタリア語4(コミュニケーション)	2	今	春2	月4	Carolina CAPASSO	一般登録	イタリア語初級Ⅱ※2	○
	2～	12201701	-	地域文化理解のためのフランス語(カナダ)1(講読)(2018年度生)	2	今	春2	月2	Louis LAFLEUR	一般登録		○
	2～	12201702	-	地域文化理解のためのフランス語(カナダ)2(コミュニケーション)(2018年度生)	2	今	秋2	月2	Louis LAFLEUR	一般登録		○
	2～	12201751	-	地域文化理解のためのフランス語(カナダ)1(総合)(2019年度以降生)	2	今	春2	月2	Louis LAFLEUR	一般登録		○
	2～	12201752	-	地域文化理解のためのフランス語(カナダ)2(総合)(2019年度以降生)	2	今	秋2	月2	Louis LAFLEUR	一般登録		○
選択科目A群	選択科目A群の講義テーマは66頁「選択科目A群(地域文化研究科目群)科目・講義テーマ一覧」を参照のこと。											
	1～	12222311	-	アジア・オセアニア地域の歴史1	2	今	春2	月3	猪原 達生	一般登録		×
	1～	12222312	-	アジア・オセアニア地域の歴史2	2	今	秋2	火3	渡辺 文	一般登録		×
	1～	12222321	-	アジア・オセアニア地域の歴史11	2	今	春2	水2	殷 晴	一般登録		×
	1～	12222322	-	アジア・オセアニア地域の歴史12	2	今	秋2	金2	小川原 宏幸	一般登録		×
	2～	12222323	-	アジア・オセアニア地域の歴史13	2	今	春2	木2	西 直美	一般登録		○
	1～	12222421	-	アジア・オセアニア地域の文化1	2	今	春2	月2	崎田 智子	一般登録		×
	1～	12222422	-	アジア・オセアニア地域の文化2	2	今	秋2	水2	副島 一郎	一般登録		×
	1～	12222423	-	アジア・オセアニア地域の文化3	2	今	秋2	月2	王 柳蘭	一般登録		×
	2～	12222424	-	アジア・オセアニア地域の文化4	2	今	秋2	火4	祖田 亮次	一般登録		○
	2～	12222431	-	アジア・オセアニア地域の文化11	2	今	秋2	火1	阿部 範之	一般登録		○
	2～	12222432	-	アジア・オセアニア地域の文化12	2	今	春2	金5	矢島 洋一	一般登録		○
	2～	12222433	-	アジア・オセアニア地域の文化13	2	今	秋2	木2	久納 源太	一般登録		○
	2～	12222434	-	アジア・オセアニア地域の文化14	2				休講	一般登録		○
	2～	12222435	-	アジア・オセアニア地域の文化15	2	今	秋2	火3	藤倉 康子	一般登録		○
	2～	12222436	-	アジア・オセアニア地域の文化16	2	今	春2	金2	丹羽 典生	一般登録		○
	2～	12222511	-	アジア・オセアニア地域の課題1	2	今	春2	金1	小川原 宏幸	一般登録		○
	2～	12222512	-	アジア・オセアニア地域の課題2	2				休講	一般登録		○
	2～	12222513	-	アジア・オセアニア地域の課題3	2	今	秋2	金4	コ ヨンジ	一般登録		○
	3～	12222514	-	アジア・オセアニア地域の課題4	2	今	春2	月4	祖田 亮次	一般登録		○
	3～	12222515	-	アジア・オセアニア地域の課題5	2	今	春2	水3	千田 悦子	一般登録		○
	3～	12222516	-	アジア・オセアニア地域の課題6	2	今	秋2	木2	根岸 智代	一般登録		○
	2～	12202902	-	発信スキル実践	1				休講	先行登録		×
	1～	12202911	-	質的調査の方法	2	今	春2	金1	見原 礼子	一般登録		×
	1～	12202912	-	計量分析の方法	2	今	秋2	火3	土田 潤	一般登録		×
	1～	12202921	-	グローバル地域文化学の実践 1	2				休講	大学一括登録		×
	1～	12202922	-	グローバル地域文化学の実践 2	2	今	秋集中		尹 慧瑛	大学一括登録		×
	1～	12202923	-	グローバル地域文化学の実践 3	2	今	春2	木2	見原 礼子	大学一括登録		×
	1～	12202924	-	グローバル地域文化学の実践 4	2	今	秋2	火2	坂本 南美	大学一括登録		×
	1～	12202925	-	グローバル地域文化学の実践 5	2	今	春2	木2	石井 香江	大学一括登録		×
選択科目B群	2～	12223101	-	アジアの教育と社会1	2	今	春2	月1	中川 吉晴	一般登録		×
	2～	12223102	-	アジアの教育と社会2	2	今	秋2	水1	中川 吉晴	一般登録		×
	3～	12223103	-	中国の政治	2	今	春2	水3	土屋 貴裕	一般登録		×
	3～	12223104	-	南アジアの政治と社会	2	今	秋2	火4	中溝 和弥	一般登録		×
	2～	12223105	-	東アジアの国際関係	2	インターネット	秋2		毛利 亜樹	一般登録		×
	3～	12223106	-	アジアの経済	2	今	秋2	金2	西川 純平	一般登録		×
	3～	12223107	-	中国の経済	2	今	春2	月4	鳥谷 一生	一般登録		×
	3～	12223108	-	アセアンの経済	2	今	春2	金1	林田 秀樹	一般登録		×
	3～	12223109	-	韓国の経済	2	今	秋2	火1	遠藤 敏幸	一般登録		×

※1 指定の科目を履修済もしくは同一年度に登録中であること。ただし春学期の指定科目が不合格の場合は、秋学期の当該科目は履修できない。

※2 指定の科目を履修済であること。

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
アジア・太平洋コース 開講科目一覧表

科目区分	履修年次	登録コード 科目コード	クラスコード	科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部履修可否
選択科目C群	2～	12208001	-	地理学1	2	今	春2	火1	二村 太郎	一般登録		○
	2～	12208002	-	地理学2	2	今	秋2	火1	香川 雄一	一般登録		○
	1～	12208003	-	日本史概論	4	今	春・秋	金1	堀井 佳代子	一般登録		×
	免許・資格関連科目（本誌58頁参照）											
	全学共通教養教育科目（該当する入学年度の「全学共通教養教育科目履修要項」（別冊）参照）											
	他学部設置科目											
	大学コンソーシアム京都単位互換科目											
選択科目D群	同志社女子大学単位互換科目											
	2～	12234001	-	英語で読む地域文化研究1	2	今	秋2	木2	坂本 南美	先行登録		×
	2～	12234002	-	英語で読む地域文化研究2	2	今	春2	月4	神崎 舞	先行登録		×
	2～	12234003	-	英語で読む地域文化研究3	2	今	春2	木3	尾崎 茂	先行登録		×
	2～	12234004	-	英語で読む地域文化研究4	2	今	秋2	金1	倉科 一希	先行登録		×
	2～	12234005	-	英語で読む地域文化研究5	2				休講	先行登録		×
	2～	12234051	-	Global and Regional Cultural Studies Seminar1	2	今	春2	火2	Matthew LARKING	先行登録		×
	2～	12234052	-	Global and Regional Cultural Studies Seminar2	2	今	秋2	水1	Zachary NANBU	先行登録		×
	2～	12234053	-	Global and Regional Cultural Studies Seminar3	2	今	秋2	月2	David Perrie MCCURRACH	先行登録		×
	2～	12234054	-	Global and Regional Cultural Studies Seminar4	2	今	春2	水2	LAVIGNE Anthony Giacomo	先行登録		×
	2～	12234101	-	ドイツ語で読む地域文化研究1	2	今	春2	金3	穂山 洋子	先行登録		×
	2～	12234102	-	ドイツ語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	金2	高木 繁光	先行登録		×
	2～	12234201	-	フランス語で読む地域文化研究1	2	今	春2	火3	亀谷 百合佳	先行登録		×
	2～	12234202	-	フランス語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	木2	伊藤 玄吾	先行登録		×
	2～	12234301	-	中国語で読む地域文化研究1	2	今	春2	水4	横山 雄大	先行登録		×
	2～	12234302	-	中国語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	木3	副島 一郎	先行登録		×
	2～	12234401	-	スペイン語で読む地域文化研究1	2	今	春2	木2	PEREZ RIOBO Andres	先行登録		×
	2～	12234402	-	スペイン語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	金2	柴田 修子	先行登録		×
	2～	12234501	-	ロシア語で読む地域文化研究1	2	今	春2	金3	中野 幸男	先行登録		×
	2～	12234502	-	ロシア語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	金3	中野 幸男	先行登録		×
	2～	12234601	-	コリア語で読む地域文化研究1	2	今	春2	金3	コ ヨンジン	先行登録		×
	2～	12234602	-	コリア語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	金3	浅羽 祐樹	先行登録		×
	2～	12234701	-	アジア諸言語で読む地域文化研究1	2				休講	先行登録		×
	2～	12234702	-	アジア諸言語で読む地域文化研究2	2				休講	先行登録		×

アメリカコース

卒業要件	必修科目	選択必修科目			選択科目				合計
		A群	B群	C群	A群	B群	C群	D群	
	28	6以上 ※1	1 ※2	24以上 ※3	20以上 ※4	— ※5	16以上	—	124以上

【卒業要件】

必修科目28単位、選択必修科目のうちA群から6単位以上、B群から1単位、C群から24単位以上、選択科目のうちA群から20単位以上、C群から16単位以上、合計124単位を履修すること。

- ※1 グローバル・イシュー科目から4単位以上、グローバル地域文化教養セミナー科目から2単位以上履修すること。
- ※2 選択必修科目B群（スタディ・アプロード科目群）の卒業必要単位（1単位）を超過する単位は選択必修科目C群（外国語関連科目群）の当該言語の卒業要件単位に算入する。
- ※3 第一言語14単位以上、第二言語10単位以上履修すること。詳細は「選択必修科目C群（外国語関連科目群）履修上の注意点」（52頁）を参照のこと。
- ※4 20単位のうち、アメリカコースの科目から14単位以上履修すること。（他コースの科目も2単位以上履修することが望ましい。）全コース共通科目（発信スキル実践、質的調査の方法、計量分析の方法、グローバル地域文化学の実践1～5）は、自コースの卒業必要単位14単位には含まない。
- ※5 他コースの科目も履修可。

必修科目	単位
グローバル地域文化論Ⅰ ^{※6}	2
グローバル地域文化論Ⅱ ^{※7}	2
南北アメリカ研究入門Ⅰ	2
南北アメリカ研究入門Ⅱ	2
グローバル地域文化導入セミナー	2
グローバル地域文化入門セミナー	2
グローバル地域文化発展セミナーⅠ	2
グローバル地域文化発展セミナーⅡ	2
グローバル地域文化専門セミナーⅠ	2
グローバル地域文化専門セミナーⅡ	2
卒業論文	8

※6 2018年度生はグローバル地域文化論

※7 2018年度生はグローバル・スタディーズ論

選択必修科目	単位
選択必修科目A群	
(グローバル・イシュー科目)	
グローバル・イシュー1	2
グローバル・イシュー2	2
グローバル・イシュー3	2
グローバル・イシュー4	2
グローバル・イシュー5	2
グローバル・イシュー6	2
グローバル・イシュー7	2
グローバル・イシュー8	2
グローバル・イシュー9	2
グローバル・イシュー10	2
グローバル・イシュー11	2
(グローバル地域文化教養セミナー科目)	
グローバル地域文化教養セミナー1	2
グローバル地域文化教養セミナー2	2
グローバル地域文化教養セミナー3	2
グローバル地域文化教養セミナー4	2
グローバル地域文化教養セミナー5	2
グローバル地域文化教養セミナー6	2
グローバル地域文化教養セミナー7	2
グローバル地域文化教養セミナー8	2
グローバル地域文化教養セミナー9	2
グローバル地域文化教養セミナー10	2
グローバル地域文化教養セミナー11	2
グローバル地域文化教養セミナー12	2
グローバル地域文化教養セミナー13	2

選択必修科目B群	単位
サマープログラム・英語A	4
サマープログラム・英語B	3
サマープログラム・英語C	2
サマープログラム・ドイツ語B	3
サマープログラム・フランス語	4
サマープログラム・中国語 ^{※8}	3
サマープログラム・中国語 ^{※9}	4
サマープログラム・スペイン語	4
サマープログラム・ロシア語	4
サマープログラム・ロシア語	3
スプリングプログラム・英語A	4

スプリングプログラム・英語B	3
スプリングプログラム・英語C	2
スプリングプログラム・英語D	1
スプリングプログラム・ドイツ語	3
スプリングプログラム・フランス語	3
スプリングプログラム・中国語	3
スプリングプログラム・スペイン語B	1
スプリングプログラム・ロシア語	3
セメスタープログラム・英語Ⅰ	4
セメスタープログラム・英語Ⅱ	4
セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ	4
セメスタープログラム・ドイツ語Ⅱ	4
スタディ・ツアー	2
海外インターンシップ	2
海外語学プログラム(英語)Ⅰ	4
海外語学プログラム(英語)Ⅱ	4
海外語学プログラム(英語)Ⅲ	1
留学とキャリア形成	1
グローバル地域文化学の発信	1
派遣留学プログラム1 ^{※10}	1
派遣留学プログラム2 ^{※10}	2

※8 2019年度以降生対象

※9 2021年度以前生対象、2022年度より廃止

※10 派遣留学単位認定用科目(2019年度以降生対象)

選択必修科目C群	単位
Intensive Advanced English 1 ^{※11}	3
Intensive Advanced English 2 ^{※11}	3
Core English (LS) - Intermediate 1 ^{※11}	2
Core English (LS) - Intermediate 2 ^{※11}	2
Core English (RW) - Intermediate 1 ^{※11}	1
Core English (RW) - Intermediate 2 ^{※11}	1
Core English (LS) - Pre-Intermediate 1 ^{※11}	2
Core English (LS) - Pre-Intermediate 2 ^{※11}	2
Core English (RW) - Pre-Intermediate 1 ^{※11}	1
Core English (RW) - Pre-Intermediate 2 ^{※11}	1
Basic English (LS) 1 ^{※11}	2
Basic English (LS) 2 ^{※11}	2
Basic English (RW) 1 ^{※11}	1
Basic English (RW) 2 ^{※11}	1
General Academic English (LS) - Intermediate ^{※11}	1
General Academic English (RW) - Intermediate ^{※11}	1
General Academic English (LS) - Pre-Intermediate ^{※11}	1
General Academic English (RW) - Pre-Intermediate ^{※11}	1
English for Professional Purposes 1 ^{※11}	1
English for Professional Purposes 2 ^{※11}	1
English for Academic Purposes 1 ^{※11}	2
English for Academic Purposes 2 ^{※11}	2
English for Academic Purposes 3 ^{※11}	2
Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	2
Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	2
Study Abroad Preparation (IELTS) 1	2
Study Abroad Preparation (IELTS) 2	2
コミュニケーション・イングリッシュ1 ^{※12}	1
コミュニケーション・イングリッシュ2 ^{※12}	1
アナリティカル・リーディング1 ^{※12}	1

アナリティカル・リーディング2 ^{※12}	1
イングリッシュ・セミナー1 ^{※12}	1
イングリッシュ・セミナー2 ^{※12}	1
イングリッシュ・セミナー3 ^{※12}	2
イングリッシュ・ワークショップ1 ^{※12}	1
イングリッシュ・ワークショップ2 ^{※12}	1
イングリッシュ・ワークショップ3 ^{※12}	2
アカデミック・イングリッシュA ^{※12}	2
アカデミック・イングリッシュB ^{※12}	2
プロフェッショナル・イングリッシュA ^{※12}	2
プロフェッショナル・イングリッシュB ^{※12}	2
イングリッシュ・プラクティクム1 ^{※12}	4
イングリッシュ・プラクティクム2 ^{※12}	4
プレ・イングリッシュ・プラクティクム ^{※12}	4
現代地域事情・上級講読(英語圏)1 ^{※12}	2
現代地域事情・上級講読(英語圏)2 ^{※12}	2
言語文化研究1 ^{※12}	2
言語文化研究2 ^{※12}	2
Intensive Courses for TOEFL (Practice) ^{※13}	1
Intensive Courses for TOEFL (Tutorial) ^{※13}	1
English Immersion1	2
English Immersion2	2
English Immersion3	2
English Immersion4	2
ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA1	2
ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA2	2
ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA3	2
ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュA4	2
ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュB1	2
ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュB2	2
ドイツ語入門Ⅰ	2
ドイツ語入門Ⅱ	2
ドイツ語インテンシヴⅠ	3
ドイツ語インテンシヴⅡ	3
ドイツ語インテンシヴⅢ	3
ドイツ語インテンシヴⅣ	3
ドイツ語インテンシヴⅤ	2
ドイツ語インテンシヴⅥ	2
ドイツ語応用1	1
ドイツ語応用2	1
ドイツ語応用3	1
ドイツ語応用4	1
ドイツ語会話初級1	1
ドイツ語会話初級2	1
ドイツ語会話中級1	1
ドイツ語会話中級2	1
ドイツ語会話上級1	1
ドイツ語会話上級2	1
ドイツ語文化事情1	2
ドイツ語文化事情2	2
ドイツ語表現法1	2
ドイツ語表現法2	2
言語文化原典演習(ドイツ語)1	2
言語文化原典演習(ドイツ語)2	2
現代地域事情・上級講読(ドイツ語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(ドイツ語圏)2	2

フランス語入門Ⅰ	2
フランス語入門Ⅱ	2
フランス語インテンシヴⅠ	3
フランス語インテンシヴⅡ	3
フランス語インテンシヴⅢ	3
フランス語インテンシヴⅣ	3
フランス語インテンシヴⅤ	2
フランス語インテンシヴⅥ	2
フランス語インテンシヴⅦ	2
フランス語インテンシヴⅧ	2
フランス語応用1	1
フランス語応用2	1
フランス語応用3	1
フランス語応用4	1
フランス語会話初級1	1
フランス語会話初級2	1
フランス語会話中級1	1
フランス語会話中級2	1
フランス語会話上級1	1
フランス語会話上級2	1
フランス語文化事情1	2
フランス語文化事情2	2
フランス語表現法1	2
フランス語表現法2	2
言語文化原典演習(フランス語)1	2
言語文化原典演習(フランス語)2	2
現代地域事情・上級講読(フランス語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(フランス語圏)2	2
中国語入門Ⅰ	2
中国語入門Ⅱ	2
中国語インテンシヴⅠ	3
中国語インテンシヴⅡ	3
中国語インテンシヴⅢ	3
中国語インテンシヴⅣ	3
中国語インテンシヴⅤ	2
中国語インテンシヴⅥ	2
中国語インテンシヴⅦ	2
中国語インテンシヴⅧ	2
中国語応用1	1
中国語応用2	1
中国語応用3	1
中国語応用4	1
中国語会話初級1	1
中国語会話初級2	1
中国語会話中級1	1
中国語会話中級2	1
中国語会話上級1	1
中国語会話上級2	1
中国語文化事情1	2
中国語文化事情2	2
中国語表現法1	2
中国語表現法2	2
言語文化原典演習(中国語)1	2
言語文化原典演習(中国語)2	2
現代地域事情・上級講読(中国語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(中国語圏)2	2
スペイン語入門Ⅰ	2
スペイン語入門Ⅱ	2
スペイン語インテンシヴⅠ	3
スペイン語インテンシヴⅡ	3
スペイン語インテンシヴⅢ	3
スペイン語インテンシヴⅣ	3
スペイン語インテンシヴⅤ	2
スペイン語インテンシヴⅥ	2
スペイン語応用1	1
スペイン語応用2	1
スペイン語応用3	1
スペイン語応用4	1
スペイン語会話初級1	1
スペイン語会話初級2	1
スペイン語会話中級1	1
スペイン語会話中級2	1
スペイン語会話上級1	1
スペイン語会話上級2	1
スペイン語文化事情1	2
スペイン語文化事情2	2
スペイン語表現法1	2
スペイン語表現法2	2
言語文化原典演習(スペイン語)1	2
言語文化原典演習(スペイン語)2	2
現代地域事情・上級講読(スペイン語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(スペイン語圏)2	2
ロシア語入門Ⅰ	2
ロシア語入門Ⅱ	2
ロシア語インテンシヴⅠ	3
ロシア語インテンシヴⅡ	3
ロシア語インテンシヴⅢ	3
ロシア語インテンシヴⅣ	3

ロシア語応用1	1
ロシア語応用2	1
ロシア語応用3	1
ロシア語応用4	1
ロシア語会話初級1	1
ロシア語会話初級2	1
ロシア語会話中級1	1
ロシア語会話中級2	1
ロシア語会話上級1	1
ロシア語会話上級2	1
ロシア語文化事情1	2
ロシア語文化事情2	2
ロシア語表現法1	2
ロシア語表現法2	2
言語文化原典演習(ロシア語)1	2
言語文化原典演習(ロシア語)2	2
現代地域事情・上級講読(ロシア語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(ロシア語圏)2	2
コリア語入門Ⅰ	2
コリア語入門Ⅱ	2
コリア語インテンシヴⅠ	3
コリア語インテンシヴⅡ	3
コリア語インテンシヴⅢ	3
コリア語インテンシヴⅣ	3
コリア語インテンシヴⅤ	2
コリア語インテンシヴⅥ	2
コリア語応用1	1
コリア語応用2	1
コリア語応用3	1
コリア語応用4	1
コリア語会話初級1	1
コリア語会話初級2	1
コリア語会話中級1	1
コリア語会話中級2	1
コリア語会話上級1	1
コリア語会話上級2	1
コリア語文化事情1	2
コリア語文化事情2	2
コリア語表現法1	2
コリア語表現法2	2
言語文化原典演習(コリア語)1	2
言語文化原典演習(コリア語)2	2
現代地域事情・上級講読(コリア語圏)1	2
現代地域事情・上級講読(コリア語圏)2	2
地域文化理解のためのインドネシア語1(文法)	2
地域文化理解のためのインドネシア語2(文法)	2
地域文化理解のためのインドネシア語3(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのインドネシア語4(講読)	2
地域文化理解のためのインドネシア語5(講読)	2
地域文化理解のためのトルコ語1(文法)	2
地域文化理解のためのトルコ語2(文法)	2
地域文化理解のためのトルコ語3(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのトルコ語4(講読)	2
地域文化理解のためのトルコ語5(講読)	2
地域文化理解のためのポルトガル語1(文法)	2
地域文化理解のためのポルトガル語2(文法)	2
地域文化理解のためのポルトガル語3(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのポルトガル語4(講読)	2
地域文化理解のためのポルトガル語5(講読)	2
地域文化理解のためのアラビア語1	2
地域文化理解のためのアラビア語2	2
地域文化理解のためのアラビア語3	2
地域文化理解のためのアラビア語4	2
地域文化理解のためのアラビア語5	2
地域文化理解のためのアラビア語6	2
地域文化理解のためのアラビア語1(文法)※14	2
地域文化理解のためのアラビア語2(文法)※14	2
地域文化理解のためのアラビア語3(コミュニケーション)※14	2
地域文化理解のためのアラビア語4(講読)※14	2
地域文化理解のためのアラビア語5(講読)※14	2
イタリア語初級Ⅰ	1
イタリア語初級Ⅱ	1
地域文化理解のためのイタリア語1(コミュニケーション)	2
イタリア語中級Ⅰ	1
イタリア語中級Ⅱ	1
地域文化理解のためのイタリア語2(講読)	2
地域文化理解のためのイタリア語3(講読)	2
地域文化理解のためのイタリア語4(コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのフランス語(カナダ)1(総合)※15	2
地域文化理解のためのフランス語(カナダ)2(総合)※16	2
※11 2022年度以降生対象	
※12 2021年度以前生対象	
※13 2021年度以前生対象、2022年度より廃止	
※14 2023年度以前生対象、2024年度より廃止	
※15 2018年度生は地域文化理解のためのフランス語(カナダ)1(講読)	
※16 2018年度生は地域文化理解のためのフランス語(カナダ)2(コミュニケーション)	

選択科目	単位
選択科目A群	
南北アメリカ地域の歴史1	2
南北アメリカ地域の歴史2	2
南北アメリカ地域の歴史3	2
南北アメリカ地域の歴史4	2
南北アメリカ地域の歴史5	2
南北アメリカ地域の歴史6	2
南北アメリカ地域の歴史7	2
南北アメリカ地域の文化1	2
南北アメリカ地域の文化2	2
南北アメリカ地域の文化3	2
南北アメリカ地域の文化4	2
南北アメリカ地域の文化5	2
南北アメリカ地域の文化6	2
南北アメリカ地域の文化7	2
南北アメリカ地域の課題1	2
南北アメリカ地域の課題2	2
南北アメリカ地域の課題3	2
南北アメリカ地域の課題4	2
南北アメリカ地域の課題5	2
南北アメリカ地域の課題6	2
南北アメリカ地域の課題7	2
南北アメリカ地域の課題8	2
発信スキル実践	1
質的調査の方法	2
計量分析の方法	2
グローバル地域文化化学の実践1	2
グローバル地域文化化学の実践2	2
グローバル地域文化化学の実践3	2
グローバル地域文化化学の実践4	2
グローバル地域文化化学の実践5	2

選択科目B群	
アメリカ文化の歴史1	2
アメリカ文化の歴史2	2
アメリカの経済	2
アメリカの経済史	2
アメリカの政治と外交	2
ラテンアメリカの政治と社会	2
世界の言語1～10※17	1
グローバル地域文化特殊講義1～10※17	2
グローバル地域文化研究の実践1,2※17	1

※17 派遣留学単位認定科目(2019年度以降生対象)

選択科目C群	
地理学1	2
地理学2	2
日本史概論	4
免許・資格関連科目	
全学共通教養教育科目	
他学部設置科目	
大学コンソーシアム京都単位互換科目	
同志社女子大学単位互換科目	
チュービンゲン大学IES単位互換科目1～6※18	2
※18 ヨーロピアン・スタディーズEUキャンパス プログラム単位認定科目	

選択科目D群	
英語で読む地域文化研究1	2
英語で読む地域文化研究2	2
英語で読む地域文化研究3	2
英語で読む地域文化研究4	2
英語で読む地域文化研究5	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar1	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar2	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar3	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar4	2
ドイツ語で読む地域文化研究1	2
ドイツ語で読む地域文化研究2	2
フランス語で読む地域文化研究1	2
フランス語で読む地域文化研究2	2
中国語で読む地域文化研究1	2
中国語で読む地域文化研究2	2
スペイン語で読む地域文化研究1	2
スペイン語で読む地域文化研究2	2
ロシア語で読む地域文化研究1	2
ロシア語で読む地域文化研究2	2
コリア語で読む地域文化研究1	2
コリア語で読む地域文化研究2	2
アジア諸言語で読む地域文化研究1	2
アジア諸言語で読む地域文化研究2	2

自由科目	単位
情報機器の操作	2
教育実習指導	1
教育実習A	2
教育実習B	2
教育実習C	4
教職実践演習(中・高)	2
特別支援と福祉の教育(2018年度生のみ)	2

第一推奨言語の科目を色づけしています。

■選択必修科目C群(外国語関連科目群)履修上の注意点

- 選択必修科目C群(外国語関連科目群)では、第一言語14単位以上、第二言語10単位以上を履修します。第一言語を初修外国語とする場合は初修型、第一言語を英語とする場合は英語型となります。
- 英語型・初修型の選択は入学時に行います。2年次生の秋学期(発展セミナー申請時)に変更の機会があります。
- **初修型の場合** 第一言語はスペイン語です。第一言語としてこれら以外の初修外国語を選択することはできません。また、第二言語は必ず英語となります。
- **英語型の場合** 第二言語は【**第一推奨言語**】スペイン語 【**第二推奨言語**】ポルトガル語・フランス語 【**その他の言語**】ドイツ語・中国語・ロシア語・コリア語・インドネシア語・トルコ語・アラビア語・イタリア語の中から一つを選択します。
- 選択必修科目B群(スタディ・アブロード科目群)の卒業必要単位(1単位)を超過する単位は選択必修科目C群(外国語関連科目群)の当該言語の単位に算入されます。

	初修型		英語型	
	第一言語(14単位)	第二言語(10単位)	第一言語(14単位)	第二言語(10単位)
アメリカコース	スペイン語	英語	英語	【 第一推奨言語 】 スペイン語 【 第二推奨言語 】 ポルトガル語・フランス語 【 その他の言語 】

※第一言語、第二言語ともに一つの言語で14単位、10単位を満たす必要があります。

- ★1年次生は英語の履修科目を決める前に、全員がプレースメントテストを受験します。プレースメントテストの結果によって履修科目が決定します。詳細は別冊の「グローバル地域文化学部登録要領」で確認してください。
- ★初修型・英語型にかかわらず、初修外国語はまずインテンシヴⅠ・Ⅱを履修することを推奨します。ただし、インテンシヴが設置されているのはスペイン語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、コリア語のみです。
- ★英語型を選択した場合、第二言語としてスペイン語の履修を推奨します。アメリカコースでは、途中で英語型から初修型に履修パターンを変更する場合、スペイン語以外の言語を履修していても初修型の第一言語としては認められません。
- ★英語型を選択した場合、「その他の言語」として、ドイツ語・中国語・ロシア語・コリア語・インドネシア語・トルコ語・アラビア語・イタリア語から1言語を履修することもできますが、その場合は必ず登録履修相談を受けてください。
- ★外国人留学生が日本語・日本文化教育科目のうち、日本語Ⅰ(アカデミック・リーディングAⅥ(2023年度以前生は読解AⅥ))～日本語Ⅱ(文法Ⅸ)、ビジネス日本語C、ビジネス日本語Dの単位を履修した場合、英語型は第二言語「日本語」として卒業要件単位に算入されます。初修型の場合は第一言語・第二言語には含まれませんが、「その他の言語」として選択必修科目C群の卒業要件単位に算入されます。
- ★日本語を母語としない学生が外国語を選択する際は、母語もしくは母語に準ずる言語の履修は避けてください。

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
アメリカコース 開講科目一覧表

科目 区分	履修 年次	登録コード 科目 コード	クラス コード	科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部 履修 可否
必修 科目	1～	12200001	-	グローバル地域文化論（2018年度生）	2	今	春2	水1	見原 礼子 王 柳蘭 物部 ひろみ	一般登録		×
	1～	12200002	-	グローバル・スタディーズ論（2018年度生）	2	今	秋2	水1	二村 太郎 清水 穰 立石 洋子 阿部 範之 清水 達也 殷 晴	一般登録		×
	1～	12200005	-	グローバル地域文化論Ⅰ（2019年度以降生）	2	今	春2	水1	見原 礼子 王 柳蘭 物部 ひろみ	一般登録		×
	1～	12200006	-	グローバル地域文化論Ⅱ（2019年度以降生）	2	今	秋2	水1	二村 太郎 清水 穰 立石 洋子 阿部 範之 清水 達也 殷 晴	一般登録		×
	1～	12200015	-	南北アメリカ研究入門Ⅰ	2	今	春2	火4	落合 明子	一般登録		×
	1～	12200016	-	南北アメリカ研究入門Ⅱ	2	今	秋2	火4	清水 達也	一般登録		×
	1～	12200051	001	グローバル地域文化導入セミナー ①	2	今	春2	木3	亀谷 百合佳	大学一括登録		×
			002	グローバル地域文化導入セミナー ②					倉科 一希			
			003	グローバル地域文化導入セミナー ③					神崎 舞			
			004	グローバル地域文化導入セミナー ④					伊藤 玄吾			
			005	グローバル地域文化導入セミナー ⑤					殷 晴			
			006	グローバル地域文化導入セミナー ⑥					久野 聖子			
			007	グローバル地域文化導入セミナー ⑦					尹 慧瑛			
			008	グローバル地域文化導入セミナー ⑧					石野 未架			
			009	グローバル地域文化導入セミナー ⑨					坂本 南美			
			010	グローバル地域文化導入セミナー ⑩					石井 香江			
			011	グローバル地域文化導入セミナー ⑪					遠藤 徹			
	1～	12200052	031	グローバル地域文化入門セミナー ㉑	2	今	秋2	木3	二村 太郎	大学一括登録		×
			032	グローバル地域文化入門セミナー ㉒					倉科 一希			
			033	グローバル地域文化入門セミナー ㉓					村川 淳			
	3～	12200053	301	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ㉑	2	今	春2	月3	柴田 修子	大学一括登録		×
			302	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ㉒					和泉 真澄			
			303	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ㉓					落合 明子			
			304	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ㉔					物部 ひろみ			
			305	グローバル地域文化発展セミナーⅠ ㉕					清水 達也			
	3～	12200054	301	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ㉑	2	今	秋2	月3	柴田 修子	大学一括登録		×
			302	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ㉒					和泉 真澄			
			303	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ㉓					落合 明子			
			304	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ㉔					物部 ひろみ			
			305	グローバル地域文化発展セミナーⅡ ㉕					清水 達也			
	4～	12200055	301	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ㉑	2	今	春2	月4	柴田 修子	一般登録		×
			302	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ㉒					二村 太郎			
			303	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ㉓					落合 明子			
			304	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ㉔					物部 ひろみ			
			305	グローバル地域文化専門セミナーⅠ ㉕					清水 達也			

〈2018年度以降生用〉

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
アメリカコース 開講科目一覧表

科目 区分	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部 履修 可否
		科 目 コード	クラス コード									
必修 科目	4～	12200056	301	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ㉑	2	今	秋2	月4	柴田 修子	一般登録		×
			302	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ㉒					二村 太郎			
			303	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ㉓					落合 明子			
			304	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ㉔					物部 ひろみ			
			305	グローバル地域文化専門セミナーⅡ ㉕					清水 達也			
	4～	12200058	301	卒業論文 ㉑	8	今	秋集中		柴田 修子	一般登録	3月卒業予定者用 (3月卒業予定者 はこちらの卒業 論文を登録して ください)	×
			302	卒業論文 ㉒					二村 太郎			
			303	卒業論文 ㉓					落合 明子			
			304	卒業論文 ㉔					物部 ひろみ			
			305	卒業論文 ㉕					清水 達也			
	4～	12200059	301	卒業論文 ㉑	8	今	春集中		柴田 修子	一般登録	9月卒業予定者用 (9月卒業予定者 はこちらの卒業 論文を登録して ください)	×
			302	卒業論文 ㉒					二村 太郎			
			303	卒業論文 ㉓					落合 明子			
			304	卒業論文 ㉔					物部 ひろみ			
			305	卒業論文 ㉕					清水 達也			
選択必修科目A群	1～	12201021	-	グローバル・ 이슈ー1	2	今	秋2	火3	PEREZ RIOBO Andres	一般登録		×
	1～	12201022	-	グローバル・ 이슈ー2	2	今	秋2	金3	秋林 こずえ			
	2～	12201023	-	グローバル・ 이슈ー3	2				休講			
	2～	12201024	-	グローバル・ 이슈ー4	2	今	秋2	木3	森山 央朗			
	1～	12201025	-	グローバル・ 이슈ー5	2	今	秋2	月1	和泉 真澄			
	2～	12201026	-	グローバル・ 이슈ー6	2	今	春2	水4	西川 由紀子			
	2～	12201027	-	グローバル・ 이슈ー7	2	今	春2	金2	中嶋 洋平			
	2～	12201028	-	グローバル・ 이슈ー8	2	今	春2	金1	大山 修一 青池 歌子			
	1～	12201029	-	グローバル・ 이슈ー9	2	今	春2	金4	浅羽 祐樹			
	2～	12201030	-	グローバル・ 이슈ー10	2	今	春2	火4	清水 稜			
	1～	12201031	-	グローバル・ 이슈ー11	2	今	秋2	月3	尾崎 茂			
	2～	12201051	-	グローバル地域文化教養セミナー1	2	今	春2	木4	穂山 洋子	大学一括登録	グローバル地域 文化導入セミナー	×
	2～	12201052	-	グローバル地域文化教養セミナー2	2	今	秋2	木4	殷 晴			
	2～	12201053	-	グローバル地域文化教養セミナー3	2	今	春2	木4	渡辺 文			
	2～	12201054	-	グローバル地域文化教養セミナー4	2	今	春2	木4	伊藤 玄吾			
	2～	12201055	-	グローバル地域文化教養セミナー5	2	今	秋2	木4	崎田 智子			
	2～	12201056	-	グローバル地域文化教養セミナー6	2	今	秋2	木4	神崎 舞			
	2～	12201057	-	グローバル地域文化教養セミナー7	2	今	春2	木4	遠藤 徹			
	2～	12201058	-	グローバル地域文化教養セミナー8	2	今	秋2	木4	石井 香江			
	2～	12201059	-	グローバル地域文化教養セミナー9	2	今	春2	木4	倉科 一希			
	2～	12201060	-	グローバル地域文化教養セミナー10	2	今	春2	木4	浅羽 祐樹			
	2～	12201061	-	グローバル地域文化教養セミナー11	2	今	春2	木4	二村 太郎			
	2～	12201062	-	グローバル地域文化教養セミナー12	2	今	秋2	木4	清水 稜			
	2～	12201063	-	グローバル地域文化教養セミナー13	2	今	春2	木4	阿部 範之			
選択必修科目B群	選択必修科目B群の内、全学共通教養教育科目の外国語教育科目は別冊の「全学共通教養教育科目履修要項」を参照してください。											
	3～	12201101	-	スタディ・ツアー (英語)	2				休講	大学一括登録		×
	3～	12201104	-	スタディ・ツアー (中国語)	2				休講	大学一括登録		×
	3～	12201106	-	スタディ・ツアー (ロシア語)	2				休講	大学一括登録		×
	2～	12201151	-	海外インターンシップ (英語)	2				休講	大学一括登録		×
	2～	12201154	-	海外インターンシップ (中国語)	2				休講	大学一括登録		×

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
アメリカコース 開講科目一覧表

科目 区分	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部 履修 可否
		科 目 コード	クラス コード									
選択必修科目B群	2～	12201171	-	海外語学プログラム（英語）Ⅰ	4	今	秋集中		稲垣 俊史	大学一括登録		×
	2～	12201172	-	海外語学プログラム（英語）Ⅱ	4	今	秋集中		稲垣 俊史	大学一括登録		×
	2～	12201173	-	海外語学プログラム（英語）Ⅲ	1	今	秋集中		稲垣 俊史	大学一括登録		×
	1～	12201191	-	留学とキャリア形成	1	今	秋2	火4	シュトラウマン 千里	一般登録		×
	1～	12201192	001	グローバル地域文化学の発信 ①	1	今	春2	火5	石野 未架	一般登録	グローバル地域文化学の実践1～5 のいずれか1科目	×
	002	グローバル地域文化学の発信 ②	秋2	火5			石野 未架					
選択必修科目C群	選択必修科目C群の内、全学共通教養教育科目の外国語教育科目は別冊の「全学共通教養教育科目履修要項」を参照してください。											
	3～	12201801	-	English Immersion1	2	今	秋2	金3	稲垣 俊史	一般登録		×
	3～	12201802	-	English Immersion2	2	今	春2	金3	稲垣 俊史	一般登録		×
	3～	12201803	-	English Immersion3	2	今	秋2	月2	Oliver JOSEPH	一般登録		×
	3～	12201804	-	English Immersion4	2	今	春2	月2	Oliver JOSEPH	一般登録		×
	1～	12201201	-	地域文化理解のためのインドネシア語1(文法)	2	今	春2	金1	Ami Aminah MEUTIA	一般登録		○
	1～	12201202	-	地域文化理解のためのインドネシア語2(文法)	2	今	秋2	水3	鈴木 隆史	一般登録		○
	2～	12201203	-	地域文化理解のためのインドネシア語3(コミュニケーション)	2	今	春2	金2	Ami Aminah MEUTIA	一般登録		○
	2～	12201204	-	地域文化理解のためのインドネシア語4(講読)	2	今	秋2	水4	鈴木 隆史	一般登録		○
	3～	12201205	-	地域文化理解のためのインドネシア語5(講読)	2	今	春2	金3	Ami Aminah MEUTIA	一般登録		○
	1～	12201301	-	地域文化理解のためのトルコ語1(文法)	2	今	春2	水4	谷 真澄	一般登録		○
	1～	12201302	-	地域文化理解のためのトルコ語2(文法)	2	今	秋2	水4	谷 真澄	一般登録		○
	2～	12201303	-	地域文化理解のためのトルコ語3(コミュニケーション)	2	今	春2	水5	谷 真澄	一般登録		○
	2～	12201304	-	地域文化理解のためのトルコ語4(講読)	2	今	秋2	水5	谷 真澄	一般登録		○
	3～	12201305	-	地域文化理解のためのトルコ語5(講読)	2	今	春2	木4	谷 真澄	一般登録		○
	1～	12201401	-	地域文化理解のためのポルトガル語1(文法)	2	今	春2	金2	村松 英理子	一般登録		○
	1～	12201402	-	地域文化理解のためのポルトガル語2(文法)	2	今	秋2	金2	村松 英理子	一般登録		○
	2～	12201403	-	地域文化理解のためのポルトガル語3(コミュニケーション)	2	今	春2	金3	村松 英理子	一般登録		○
	2～	12201404	-	地域文化理解のためのポルトガル語4(講読)	2	今	秋2	金3	村松 英理子	一般登録		○
	3～	12201405	-	地域文化理解のためのポルトガル語5(講読)	2	今	春2	金4	村松 英理子	一般登録		○
	1～	12201511	-	地域文化理解のためのアラビア語 1	2	今	春2	金2	中道 静香	一般登録		×
	1～	12201512	-	地域文化理解のためのアラビア語 2	2	今	秋2	金2	中道 静香	一般登録	地域文化理解のための アラビア語1※1	×
	1～	12201513	-	地域文化理解のためのアラビア語 3	2	今	秋2	水3	森山 央朗	一般登録		×
	2～	12201514	-	地域文化理解のためのアラビア語 4	2	今	春2	火2	森口 明美	一般登録	地域文化理解のためのアラ ビア語2または地域文化理 解のためのアラビア語3※2	×
	2～	12201515	-	地域文化理解のためのアラビア語 5	2	今	秋2	火2	森口 明美	一般登録	地域文化理解のためのアラ ビア語2または地域文化理 解のためのアラビア語3※2	×
	3～	12201516	-	地域文化理解のためのアラビア語 6	2				休講	一般登録	地域文化理解のための アラビア語5※2	×
	1～	12201601	001	イタリア語初級Ⅰ ①	1	今	春2	水3	菅野 類	先行登録		×
			051	イタリア語初級Ⅰ ⑤				火3	菅野 類			
			052	イタリア語初級Ⅰ ⑤				火1	近藤 直樹			
			053	イタリア語初級Ⅰ ⑤				火2	近藤 直樹			
	1～	12201602	001	イタリア語初級Ⅱ ①	1	今	秋2	水3	菅野 類	先行登録	イタリア語初級Ⅰ※1	×
			051	イタリア語初級Ⅱ ⑤				火3	菅野 類			
			052	イタリア語初級Ⅱ ⑤				火1	近藤 直樹			
			053	イタリア語初級Ⅱ ⑤				火2	近藤 直樹			
	1～	12201603	-	地域文化理解のためのイタリア語1(コミュニケーション)	2	今	秋2	月4	Carolina CAPASSO	一般登録	イタリア語初級Ⅰ※1	○
	2～	12201604	001	イタリア語中級Ⅰ ①	1	今	春2	水4	菅野 類	先行登録	イタリア語初級Ⅱ※2	×
			051	イタリア語中級Ⅰ ⑤				火3	近藤 直樹			
	2～	12201605	001	イタリア語中級Ⅱ ①	1	今	秋2	水4	菅野 類	先行登録	イタリア語中級Ⅰ※1	×
			051	イタリア語中級Ⅱ ⑤				火3	近藤 直樹			

※1 指定の科目を履修済もしくは同一年度に登録中であること。ただし春学期の指定科目が不合格の場合は、秋学期の当該科目は履修できない。
※2 指定の科目を履修済であること。

〈2018年度以降生用〉

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
アメリカコース 開講科目一覧表

科目 区分	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部 履修 可否
		科 目 コード	クラス コード									
選択必修科目C群	2～	12201606	-	地域文化理解のためのイタリア語2(講読)	2	今	秋2	月2	浜江 陽子	一般登録	イタリア語初級Ⅱ※2	○
	3～	12201607	-	地域文化理解のためのイタリア語3(講読)	2	今	春2	月2	浜江 陽子	一般登録	イタリア語中級Ⅱまたは 地域文化理解のためのイ タリア語2(講読)※2	○
	2～	12201608	-	地域文化理解のためのイタリア語4(コミュニケーション)	2	今	春2	月4	Carolina CAPASSO	一般登録	イタリア語初級Ⅱ※2	○
	2～	12201701	-	地域文化理解のためのフランス語(カナダ)1(講読)(2018年度生)	2	今	春2	月2	Louis LAFLEUR	一般登録		○
	2～	12201702	-	地域文化理解のためのフランス語(カナダ)2(コミュニケーション)(2018年度生)	2	今	秋2	月2	Louis LAFLEUR	一般登録		○
	2～	12201751	-	地域文化理解のためのフランス語(カナダ)1(総合)(2019年度以降生)	2	今	春2	月2	Louis LAFLEUR	一般登録		○
	2～	12201752	-	地域文化理解のためのフランス語(カナダ)2(総合)(2019年度以降生)	2	今	秋2	月2	Louis LAFLEUR	一般登録		○
選択科目A群	選択科目A群の講義テーマは66頁「選択科目A群(地域文化研究科目群)科目・講義テーマ一覧」を参照のこと。											
	1～	12232611	-	南北アメリカ地域の歴史1	2	今	春2	金2	肥後本 芳男	一般登録		×
	1～	12232612	-	南北アメリカ地域の歴史2	2	今	秋2	火3	落合 明子	一般登録		×
	1～	12232613	-	南北アメリカ地域の歴史3	2	今	春2	火3	柴田 修子	一般登録		×
	1～	12232614	-	南北アメリカ地域の歴史4	2	今	秋2	火5	清水 達也	一般登録		×
	2～	12232615	-	南北アメリカ地域の歴史5	2	今	春2	火1	落合 明子	一般登録		○
	2～	12232616	-	南北アメリカ地域の歴史6	2	今	秋2	火2	宮下 敬志	一般登録		○
	3～	12232617	-	南北アメリカ地域の歴史7	2	今	秋2	木2	倉科 一希	一般登録		○
	1～	12232721	-	南北アメリカ地域の文化1	2	今	秋2	月1	神崎 舞	一般登録		×
	1～	12232722	-	南北アメリカ地域の文化2	2	今	春2	月4	村川 淳	一般登録		×
	3～	12232723	-	南北アメリカ地域の文化3	2	今	春2	火3	遠藤 徹	一般登録		○
	2～	12232724	-	南北アメリカ地域の文化4	2	今	春2	木2	UCHINO CRYSTAL KIMI	一般登録		○
	2～	12232725	-	南北アメリカ地域の文化5	2	今	秋2	月4	村川 淳	一般登録		○
	2～	12232726	-	南北アメリカ地域の文化6	2	今	秋2	火1	物部 ひろみ	一般登録		○
	1～	12232727	-	南北アメリカ地域の文化7	2	今	秋2	水4	神崎 隼人	一般登録		×
	2～	12232811	-	南北アメリカ地域の課題1	2	今	春2	水2	二村 太郎	一般登録		○
	2～	12232812	-	南北アメリカ地域の課題2	2	今	春2	月3	村川 淳	一般登録		○
	2～	12232813	-	南北アメリカ地域の課題3	2	今	秋2	火4	倉科 一希	一般登録		○
	3～	12232814	-	南北アメリカ地域の課題4	2	今	春2	火1	和泉 真澄	一般登録		○
	2～	12232815	-	南北アメリカ地域の課題5	2	今	春2	金2	柴田 修子	一般登録		○
	2～	12232816	-	南北アメリカ地域の課題6	2	今	春2	金4	清水 達也	一般登録		○
	3～	12232817	-	南北アメリカ地域の課題7	2	今	秋2	月2	大川 ヘナン	一般登録		○
	2～	12232818	-	南北アメリカ地域の課題8	2	今	秋2	月2	和泉 真澄	一般登録		○
	2～	12202902	-	発信スキル実践	1				休講	先行登録		×
	1～	12202911	-	質的調査の方法	2	今	春2	金1	見原 礼子	一般登録		×
	1～	12202912	-	計量分析の方法	2	今	秋2	火3	土田 潤	一般登録		×
	1～	12202921	-	グローバル地域文化学の実践1	2				休講	大学一括登録		×
	1～	12202922	-	グローバル地域文化学の実践2	2	今	秋集中		尹 慧瑛	大学一括登録		×
	1～	12202923	-	グローバル地域文化学の実践3	2	今	春2	木2	見原 礼子	大学一括登録		×
	1～	12202924	-	グローバル地域文化学の実践4	2	今	秋2	火2	坂本 南美	大学一括登録		×
	1～	12202925	-	グローバル地域文化学の実践5	2	今	春2	木2	石井 香江	大学一括登録		×
選択科目B群	2～	12233201	-	アメリカ文化の歴史1	2	今	春2	火5	小野 直子	一般登録		×
	2～	12233202	-	アメリカ文化の歴史2	2	今	秋2	火5	小野 直子	一般登録		×
	3～	12233203	-	アメリカの経済	2	今	春2	月5	角井 正幸	一般登録		×
	3～	12233204	-	アメリカの経済史	2	今	秋2	木5	角井 正幸	一般登録		×
	2～	12233205	-	アメリカの政治と外交	2	今	秋2	木1	村田 晃嗣	一般登録		×
	3～	12233206	-	ラテンアメリカの政治と社会	2	今	春2	水4	村上 勇介	一般登録		×

※1 指定の科目を履修済もしくは同一年度に登録中であること。ただし春学期の指定科目が不合格の場合は、秋学期の当該科目は履修できない。

※2 指定の科目を履修済であること。

2025年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
アメリカコース 開講科目一覧表

科目区分	履修年次	登録コード 科目コード	クラスコード	科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	登録方法	履修条件など	他学部履修可否
選択科目C群	2～	12208001	-	地理学1	2	今	春2	火1	二村 太郎	一般登録		○
	2～	12208002	-	地理学2	2	今	秋2	火1	香川 雄一	一般登録		○
	1～	12208003	-	日本史概論	4	今	春・秋	金1	堀井 佳代子	一般登録		×
	免許・資格関連科目（本誌58頁参照）											
	全学共通教養教育科目（該当する入学年度の「全学共通教養教育科目履修要項」（別冊）参照）											
	他学部設置科目											
	大学コンソーシアム京都単位互換科目											
選択科目D群	同志社女子大学単位互換科目											
	2～	12234001	-	英語で読む地域文化研究1	2	今	秋2	木2	坂本 南美	先行登録		×
	2～	12234002	-	英語で読む地域文化研究2	2	今	春2	月4	神崎 舞	先行登録		×
	2～	12234003	-	英語で読む地域文化研究3	2	今	春2	木3	尾崎 茂	先行登録		×
	2～	12234004	-	英語で読む地域文化研究4	2	今	秋2	金1	倉科 一希	先行登録		×
	2～	12234005	-	英語で読む地域文化研究5	2				休講	先行登録		×
	2～	12234051	-	Global and Regional Cultural Studies Seminar1	2	今	春2	火2	Matthew LARKING	先行登録		×
	2～	12234052	-	Global and Regional Cultural Studies Seminar2	2	今	秋2	水1	Zachary NANBU	先行登録		×
	2～	12234053	-	Global and Regional Cultural Studies Seminar3	2	今	秋2	月2	David Perrie MCCURRACH	先行登録		×
	2～	12234054	-	Global and Regional Cultural Studies Seminar4	2	今	春2	水2	LAVIGNE Anthony Giacomo	先行登録		×
	2～	12234101	-	ドイツ語で読む地域文化研究1	2	今	春2	金3	穂山 洋子	先行登録		×
	2～	12234102	-	ドイツ語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	金2	高木 繁光	先行登録		×
	2～	12234201	-	フランス語で読む地域文化研究1	2	今	春2	火3	亀谷 百合佳	先行登録		×
	2～	12234202	-	フランス語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	木2	伊藤 玄吾	先行登録		×
	2～	12234301	-	中国語で読む地域文化研究1	2	今	春2	水4	横山 雄大	先行登録		×
	2～	12234302	-	中国語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	木3	副島 一郎	先行登録		×
	2～	12234401	-	スペイン語で読む地域文化研究1	2	今	春2	木2	PEREZ RIOBO Andres	先行登録		×
	2～	12234402	-	スペイン語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	金2	柴田 修子	先行登録		×
	2～	12234501	-	ロシア語で読む地域文化研究1	2	今	春2	金3	中野 幸男	先行登録		×
	2～	12234502	-	ロシア語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	金3	中野 幸男	先行登録		×
	2～	12234601	-	コリア語で読む地域文化研究1	2	今	春2	金3	コ ヨンジン	先行登録		×
	2～	12234602	-	コリア語で読む地域文化研究2	2	今	秋2	金3	浅羽 祐樹	先行登録		×
	2～	12234701	-	アジア諸言語で読む地域文化研究1	2				休講	先行登録		×
	2～	12234702	-	アジア諸言語で読む地域文化研究2	2				休講	先行登録		×

〈2018年度以降生用〉

免許資格関連科目・自由科目

科目 区分	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	履修条件など	他学部 履修 可否
		科 目 コード	クラス コード								
免許資格関連科目	1～	10402643	001	日本の憲法 ①	2	田 インターネット 今	春2		二宮 貴美		
			002				春2		二宮 貴美		
			003				秋2		二宮 貴美		
			051				春2		田中 謙太		
			052				秋2		二宮 貴美		
			053				秋2		松岡 千紘		
	1～	15010020	001	教育原理 ①	2	田 今	春2		佐藤 光友		
			002				秋2		佐藤 光友		
			003				秋2		佐藤 光友		
			051				春2		榎本 恵理		
			052				秋2		榎本 恵理		
			053				春2		和田 充弘		
			054				秋2		森口 洋一		
			055				秋2		長谷川 精一		
			056				春2		長谷川 精一		
	1～	15010010	001	教職概論 ①	2	田 今	秋2		中瀬 浩一		
			002				春2		井上 浩史		
			003				春2		沖田 悟傳		
			004				春2		沖田 悟傳		
			005				秋2		井上 浩史		
			051				秋2		井上 浩史		
			052				秋2		井上 浩史		
			053				春2		沖田 悟傳		
			054				秋2		中瀬 浩一		
			055				春2		井上 浩史		
			056				春2		中瀬 浩一		
	2～	15010040	001	学校経営と法規 ①	2	田 今	春2		柳澤 彰紀	2018年度生のみ登録可	
			002				秋2		沖田 悟傳		
			051				春2		柳澤 彰紀		
			052				春2		柳澤 彰紀		
			053				秋2		沖田 悟傳		
	2～	15010041	001	教育制度と学校経営 ①	2	田 今	春2		柳澤 彰紀	2019年度以降生のみ登録可	
			002				秋2		沖田 悟傳		
			051				春2		柳澤 彰紀		
			052				春2		柳澤 彰紀		
			053				秋2		沖田 悟傳		
	2～	15010050	001	学校教育社会学 ①	2	田 今	秋2		野村 洋平		
			051				春2		高山 育子		
			052				秋2		高山 育子		
	1～	15010060	053	人権教育論 ⑤③	2	今	秋2		大原 悟務 遠藤 徹 田中 希穂 望月 詩史 中瀬 浩一 MATTIAS VAN OMMEN 柳澤 彰紀 李 元重 長澤 勢理香		

免許資格関連科目・自由科目

科目区分	履修年次	登録コード 科目コード	クラスコード	科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	履修条件など	他学部 履修 可否
免許資格関連科目	1～	15010030	001	発達と学習の心理学 ①	2	田	秋2		内山 伊知郎	2018年度生は履修年次「2～」	
			002	②			春2		田中 希穂		
			003	③			秋2		田中 希穂		
			004	④			春2		山口 洋介		
			005	⑤			秋2		石井 僚		
			051	⑤①		今	春2		内山 伊知郎		
			052	⑤②			春2		田中 希穂		
			053	⑤③			秋2		山口 洋介		
			054	⑤④			秋2		羽野 ゆつ子		
			055	⑤⑤			春2		山口 洋介		
			056	⑤⑥			秋2		田中 希穂		
	1～	15010151	001	特別ニーズ教育論 ①	2	田	秋2		廣中 嘉隆	2019年度以降生のみ登録可	
			002	②			春2		中瀬 浩一		
			003	③			秋2		中瀬 浩一		
			004	④			春2		廣中 嘉隆		
			051	⑤①		今	春2		中瀬 浩一		
			052	⑤②			秋2		中瀬 浩一		
			053	⑤③			春2		中瀬 浩一		
			054	⑤④			秋2		中瀬 浩一		
			055	⑤⑤			春2		中瀬 浩一		
			056	⑤⑥			秋2		中瀬 浩一		
	2～	15010070	001	教育課程論 ①	2	田	春2		佐藤 光友		
			002	②			春2		田中 曜次		
			003	③			秋2		佐藤 光友		
			051	⑤①		今	春2		佐藤 光友		
			052	⑤②			春2		児玉 祥一		
			053	⑤③			春2		奥野 浩之		
			054	⑤④			秋2		佐藤 光友		
			055	⑤⑤			秋2		奥野 浩之		
							秋2		佐藤 光友		
	2～	15010080	001	道徳教育の理論と実践 ①	2	田	秋2		倉本 香		
			002	②			春2		山口 洋介		
			003	③			秋2		山口 洋介		
			051	⑤①		今	春2		和田 充弘		
			052	⑤②			春2		倉本 香		
			053	⑤③			春2		山口 洋介		
			054	⑤④			秋2		山口 洋介		
			055	⑤⑤			秋2		和田 充弘		
	2～	15010091	001	特別活動と総合的な学習の時間の指導法 ①	2	田	春2		稲田 雅巳	「特別活動論」を未履修かつ未登録であること。「特別活動論」を履修済で、卒業後に大学院生あるいは科目等履修生として一種免を取得する予定の者は、免許資格関係科目(M登録科目)としてのみ登録できる。履修を希望する者は事前に免許資格課程センターに申し出ること。	
			002	②			秋2		井上 浩史		
			003	③			秋2		柳澤 彰紀		
			051	⑤①		今	春2		柳澤 彰紀		
			052	⑤②			春2		稲田 雅巳		
			053	⑤③			秋2		稲田 雅巳		
			054	⑤④			秋2		柳澤 彰紀		
			055	⑤⑤			秋2		長谷川 豊		

〈2018年度以降生用〉

免許資格関連科目・自由科目

科目 区分	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	履修条件など	他学部 履修 可否
		科 目 コード	クラス コード								
免許資格関連科目	2～	15010110	001	教育方法論 ①	2	田	秋2		岡本 真彦	クラス①、③、④、⑤、⑤③は 先行登録 2018～2021年度生のみ登録 可	
			002	②			春2		田中 希穂		
			003	③			春2		岡本 真彦		
			004	④			春2		岡本 真彦		
			005	⑤			秋2		岡本 真彦		
			051	⑤①		今	春2		平野 哲司		
			052	⑤②			春2		田中 希穂		
			053	⑤③			秋2		沼田 潤		
			054	⑤④			秋2		池田 恭浩		
			055	⑤⑤			春2		平野 哲司		
	2～	15010111	001	教育方法とICT活用の理論と実践 ①	2	田	秋2		岡本 真彦	クラス①、③、④、⑤、⑤③は 先行登録 2022年度以降生のみ登録可	
			002	②			春2		田中 希穂		
			003	③			春2		岡本 真彦		
			004	④			春2		岡本 真彦		
			005	⑤			秋2		岡本 真彦		
			051	⑤①		今	春2		平野 哲司		
			052	⑤②			春2		田中 希穂		
			053	⑤③			秋2		沼田 潤		
			054	⑤④			秋2		池田 恭浩		
			055	⑤⑤			春2		平野 哲司		
	2～	15010120	001	生徒・進路指導の理論と方法 ①	2	田	秋2		神山 貴弥		
			002	②			秋2		稲田 雅巳		
			003	③			春2		山本 桂子		
			004	④			春2		井上 浩史		
			051	⑤①		今	春2		稲田 雅巳		
			052	⑤②			春2		井上 浩史		
			053	⑤③			秋2		稲田 雅巳		
			054	⑤④			春2		井上 浩史		
			055	⑤⑤			秋2		山本 桂子		
	3～	15010140	001	学校カウンセリング ①	2	田	春2		石川 信一	2018年度生のみ登録可	
			002	②			春2		市来 百合子		
			003	③			秋2		牧 郁子		
			051	⑤①		今	秋2		藤井 恭子		
			052	⑤②			秋2		河崎 俊博		
			053	⑤③			春2		河崎 俊博		
			054	⑤④			春2		松原 耕平		
	3～	15010141	001	教育相談の理論と方法 ①	2	田	春2		石川 信一	2019年度以降生のみ登録可	
			002	②			春2		市来 百合子		
			003	③			秋2		牧 郁子		
			051	⑤①		今	秋2		藤井 恭子		
			052	⑤②			秋2		河崎 俊博		
			053	⑤③			春2		河崎 俊博		
			054	⑤④			春2		松原 耕平		
	2～	15010160	001	スクールインターンシップ ①	2	田	春・秋 集中		柳澤 彰紀	先行登録 登録時に「教職概論」を履修 済であること。スクールイン ターンシッププログラムガイ ドに記載の応募条件を満たす こと。	
			051	⑤①		今	春・秋 集中		稲田 雅巳		
2～	10952175	-		学校教育文化論（1）	2	今	春2		田中 希穂		
2～	10952176	-		学校教育文化論（2）	2	今	秋2		吉田 敦彦		
2～	10952181	-		多文化共生社会と生涯学習	2	今	春2		蒲生 諒太		

免許資格関連科目・自由科目

科目区分	履修年次	登録コード 科目コード	クラスコード	科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	履修条件など	他学部 履修 可否
免許資格関連科目	2～	15020010	001	学校教育図書館論 ①	2	田	春2		西浦 富美子		
			051	⑤①		今	春2		坂下 直子		
			101	⑩①			春2		佐藤 毅彦		
	2～	15020020	001	学校図書館メディアの構成 ①	2	田	春2		枝元 益祐		
			051	⑤①		今	春2		坂下 直子		
			101	⑩①			春2		坂下 直子		
	2～	15020030	001	学習指導と学校図書館 ①	2	田	秋2		西浦 富美子		
			051	⑤①		今	春2		大平 睦美		
			101	⑩①			春2		大平 睦美		
	2～	15020040	001	読書と豊かな人間性 ①	2	田	春2		米谷 優子		
			051	⑤①		今	春2		岩崎 れい		
			052	⑤②			秋2		井上 靖代		
	2～	15020050	001	情報メディアの活用 ①	2	田	春2		枝元 益祐	クラス⑤①、⑩①は先行登録	
			051	⑤①		今	秋2		笠井 詠子		
			101	⑩①			春2		笠井 詠子		
	2～	15010210	001	社会科教育法 1 ①	2	田	春2		中澤 静男		
			051	⑤①		今	春2		本多 千明		
			052	⑤②			春2		奥野 浩之		
			053	⑤③			秋2		菊井 雅志		
	2～	15010220	001	社会科教育法 2 ①	2	田	秋2		佐藤 光友	2019年度以降生は「社会科教育法1」を過学期に履修済であること。	
			051	⑤①		今	秋2		奥野 浩之		
			052	⑤②			秋2		菊井 雅志		
			053	⑤③			春2		児玉 祥一		
	2～	15010230	001	社会科・地理歴史科教育法 ①	2	田	春2		本多 千明		
			051	⑤①		今	秋2		須原 洋次		
			052	⑤②			秋2		森口 洋一		
			053	⑤③			春2		角田 将士		
			054	⑤④			春2		須原 洋次		
	2～	15010240	001	社会科・公民科教育法 ①	2	田	春2		中澤 静男		
			051	⑤①		今	秋2		奥野 浩之		
			052	⑤②			春2		佐藤 光友		
			053	⑤③			春2		本多 千明		
	2～	15010250	001	地理歴史科教育法 ①	2	田	秋2		本多 千明		
			051	⑤①		今	春2		児玉 祥一		
			052	⑤②			春2		児玉 祥一		
			053	⑤③			秋2		角田 将士		
	1～	12208003	-	日本史概論	4	今	春2	金1	堀井 佳代子		×
	2～	10270101	001	西洋文化史概説（1） ①	2	田	春2		坂井 聡		
			051	⑤①		今	春2		波部 雄一郎		
			052	⑤②			春2		井福 剛		
			053	⑤③			秋2		波部 雄一郎		
			101	⑩①			秋2		井福 剛		
	2～	10270102	001	西洋文化史概説（2） ①	2	田	秋2		中村 年延		
			051	⑤①		今	秋2		吉門 昌宏		
			052	⑤②			秋2		大谷 誠		
			053	⑤③			春2		大谷 誠		
			101	⑩①			春2		中村 年延		

2018年度以降生用

ヨーロッパコース

アジア・太平洋コース

アメリカコース

免許資格関連科目・自由科目

〈2018年度以降生用〉

免許資格関連科目・自由科目

科目 区分	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	履修条件など	他学部 履修 可否
		科 目 コード	クラス コード								
免許資格関連科目	2～	12208001	-	地理学 1	2	今	春2	火1	二村 太郎		○
	2～	12208002	-	地理学 2	2	今	秋2	火1	香川 雄一		○
	2～	10270078	001	地誌学 ①	2	田 今	春2		古関 大樹		
			051	⑤			春2		古関 大樹		
			052	⑤			秋2		佐野 静代		
			101	⑩			春2		佐野 静代		
	1～	10912003	001	社会学概論 ①	4	田 今	秋4		平尾 一郎		
			053	⑤			春4		西岡 暁廣		
			101	⑩			秋4		武田 祐佳		
	3～	10305359	051	経済原論 ⑤	4	インター ネット	春4		四谷 晃一 小田 勇一		
	3～	10240107	001	哲学概論（1） ①	2	田 今	春2		新 茂之		
			051	⑤			春2		新 茂之		
	3～	10240108	001	哲学概論（2） ①	2	田 今	秋2		新 茂之		
			051	⑤			秋2		新 茂之		
	3～	10240109	001	倫理学概論（1） ①	2				休講		
			051	⑤			今 春2		中村 拓也		
	3～	10240110	001	倫理学概論（2） ①	2				休講		
			051	⑤			今 秋2		中村 拓也		
	3～	10240103	001	宗教学概論（1） ①	2				休講	2022年度以前生のみ 登録可	
			051	⑤					休講		
	3～	10240104	001	宗教学概論（2） ①	2				休講	2022年度以前生のみ 登録可	
			051	⑤					休講		
	1～	15030010	001	生涯学習概論 ①	2	田 今	秋2		佐藤 聡子		
			051	⑤			春2		神部 純一		
			052	⑤			秋2		神部 純一		
	1～	15030020	001	図書館情報学概論 ①	2	田 今	春2		西浦 ミナ子		
			051	⑤			春2		西浦 ミナ子		
			101	⑩			秋2		西浦 ミナ子		
	2～	15030030	001	図書館制度・経営論 ①	2	田 今	秋2		瀬戸口 誠		
			051	⑤			秋2		嶋田 学		
			101	⑩			春2		嶋田 学		
	2～	15030040	001	図書館情報技術論 ①	2	田 今	春2		原田 隆史		
			051	⑤			春2		原田 隆史		
			101	⑩			秋2		原田 隆史		
	1～	15030050	001	図書館情報サービス論Ⅰ ①	2	田 今	春2		西浦 ミナ子		
			051	⑤			春2		嶋田 学		
			101	⑩			春2		瀬戸口 誠		
	1～	15030060	001	図書館情報サービス論Ⅱ ①	2	田 今	秋2		瀬戸口 誠	クラス⑤は先行登録 「図書館情報サービス論Ⅰ」を 過学期に履修済であること。	
			051	⑤			秋2		松田 泰代		
			101	⑩			秋2		嶋田 学		
	2～	15030070	001	児童サービス論 ①	2	田 今	春2		米谷 優子		
			051	⑤			秋2		井上 靖代		
			052	⑤			春2		井上 靖代		
	2～	15030080	001	情報サービス演習Ⅰ ①	2	田 今	秋2		佐藤 聡子	クラス⑤、⑤、⑤、⑩は先行 登録 「図書館情報学概論」を過学 期に履修済であること。	
			051	⑤			春2		小松 泰信		
			052	⑤			春2		小松 泰信		
			053	⑤			春2		瀬戸口 誠		
			101	⑩			秋2		逸村 裕		

免許資格関連科目・自由科目

科目区分	履修年次	登録コード 科目コード	クラスコード	科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	履修条件など	他学部履修可否
免許資格関連科目	2～	15030090	001	情報サービス演習Ⅱ ①	2	田	春2		米谷 優子	クラス㉔、㉕、㉖、㉗は先行登録 「図書館情報学概論」を過学期に履修済であること。	
			051	㉔		今	春2		西浦 ミナ子		
			052	㉕			秋2		西浦 ミナ子		
			053	㉖			秋2		西浦 ミナ子		
			101	㉗			春2		西浦 ミナ子		
	2～	15030100	001	図書館情報資源概論 ①	2	田	春2		谷合 佳代子		
			051	㉔		今	秋2		逸村 裕		
			101	㉗			春2		江上 敏哲		
	2～	15030110	001	情報資源組織論Ⅰ ①	2	田	春2		松田 泰代	クラス㉔、㉗は先行登録	
			051	㉔		今	春2		松田 泰代		
			101	㉗			春2		松田 泰代		
	2～	15030120	001	情報資源組織論Ⅱ ①	2	田	秋2		松田 泰代	クラス㉔、㉗は先行登録 「情報資源組織論Ⅰ」を過学期に履修済であること。	
			051	㉔		今	秋2		松田 泰代		
			101	㉗			秋2		松田 泰代		
	3～	15030130	001	情報資源組織演習Ⅰ ①	2	田	春2		逸村 裕	クラス㉔、㉕、㉗は先行登録 「情報資源組織論Ⅰ」を履修済または同一セメスターに登録していること。	
			051	㉔		今	春2		松田 泰代		
			052	㉕			春2		松田 泰代		
			101	㉗			春2		松田 泰代		
	3～	15030140	001	情報資源組織演習Ⅱ ①	2	田	秋2		佐藤 翔	クラス㉔、㉕、㉗は先行登録 「情報資源組織論Ⅱ」を履修済または同一セメスターに登録していること。	
			051	㉔		今	秋2		佐藤 翔		
			052	㉕			秋2		佐藤 翔		
			101	㉗			秋2		佐藤 翔		
	2～	15030150	-	図書館情報学特論	2	今	春2		原田 隆史		
	2～	15030160	-	学術情報利用教育論	2	今	秋2		井上 真琴		
	2～	15040010	-	学校図書館サービス論	2	今	春2		井上 靖代		
	2～	15030170	001	図書館情報資源特論 ①	2	田	春2		谷合 佳代子		
			051	㉔		今	春2		江上 敏哲		
	2～	15030180	-	図書・図書館史	2	今	春2		佐藤 翔		
	3～	15030190	001	図書館演習 ①	4	田	春・秋2		佐藤 翔 原田 隆史 逸村 裕	クラス㉔、㉕、㉗は先行登録 登録時に「図書館情報学概論」、「図書館制度・経営論」、 「図書館情報サービス論Ⅰ・Ⅱ」を履修済であること。	
			051	㉔			春・秋2		佐藤 翔 西浦 ミナ子 原田 隆史		
			052	㉕		今	春・秋2		佐藤 翔 西浦 ミナ子 原田 隆史		
			101	㉗			春・秋2		西浦 ミナ子 原田 隆史 逸村 裕		

2018年度以降生用

ヨーロッパコース

アジア・太平洋コース

アメリカコース

免許資格関連科目・自由科目

〈2018年度以降生用〉

免許資格関連科目・自由科目

科目 区分	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位数	校地	期間 時間	曜講	担当者名	履修条件など	他学部 履修 可否
		科 目 コード	クラス コード								
自由科目	1～	15010150	001	特別支援と福祉の教育 ①	2	田	秋2		廣中 嘉隆	2018年度生のみ登録可	
			002				春2		中瀬 浩一		
			003				秋2		中瀬 浩一		
			004				春2		廣中 嘉隆		
			051			今	春2		中瀬 浩一		
			052				秋2		中瀬 浩一		
			053				春2		中瀬 浩一		
			054				秋2		中瀬 浩一		
			055				春2		中瀬 浩一		
			056				秋2		中瀬 浩一		
	1～	12209001	001	情報機器の操作 ①	2	今	春2	金3	多久和 英樹 館野 浩司 竹山 理 藤田 成隆	先行登録	×
			002				春2	金4	多久和 英樹 館野 浩司 竹山 理 藤田 成隆		
			003				秋2	月4	下倉 雅行		
			004				秋2	月5	下倉 雅行		
			005						休講		
	4～	12209002	-	教育実習指導	1	今	春・秋1	月1 月2	坂本 南美	※1	×
	3～	12209003	-	教育実習 A	2	今	春・秋0	集中	坂本 南美	※3	×
	4～	12209004	-	教育実習 B	2	今	春・秋0	集中	坂本 南美	※1、2	×
	4～	12209005	-	教育実習 C	4	今	春・秋0	集中	坂本 南美	※1、2	×
	4～	12209006	-	教職実践演習（中・高）	2	今	秋2	月1 月2	坂本 南美 内山 伊知郎 本多 千明 中瀬 浩一 田中 希穂	※1	×

※1 卒業予定の年度に「教育実習」「教育実習指導」「教職実践演習（中・高）」の3科目をセットで登録すること。

※2 中一種免及び中高両方の場合「教育実習C」を、高一種免のみの場合は「教育実習B」を履修すること。

※3 「教育実習A」は基本的には履修できない。履修を希望する場合は事前に免許資格課程センター事務室まで相談すること。

必修科目 講義テーマ一覧

コース	科目名	講義テーマ
ヨーロッパ	ヨーロッパ研究入門Ⅰ	「ヨーロッパ」とは何か
	ヨーロッパ研究入門Ⅱ	「ヨーロッパ」の多様性
アジア・太平洋	アジア・オセアニア研究入門Ⅰ	文化
	アジア・オセアニア研究入門Ⅱ	歴史
アメリカ	南北アメリカ研究入門Ⅰ	アメリカ研究入門
	南北アメリカ研究入門Ⅱ	ラテンアメリカ研究入門

選択必修科目A群 講義テーマ一覧

科目名	講義テーマ
グローバル・イシュー1	グローバリゼーションの世界史
グローバル・イシュー2	ジェンダーと地域文化
グローバル・イシュー3	世界の社会政策
グローバル・イシュー4	イスラーム教徒の社会と文化
グローバル・イシュー5	エスニシティ論
グローバル・イシュー6	人間の安全保障論
グローバル・イシュー7	シチズンシップ論
グローバル・イシュー8	地球規模課題とアフリカ
グローバル・イシュー9	国際関係論
グローバル・イシュー10	グローバル・アート
グローバル・イシュー11	グローバル社会と英語

選択科目A群（地域文化研究科目群） 講義テーマ一覧

地域	科目名	講義テーマ
ヨーロッパ	地域の歴史	ヨーロッパ地域の歴史1
		ヨーロッパ地域の歴史2
		ヨーロッパ地域の歴史3
	地域の文化	ヨーロッパ地域の文化1
		ヨーロッパ地域の文化2
		ヨーロッパ地域の文化3
		ヨーロッパ地域の文化4
		ヨーロッパ地域の文化5
	地域と地球規模の課題	ヨーロッパ地域の課題1
		ヨーロッパ地域の課題2
		ヨーロッパ地域の課題3
		ヨーロッパ地域の課題4
		ヨーロッパ地域の課題5
		ヨーロッパ地域の課題6
		ヨーロッパ地域の課題7
		ヨーロッパ地域の課題8

〈2018年度以降生用〉

地域		科 目 名	講義テーマ
アジア・太平洋	地域の歴史	アジア・オセアニア地域の歴史 1	ユーラシア
		アジア・オセアニア地域の歴史 2	オセアニア
		アジア・オセアニア地域の歴史11	中国
		アジア・オセアニア地域の歴史12	朝鮮
		アジア・オセアニア地域の歴史13	東南アジア
	地域の文化	アジア・オセアニア地域の文化 1	アジア・オセアニア地域の言語と日本語
		アジア・オセアニア地域の文化 2	思想・宗教：中国
		アジア・オセアニア地域の文化 3	エスニシティ：東南アジア
		アジア・オセアニア地域の文化 4	アジア・オセアニア地域の自然と社会
		アジア・オセアニア地域の文化11	言語文化：アジア・オセアニア地域の文学・芸術
		アジア・オセアニア地域の文化12	言語文化：アジア・オセアニア地域の言語の多様性
		アジア・オセアニア地域の文化13	思想・宗教：東南アジア
		アジア・オセアニア地域の文化14	思想・宗教：韓国・朝鮮
		アジア・オセアニア地域の文化15	エスニシティ：南アジア
		アジア・オセアニア地域の文化16	エスニシティ：オセアニア
	地域と地球規模の課題	アジア・オセアニア地域の課題 1	植民地主義と現代社会
		アジア・オセアニア地域の課題 2	アジア・オセアニア地域の開発援助
		アジア・オセアニア地域の課題 3	アジア・オセアニア地域の少数言語
		アジア・オセアニア地域の課題 4	アジア・オセアニア地域の環境問題
		アジア・オセアニア地域の課題 5	アジア・オセアニア地域の人の移動
		アジア・オセアニア地域の課題 6	アジア・オセアニア地域から見た日本
アメリカ	地域の歴史	南北アメリカ地域の歴史 1	北アメリカの歴史・18～19世紀
		南北アメリカ地域の歴史 2	北アメリカの歴史・20世紀転換期以降
		南北アメリカ地域の歴史 3	ラテンアメリカの歴史・植民地時代から20世紀はじめまで
		南北アメリカ地域の歴史 4	ラテンアメリカの歴史・20世紀はじめから現代まで
		南北アメリカ地域の歴史 5	アフリカ系アメリカ人の歴史と文化
		南北アメリカ地域の歴史 6	アメリカ先住民の歴史と文化
		南北アメリカ地域の歴史 7	米州関係史
	地域の文化	南北アメリカ地域の文化 1	北アメリカ文化の多様性
		南北アメリカ地域の文化 2	ラテンアメリカ文化の多様性
		南北アメリカ地域の文化 3	アメリカのポップカルチャー
		南北アメリカ地域の文化 4	アメリカ社会とジェンダー・セクシュアリティ
		南北アメリカ地域の文化 5	ラテンアメリカの先住民と開発
		南北アメリカ地域の文化 6	南北アメリカと太平洋世界
		南北アメリカ地域の文化 7	ラテンアメリカ社会研究：人類学的アプローチ
	地域と地球規模の課題	南北アメリカ地域の課題 1	北アメリカの自然と社会
		南北アメリカ地域の課題 2	ラテンアメリカの自然と社会
		南北アメリカ地域の課題 3	アメリカとグローバリゼーション
		南北アメリカ地域の課題 4	国際人口移動と北アメリカ移民社会
		南北アメリカ地域の課題 5	ラテンアメリカの社会運動
		南北アメリカ地域の課題 6	現代ラテンアメリカの政治経済
		南北アメリカ地域の課題 7	現代ブラジルの政治経済
		南北アメリカ地域の課題 8	多民族国家カナダとシティズンシップ

外国語による科目の開講について

外国語による授業科目として、下記科目が開講されている。※

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	10103147		アメリカ史における宗教 (American Society and Religion)	GAVIN J.CAMPBELL	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10103195		ヨーロッパの宗教 (Jewish Women in Modern Europe: A Historical and Cultural Perspective)	ADA TAGGAR-COHEN	秋学期	集中	2	2～	英語により授業を行う
今	10103753		イスラエルの宗教演習 (イスラエルの宗教～古代中近東の文書 から見たイスラエルの聖書の宗教～)	ADA TAGGAR-COHEN	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10103754		古代近東学入門 (古代近東の文化史入門)	ADA TAGGAR-COHEN	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10103857		ユダヤ女性演習 (ヘブライ語聖書とユダヤ教における女性)	ADA TAGGAR-COHEN	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10912301		Contemporary Japanese Culture and Society	Mattias Van Ommen	秋学期	4	4	2～	英語により授業を行う
今	10932148		国際コミュニケーション論	BRIAN COVERT	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10952140		Education and World Culture (1)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	10952135		Globalization, Education, and Culture(1)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2016・2017年度生のみ登録可)
今	10952141		Education and World Culture (2)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	10952136		Globalization, Education, and Culture(2)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2016・2017年度生のみ登録可)
今	10952162		Topics in Education and Development	乾 美 紀	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (社会学部 2018 年度以降生お よび ILA 所属学生のみ登録可)
今	10952172		Topics in Overseas Education	乾 美 紀	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (社会学部 2017 年度以前生お よび ILA 所属学生のみ登録可)
今	10952163		Topics in Character Formation and Education	本 間 桃 里	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	10952173		Topics in Japanese Education	本 間 桃 里	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	10952180		Topics in Multiculturalism and Education	柴 川 真由美	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	10952174		Special Topics in Education and Culture	柴 川 真由美	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	10307414		アメリカ法	COLIN P.A. JONES	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10305814	701	特殊講義 A	寺 田 貴 西 澤 由 飯 田 隆 健	秋学期	集中	2	4～	英語により授業を行う
今	10308851	001	Japanese Constitution	東 川 浩 二	春学期	集中	2	3～	英語により授業を行う (2022年度以前生のみ登録可)
今	10308853	001	Special Course in Japanese Law	和久井 理 子	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (2022年度以前生のみ登録可)
今	10308855	001	American Law	SHAWN MICHAEL HUIZENGA	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308855	002	American Law	SHAWN MICHAEL HUIZENGA	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308855	003	American Law	SHAWN MICHAEL HUIZENGA	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308856	001	Asian Law	黄 ジン霆	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308856	002	Asian Law	劉 建 宏	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	10308856	003	Asian Law	劉 建 宏	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308857	001	European Law	植 松 真 生	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308857	002	European Law	ANNE LISE SIBONY	春学期	集中	2	3～	英語により授業を行う
今	10308858	001	Current Issues in Comparative Law	高 橋 宏 司	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308858	002	Current Issues in Comparative Law	JAY KLAPHAKE	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308858	003	Current Issues in Comparative Law	劉 建 宏	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308858	004	Current Issues in Comparative Law	劉 建 宏	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308858	005	Current Issues in Comparative Law	MEL MARQUIS	秋学期	集中	2	3～	英語により授業を行う
今	10308859	001	International Law	新 井 京	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308860	001	International Arbitration	高 橋 宏 司	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308861	001	International Institutions and Global Law	植 松 真 生	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308862	001	Current Issues in Global Law	COLIN P.A. JONES	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308862	002	Current Issues in Global Law	JAY KLAPHAKE	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308863		International Commercial Arbitration Moot 1	廣 田 浩	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308864		International Commercial Arbitration Moot 2	廣 田 浩	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308867	001	Japanese Law	東 川 浩 二	春学期	集中	2	3～	英語により授業を行う (2023年度以降生のみ登録可)
今	10308867	002	Japanese Law	和久井 理 子	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (2023年度以降生のみ登録可)
今	10308875		Public Opinion and Political Participation in Japan	西 澤 由 隆	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308876		Development and Democracy in East Asia	森 下 明 子	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10403323	403	エコノミクス・ワークショップ・プライマリ2 ーロシアの天然資源開発ー	TAMARA LITVINENKO	秋	2	2	1～	英語により授業を行う (2020年度以降生のみ登録可)
今	10403323	404	エコノミクス・ワークショップ・プライマリ2 ー東北アジアのエネルギー資源開発と鉱山開発ー	TAMARA LITVINENKO	秋	2	2	1～	英語により授業を行う (2020年度以降生のみ登録可)
今	10403323	408	エコノミクス・ワークショップ・プライマリ2 ー海外留学をめざす人のための準備講座・留学成功の秘訣ー	TAMARA LITVINENKO	秋	2	2	1～	英語により授業を行う (2020年度以降生のみ登録可)
今	10407323	403	エコノミクス・ワークショップ2 ーロシアの天然資源開発ー	TAMARA LITVINENKO	秋	2	2	1～	英語により授業を行う (2019年度以前生のみ登録可)
今	10407323	404	エコノミクス・ワークショップ2 ー東北アジアのエネルギー資源開発と鉱山開発ー	TAMARA LITVINENKO	秋	2	2	1～	英語により授業を行う (2019年度以前生のみ登録可)
今	10407323	408	エコノミクス・ワークショップ2 ー海外留学をめざす人のための準備講座・留学成功の秘訣ー	TAMARA LITVINENKO	秋	2	2	1～	英語により授業を行う (2019年度以前生のみ登録可)
今	10403324	914	エコノミクス・ワークショップ・アドバンスト -[応] コンテンポラリー・スタディーズI (経済地理) -	TAMARA LITVINENKO	秋	2	2	3～	英語により授業を行う (経済学部 2020 年度以降生のみ登録可)
今	10522645	000	Shopping and Swapping: Cultures of Consumption and Exchange	JOSHUA HOTAKA ROTH	春学期	2	2	3～	英語による講義
今	10523620	001	専門外国語特講 -1 Language and Culture in International Business	佐 藤 研 一	春学期	2	2	3～	英語による講義 (商学部生のみ登録可)
今	10523620	002	専門外国語特講 -2 Analysis of Japanese Companies	小 林 一 雅	秋学期	2	2	3～	英語による講義 (商学部生のみ登録可)

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	10523620	003	専門外国語特講 -3 Analysis of Japanese Companies	小 林 一 雅	秋学期	2	2	3～	英語による講義 (商学部生のみ登録可)
今	10702004	012	アカデミック・スキル2(イシュードリブン) 「社会課題を複合的な視点でとらえる： エネルギー貧困を事例として」	伊 川 萌 黄	春学期	2	2	2	英語により授業を行う (政策学部生のみ登録可)
今	10702004	013	アカデミック・スキル2(イシュードリブン) 「社会課題を複合的な視点でとらえる：「公正な エネルギーシステムへの移行」を事例として」	伊 川 萌 黄	春学期	2	2	2	英語により授業を行う (政策学部生のみ登録可)
今	10702004	014	アカデミック・スキル2(イシュードリブン) 「日本の教育政策の形成過程」	辻 優太郎	春学期	2	2	2	英語により授業を行う (政策学部生のみ登録可)
今	10702004	015	アカデミック・スキル2(イシュードリブン) 「日本の教育政策の形成過程」	辻 優太郎	春学期	2	2	2	英語により授業を行う (政策学部生のみ登録可)
今	10702646	026	政策トピックス - ㉔ 「EBPM ムーブメントのなかでいかに生きるべきか？」	伊 川 萌 黄	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
海外	10702648	028	政策トピックス - ㉔ 「持続可能性を実現する通商ガバナンスの あり方：サステナブル認証の役割と今後」	岡 本 由美子	秋学期	集中	2	2～	英語により授業を行う
海外	10702651	031	政策トピックス - ㉔ 「欧州統合の基礎」	吉 田 徹	秋学期	集中	2	2～	英語により授業を行う
田	11610202		技術英語 I	IVAN TANEV	春学期	2	1	3～	英語により授業を行う (理工学部インテリジェント 情報工学科生のみ登録可)
田	11615046		技術英語	IVAN TANEV	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (理工学部情報システムデ ザイン学科生のみ登録可)
田	11615084		マルチエージェント工学	IVAN TANEV	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (理工学部情報システムデ ザイン学科生のみ登録可)
田	11615113		インテリジェントアルゴリズム	IVAN TANEV	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う (理工学部情報システムデ ザイン学科生のみ登録可)
田	11502064	001	スポーツ健康科学グローバル演習 (スポーツを通して実践英語を身に着けよう)	橘 未 都	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (スポーツ健康科学部 2018 年度以降生のみ登録可)
田	11502064	002	スポーツ健康科学グローバル演習 (スポーツを通して実践英語を身に着けよう)	越 智 文 啓	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (スポーツ健康科学部 2018 年度以降生のみ登録可)
今	12232708		南北アメリカ地域文化特論 3	UCHINO CRYSTAL KIMI	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	12232724		南北アメリカ地域の文化 4	UCHINO CRYSTAL KIMI	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	12234051		Global and Regional Cultural Studies Seminar 1	MATTHEW LARKING	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う (グローバル地域文化 学部生のみ登録可)
今	12234052		Global and Regional Cultural Studies Seminar 2	ZACHARY NANBU	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (グローバル地域文化 学部生のみ登録可)
今	12234053		Global and Regional Cultural Studies Seminar 3	DAVID PERRIE MCCURRACH	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (グローバル地域文化 学部生のみ登録可)
今	12234054		Global and Regional Cultural Studies Seminar 4	ANTHONY LAVIGNE	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う (グローバル地域文化 学部生のみ登録可)
今	16000200	000	ジョイント・セミナー 比較文化論	和 泉 真 澄	秋学期	4	4	2～	主に英語により授業を行う
今	16000205	053	日本の伝統と芸能	高 永 珍	春学期	2	2	1～	コリア語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	16000215	052	日本とアジア 2	高 永 珍	秋学期	2	2	1～	コリア語により授業を行う

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	(クラスにより異なる)		スタンフォード大学科目	(複数クラス開講)	春学期 秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (複数クラス開講) 春学期科目は2年次生以上が登録可能 秋学期科目は開講予定
今	(クラスにより異なる)		A K P 科目	(複数クラス開講)	春学期 秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (複数クラス開講) 春学期科目は2年次生以上が登録可能 秋学期科目は開講予定
今	(クラスにより異なる)		K C J S 科目	(複数クラス開講)	春学期 秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (複数クラス開講) 春学期科目は2年次生以上が登録可能 秋学期科目は開講予定
今	16606500	051	チュービンゲン大学科目	MICHAEL WACHUTKA	春学期	2	2	1～	ドイツ語により授業を行う
今	16606500	052	チュービンゲン大学科目	MICHAEL WACHUTKA	秋学期	2	2	1～	ドイツ語により授業を行う
田	16000702	001	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	土井ベンソン アンヤ	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000702	002	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	土井ベンソン アンヤ	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000702	051	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	土井ベンソン アンヤ	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000702	052	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	DIAZ SANCHO IVAN	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000703	001	Introduction to Japanese Society in the Global Context	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000703	051	Introduction to Japanese Society in the Global Context	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000703	052	Introduction to Japanese Society in the Global Context	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000704	001	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	有 井 健	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000704	002	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	有 井 健	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000704	051	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	有 井 健	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000704	052	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	有 井 健	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000705	001	Humanities and Global Issues	土井ベンソン アンヤ	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000705	051	Humanities and Global Issues	土井ベンソン アンヤ	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000705	052	Humanities and Global Issues	ESTA TINA OTTMAN	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000706		Social Sciences and Global Issues	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
田	16000707	001	Natural Sciences and Global Issues	有 井 健	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000707	051	Natural Sciences and Global Issues	有 井 健	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000708	051	Japan in Modern World History	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000708	052	Japan in Modern World History	DIAZ SANCHO IVAN	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000709	051	International Relations in the Postwar Era	GARTH WARRIES	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000709	052	International Relations in the Postwar Era	GARTH WARRIES	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000710	001	Issues in Japanese Culture	土井ベンソン アンヤ	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	16000710	051	Issues in Japanese Culture	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000710	052	Issues in Japanese Culture	土井ベンソン アンヤ	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000711	001	Japanese Thought and Religion 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
今	16000711	051	Japanese Thought and Religion 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
田	16000212	001	日本の思想・宗教 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000212	052	日本の思想・宗教 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
田	16000712	001	Japanese Thought and Religion 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
今	16000712	051	Japanese Thought and Religion 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
田	16000213	001	日本の思想・宗教 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000213	052	日本の思想・宗教 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
田	16000713	001	Tradition and Art in Japan 1	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
今	16000713	051	Tradition and Art in Japan 1	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
田	16000207	002	日本の伝統と芸術	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000207	054	日本の伝統と芸術	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
田	16000714	001	Tradition and Art in Japan 2	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
今	16000714	051	Tradition and Art in Japan 2	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
田	16000207	001	日本の伝統と芸術	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000207	053	日本の伝統と芸術	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000216	051	Japan Today 1	OMAR YUSEF BAKER	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	16000216	052	Japan Today 1	OMAR YUSEF BAKER	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	16000217	051	Japan Today 2	OMAR YUSEF BAKER	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	16000217	052	Japan Today 2	OMAR YUSEF BAKER	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
田	16000715	001	Democracy and Politics : A Comparative Perspective	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000715	051	Democracy and Politics : A Comparative Perspective	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000716	001	Education in the Age of Globalization	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000716	051	Education in the Age of Globalization	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000717	001	Issues in Intercultural Communication	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000717	051	Issues in Intercultural Communication	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000718		Economy and Business in the Global Context 1	森 宏一郎	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	16000719	051	Economy and Business in the Global Context 2	森 宏一郎	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000719	052	Economy and Business in the Global Context 2	DANYL MIGDALSKYI	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000720	051	Critical Social Issues in Contemporary Japan 1	WILLIAM BRADLEY	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016年度以降生のみ登録可)
今	16000720	052	Critical Social Issues in Contemporary Japan 1	WILLIAM BRADLEY	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016年度以降生のみ登録可)
今	16000218	051	日本の社会事情	WILLIAM BRADLEY	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000218	052	日本の社会事情	WILLIAM BRADLEY	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000721	051	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2	WILLIAM BRADLEY	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000721	052	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2	WILLIAM BRADLEY	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000723	051	The Divisions of Identity in Society	安 武 留 美	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う 学部所属正規学生(2016年度以降生)
今	16000211	051	アイデンティティの社会 格差	安 武 留 美	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う 学部所属正規一般学生(2015年度以前生)
今	16000723	052	The Divisions of Identity in Society	GARTH WARRIES	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う 学部所属正規学生(2016年度以降生)
今	16000211	052	アイデンティティの社会 格差	GARTH WARRIES	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う 学部所属正規一般学生(2015年度以前生)
田	16000724	001	Statistics for the Social Sciences and Humanities	李 玉 哲	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000724	051	Statistics for the Social Sciences and Humanities	MYGDALSKYY VOLODYMYR	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000725		Introduction to Computer Science and Information Technology	MYGDALSKYY VOLODYMYR	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000726	001	Human Science in the Global Age	DANYL MIGDALSKYI	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000726	051	Human Science in the Global Age	DANYL MIGDALSKYI	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000727		Introduction to Quantitative Data Analysis	DANYL MIGDALSKYI	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000728		Conservation of Japanese Nature and Environment	有 井 健	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000729		Mathematics and its History	VILLE JOONAS JOHANNES SYRJAENEN	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000730		Science of Natural Disasters	有 井 健	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000731		Principles of Economics	森 宏一郎	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000732		Environmental Economics and Sustainability	森 宏一郎	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091201	051	Advanced Seminar 1	土井ベンソン アンヤ	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091201	052	Advanced Seminar 1	土井ベンソン アンヤ	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091202	051	Advanced Seminar 2	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091202	052	Advanced Seminar 2	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16091203	001	Advanced Seminar 3	有 井 健	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091203	051	Advanced Seminar 3	有 井 健	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000803	053	日本の伝統と芸能	高 永 珍	春学期	2	2	1～	コリア語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
田	16000806	001	Japanese Thought and Religion 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000806	051	Japanese Thought and Religion 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
田	16000807	001	Japanese Thought and Religion 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000807	051	Japanese Thought and Religion 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
田	16000808	001	Tradition and Art in Japan 1	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000808	051	Tradition and Art in Japan 1	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
田	16000809	001	Tradition and Art in Japan 2	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000809	051	Tradition and Art in Japan 2	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000810	051	Japan Today 1	OMAR YUSEF BAKER	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000810	052	Japan Today 1	OMAR YUSEF BAKER	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000811	051	Japan Today 2	OMAR YUSEF BAKER	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000811	052	Japan Today 2	OMAR YUSEF BAKER	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)

※ 先行登録が必要な科目があります。各学部の履修要項・登録要領で確認すること。

※ 学部によっては履修できない科目や記載されている配当年次では履修できない場合があります。必ず自分が所属する学部の履修要項・登録要領で確認すること。

※ 文学部およびグローバル・コミュニケーション学部の一部の授業科目ならびに国際教育インスティテュートの授業科目は外国語で開講されているが、この表には記載していない。

※ 「日本語・日本文化教育科目」、「外国語による科目」についてわからないことがあれば、所属の学部・研究科事務室、各キャンパスの教務センターで相談すること。

第 1 章 総 則

第 1 条 本学は、教育基本法にのっとり、学校教育法の定める大学として、学術を教授研究し、あわせてキリスト教的教育の特色を発揮し、国家社会に有用な人物を養成することを目的とする。

第 1 条の 2 本学は、教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、文部科学大臣の定めるところにより、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 点検及び評価に関する規程は、別に定める。

3 本学は、第 1 項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

4 本学は、第 1 項及び前項に規定する点検及び評価の結果並びに認証評価の結果を公表するとともに、教育研究活動等について不断の見直しを行う。

第 1 条の 3 本学は、教育研究活動等の状況について、適切な体制を整えた上で、刊行物への掲載、インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によって、公表するものとする。

第 2 条 本学に、学部、大学院その他の教育研究組織を置く。

2 大学院に関する学則は、別にこれを定める。

第 2 条の 2 本学は、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を各学部において学科毎に定め、別表Ⅱに記載する。

第 2 章 学 部

第 1 節 修業年限、学年、学期及び休業日

第 3 条 学部の修業年限は、4 年とする。

2 在学年限は、8 年を超えることができない。

第 4 条 削除

第 5 条 学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

2 学年を次の 2 学期に分ける。

春学期 4 月 1 日から 9 月 20 日まで

秋学期 9 月 21 日から翌年 3 月 31 日まで

第 6 条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 「国民の祝日に関する法律」に定める休日

(3) 創立記念日 11 月 29 日

(4) キリスト降誕日 12 月 25 日

(5) 夏期、冬期及び春期休業に関しては、別に定める。

2 前項に規定する休業日において、必要ある場合は授業を行うことがある。また休業日は、臨時に定めることができる。

第 2 節 学部学科等の組織

第 7 条 本学に、次の学部学科を置く。

神学部

神学科

文学部

英文学科

哲学科

美学芸術学科

文化史学科

国文学科

社会学部

社会学科

社会福祉学科

メディア学科

産業関係学科

教育文化学科

法学部

法律学科

政治学科

経済学部

経済学科

商学部

商学科

政策学部

政策学科

文化情報学部

文化情報学科

理工学部

インテリジェント情報工学科

情報システムデザイン学科

電気工学科

電子工学科

機械システム工学科

機械理工学科

機能分子・生命化学科

化学システム創成工学科

環境システム学科

数理システム学科

生命医科学部

医工学科

医情報学科

医生命システム学科

スポーツ健康科学部

スポーツ健康科学科

心理学部

心理学科

グローバル・コミュニケーション学部

グローバル・コミュニケーション学科

グローバル地域文化学部

グローバル地域文化学科

第 7 条の 2 削除

第 7 条の 3 本学にキリスト教文化センターを置く。

2 キリスト教文化センターに関する規程は、別に定める。

第 7 条の 4 本学にハリス理化学研究所を置く。

2 ハリス理化学研究所に関する規程は、別に定める。

第 7 条の 5 削除

第 7 条の 6 本学に歴史資料館を置く。

2 歴史資料館に関する規程は、別に定める。

第 7 条の 7 削除

第 7 条の 8 本学に全学共通教養教育センターを置く。

2 全学共通教養教育センターに関する規程は、別に定める。

- 第7条の9 本学に国際教育インスティテュートを置く。
- 2 国際教育インスティテュートに関する規程は、別に定める。
- 第7条の10 本学に免許資格課程センターを置く。
- 2 免許資格課程センターに関する規程は、別に定める。
- 第7条の11 本学に学習支援・教育開発センターを置く。
- 2 学習支援・教育開発センターに関する規程は、別に定める。
- 第7条の12 削除
- 第7条の13 削除
- 第7条の14 本学に国際教養教育院を置く。
- 2 国際教養教育院に関する規程は、別に定める。

第3節 教育課程及び履修方法

- 第8条 各学部学科の教育課程は、各学部学科が学校教育法施行規則第165条の2第1項第1号及び第2号により定める方針に基づき編成し、履修方法とともに別表Ⅱにこれを定める。
- 第8条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
- 2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 本学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 第8条の3 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。
- 第9条 学生は、所属学部学科の規定に従って、一定単位数の授業科目を履修しなければならない。
- 2 教育職員免許状を得るための資格及び司書、司書教諭、学芸員の資格を得たい者は、特に指定された授業科目を履修しなければならない。
- 3 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、次の基準による。
- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習、実技等については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 第1号に規定する授業の方法と前号に規定する授業の方法を併用する場合の単位数の基準は、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める。
- 4 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。
- 第9条の2 本学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が学部の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で認定することができる。
- 2 第27条の2により留学した大学において単位を修得した者には、前項により認定した単位と合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。

- 3 外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し修得した単位及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修し修得した単位を、前2項により認定した単位と合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。

第9条の3 本学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、学部教授会の定めるところにより単位を与えることができる。

- 2 前項の単位数は、前条第1項、第2項及び第3項と合わせて60単位を超えないものとする。

第9条の4 本学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が入学前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学において修得したものとして認定することができる。

- 2 本学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が入学前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、学部の定めるところにより単位を与えることができる。

- 3 前2項の単位数は、転入学及び編入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第9条の2第1項、第2項及び第3項並びに前条第1項により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第9条の5 第8条の2第2項の授業の方法により修得する単位は、各学部における卒業に必要な単位数から64単位を除いた単位数を上限として、卒業に必要な単位とすることができる。

第9条の6 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示する。

- 2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行う。

第10条 削除

第4節 単位の授与及び成績評価

第11条 一の授業科目を履修した学生に対しては、試験その他の本学が定める適切な方法により学修の成果を評価して単位を与えるものとする。

第12条 削除

第13条 学修の成果に係る評価は、A、B、C、D及びFで評価し、D以上の成績を合格とする。ただし、学部の定めるところにより、特定の授業科目については学修の成果に係る評価を、合格又は不合格で評価することができる。

第14条 疾病その他やむを得ない事由により受験できなかった場合は、その授業科目の試験日の翌日から起算して3日以内に願ひ出れば、追試験を行うことがある。

第5節 卒業及び学位の授与

第15条 学部学科所定の教育課程に従って授業科目を履修し、所定の単位を修得した者に卒業の認定を行い、卒業した学部学科の種類により次の学士の学位を授与する。在学期間に関しては、学部の定めるところにより、所定の単位を優れた成績で修得したと認められる者については、3年以上在学すれば足りるものとする。

学士（神学、英文学、哲学、美学芸術学、文化史学、国文学、社会学、社会福祉学、メディア学、産業関係学、教育文化学、法学、政治学、経済学、商学、政策学、文化情報学、工学、理学、スポーツ健康科学、心理学、グローバル・コミュニケーション学、グローバル地域文化学、国際教養）

2 前項に規定する学位には、「学士（神学）（同志社大学）」のように明記することを必要とする。

第6節 収容定員及び教育研究実施組織

第16条 各学部の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部学科別	入学定員	編入学定員	収容定員
神学部	63名		252名
神学科	63名		252名
文学部	705名		2,820名
英文学科	315名		1,260名
哲学科	70名		280名
美学芸術学科	70名		280名
文化史学科	125名		500名
国文学科	125名		500名
社会学部	442名		1,768名
社会学科	90名		360名
社会福祉学科	98名		392名
メディア学科	88名		352名
産業関係学科	87名		348名
教育文化学科	79名		316名
法学部	893名		3,572名
法律学科	683名		2,732名
政治学科	210名		840名
経済学部	893名		3,572名
経済学科	893名		3,572名
商学部	893名		3,572名
商学科	893名		3,572名
政策学部	420名		1,680名
政策学科	420名		1,680名
文化情報学部	294名		1,176名
文化情報学科	294名		1,176名
理工学部	756名	20名	3,064名
インテリジェント情報工学科	83名	2名	336名
情報システムデザイン学科	83名	2名	336名
電気工学科	80名	2名	324名
電子工学科	86名	2名	348名
機械システム工学科	96名	2名	388名
エネルギー機械工学科	70名	2名	284名
機能分子・生命化学科	83名	2名	336名
化学システム創成工学科	83名	2名	336名
環境システム学科	51名	2名	208名
数理システム学科	41名	2名	168名
生命医科学部	265名		1,060名
医工学科	100名		400名
医情報学科	100名		400名
医生命システム学科	65名		260名
スポーツ健康科学部	221名		884名
スポーツ健康科学科	221名		884名
心理学部	158名		632名
心理学科	158名		632名
グローバル・コミュニケーション学部	158名		632名
グローバル・コミュニケーション学科	158名		632名
（うち、英語コース	85名		340名）
グローバル地域文化学部	190名		760名
グローバル地域文化学科	190名		760名
計	6,351名	20名	25,444名

第17条 本学に、教授、准教授、助教及び助手を置く。

2 本学に、特別任用教授、特別任用助教（有期研究員）及び特別任用助手（有期研究員）を置くことができる。

3 本学に、客員教授、客員准教授及び客員助教を置くことができる。

第17条の2 削除

第18条 本学に、学長を置く。

2 学長は、本学を代表するとともに、校務をつかさどり、教職員を統括する。

3 学長は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修等を実施する。

4 学長に関し必要な事項は、別に定める。

第18条の2 本学に、副学長を置く。

2 副学長に関し必要な事項は、別に定める。

第18条の3 本学に、学部長を置く。

2 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。

第18条の4 本学に、機構長、部長、所長、館長、室長、別科長等を置く。

第18条の5 本学に、学長補佐を置くことができる。

2 学長補佐に関し必要な事項は、別に定める。

第18条の6 本学に、その事務を遂行するため、職員を置く。

2 事務組織に関する規程は、別に定める。

第19条 本学の各学部に教授会を置く。

2 教授会は、学部に関する次の事項を審議する。

- (1) 学生の入学、退学、休学、卒業等に関する事項及び学位の授与に関する事項
- (2) 教育課程に関する事項
- (3) 教員の人事に関する事項
- (4) 学則、学部諸規程に関する事項
- (5) その他、学部長がつかさどる教育研究に関する事項

3 教授会は、学長から諮問された事項について審議する。

4 教授会は、学生の入学、卒業及び学位の授与、その他教育研究に関する重要な事項で教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるものについて、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

5 教授会の組織及び運営に関する事項は、各学部教授会において定める。

第19条の2 本学に部長会を置く。

2 大学及び各学部に通ずる重要事項は、部長会で審議する。

3 部長会に関する規定は、別に定める。

第19条の3 本学に大学評議会を置く。

2 大学評議会は、本学の中長期的方針に関わる事項を審議し、その達成状況を検証する。

3 大学評議会に関する規則は、別に定める。

第19条の4 本学に大学教授会を置く。

2 大学教授会は、大学の重要な事項に関し学長の諮問に応じる。

第7節 入学、転入学、編入学、休学、留学、退学、除籍及び再入学

第20条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、学部が必要とする時には、入学の時期を学期の始めとすることができる。

第21条 学部第1年次に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当しなければならない。

- (1) 高等学校卒業生
- (2) 中等教育学校卒業生
- (3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (4) 高等学校に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本学の定める分野において特に優れた資質を有すると認めたもの
- (5) 大学への入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として、学校教育法施行規則第150条に規定された者

第22条 前条の資格を有する入学志願者について、各学部が学校教育法施行規則第165条の2第1項第3号により定める方針に基づき、高等学校卒業程度の入学試験を行い、入学を許可する。

第23条 学部第2年次及び第3年次では、第2項又は第3項の各号のいずれかに該当する入学志願者について選考を行い、転入学又は編入学を許可することがある。

2 第3年次に転入学又は第2年次若しくは第3年次に編入学することができる者は、次のとおりとする。

- (1) 大学第2年次修了者
- (2) 短期大学卒業生
- (3) 高等専門学校卒業生
- (4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- (5) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として、学校教育法施行規則第155条第2項又は同第177条に規定された者並びに文部省令第1号により大学への編入学を認められた者
- (6) 高等学校の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

3 第2年次に転入学することができる者は、次のとおりとする。

- (1) 大学第1年次修了者
- (2) 外国の大学において前号に準じる課程を修了した者

4 第3年次に転入学又は編入学することを許可された転入学生及び編入学生の修業年限は2年とし、在学年限は6年を超えることができない。

5 第2年次に転入学又は編入学することを許可された転入学生及び編入学生の修業年限は3年とし、在学年限は7年を超えることができない。

第24条 入学志願者は、指定期日までに所定の書類を提出し、別表Ⅰの5に定める入学検定料を納入しなければならない。

2 災害等の特別な事情により入学検定料の納入が困難であると認められる入学志願者には、申請に基づき、入学検定料を免除することがある。

3 前項の入学検定料の免除の詳細は、別に定める。

第25条 入学許可を得た者は、指定期日までに所定の書類を提出し、定められた学費を納入しなければならない。

2 本学の複数の学部・学科・コース（以下「学部等」という。）の入学許可を得て、一方の学部等の学費を納入した者が、もう一方の学部等へ入学を希望する場合は、申請に基づき、既に納入した学費を、もう一方の学部等の学費に振替を認めることがある。

3 前項の振替の詳細は、別に定める。

第26条 連帯保証人は1名とし、父又は母（父母のいない者は、これにかわる親戚等）とする。

2 連帯保証人は、その学生の在籍中、本学学費及び本学に損害を与えた場合の損害賠償等の債務につき、極度額の範囲において連帯保証しなければならない。極度額は別表Ⅰに定める学費1年分とする。

3 連帯保証人が転籍、転居等をしたときは、その旨直ちに届け出なければならない。

4 連帯保証人が死亡したとき、又はその資格を失ったときは、あらたに連帯保証人を定めて、届け出なければならない。

第27条 学生が疾病その他やむを得ない事由により、休学しようとするときは、連帯保証人連署のうえ、春学期又は秋学期授業開始日までにその旨願い出て、許可を得なければならない。

2 休学期間は、1年又は半年とする。

3 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。

4 休学期間は、第3条並びに第23条第4項及び第5項に定める修業年限、在学年限には算入しない。

第27条の2 学生は、在学中当該学部教授会が本人の教育上有益と認め、学長が承認した場合に限り、本学の認定する外国の大学に留学することができる。

2 留学の期間は、第3条並びに第23条第4項及び第5項に定める修業年限及び在学年限に算入できる。

3 留学の取扱いについては、別にこれを定める。

第28条 学生が、疾病その他やむを得ない事由により、退学しようとするときは、連帯保証人連署のうえ、その旨願い出なければならない。

第29条 学長は学力劣等にして成業見込みなしと認める者、又は出席常でない者を、当該学部教授会の審議を経て、論旨退学させることがある。

第30条 学長は品行不良の者、学業怠慢の者、学校の秩序を乱した者、その他学生としての本分に反した者で、当該学部教授会において懲戒の対象となりうると認められたときには、けん責、停学又は退学に処することができる。

2 前項の懲戒に関する規程は、別に定める。

第30条の2 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。ただし、第1号については、春学期末卒業予定者は春学期末、それ以外の者は該当学年末（秋学期入学者は春学期末）、また第2号並びに第3号については、該当学期末に除籍する。

(1) 学費の納入を怠り、督促を受けても納入しない者

(2) 在学期間が第3条第2項並びに第23条第4項及び第5項に規定する在学年限を超える者

(3) 学費未納で履修科目の登録をしていない者

第30条の3 退学者及び前条第1項第1号又は第3号により除籍

された者が、連帯保証人連署のうえ、再入学を願い出た場合は、それを許可することがある。

なお、除籍された者が再入学を願い出る場合は、事前に未納学費を完納しなければならない。

第30条の4 再入学許可を得た者は、指定期日までに所定の書類を提出し、定められた学費を納入しなければならない。

第8節 科目等履修生、聴講生及び外国人留学生

第31条 各学部等に設置する一又は複数の授業科目を履修し単位を修得しようとする者があるときは、相当の資格があると認めた者につき、科目等履修生とすることができる。

2 科目等履修生のうち、他の大学の学生で、協定に基づき本学の授業科目を履修する者については、交流学生又は単位互換履修生として受け入れることができる。

第32条 科目等履修生が履修した授業科目について試験その他の本学が定める適切な方法により学修の成果に係る評価を受け合格したときは、所定の単位を与える。

2 前項に定めるもののほか、科目等履修生に関する内規は、別に定める。

第33条 削除

第34条 削除

第35条 各学部等に設置する一又は複数の授業科目を聴講しようとする者があるときは、相当の資格があると認めた者につき、聴講生とすることができる。

第36条 聴講生に関する内規は、別に定める。

第36条の2 外国人留学生に関する内規は、別に定める。

第9節 学 費

第37条 在学生の学費は、春学期及び秋学期の学年暦に定める日までに納入しなければならない。ただし、春学期の学費を納入するときに、当該年度の秋学期の学費も納入することができる。

2 外国人留学生（特別学生）研修料は、春学期及び秋学期の学年暦に定める日までに納入しなければならない。

3 履修料及び聴講料は、所定の期間内に納入しなければならない。

第38条 学費は、入学金、授業料（履修料、聴講料、研修料を含む。）、教育充実費、特別在籍料及び休学在籍料とし、その額は、別表Ⅰから別表Ⅰの4にこれを定める。

2 協定に基づくダブルディグリープログラムにより、本学から1学期間以上留学する者は、特別在籍料を納入するものとし、入学金を除く他の学費の納入を要しない。

3 休学を許可された者は、休学在籍料を納入するものとし、入学金を除く他の学費の納入を要しない。

4 第31条第2項に定める、協定に基づき本学の授業科目を履修するため、他の大学から受け入れた交流学生及び単位互換履修生の学費については、当該大学との協定に基づき設定する。

5 いったん納入した学費は、返還しない。ただし、入学許可を得た者で、入学日の前日までに入学手続の取消しを願い出たものについては、入学金又はこれに相当する金額を除く学費を返還することがある。

6 履修科目の登録に際して実験実習料を要する科目及びその実験実習料については、別に定める。

7 退学者又は除籍された者については、別に定める場合を除き、

当該学期の学費を徴収する。

- 8 第30条第1項に基づく停学に処せられた者については、その期間中も学費を徴収する。

第39条 やむを得ない事情があると認められる場合は、申請に基づき、学費（特別在籍料及び休学在籍料を除く。）を延納又は分納することができる。

- 2 前項の学費の延納又は分納の詳細は、別に定める。

第39条の2 本学は、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、授業料及び入学金の減免を行う。

- 2 前項の授業料及び入学金の減免の詳細は、別に定める。

第39条の3 災害等の特別な事情により学費の納入が困難であると認められる者には、申請に基づき、学費の一部を免除することがある。

- 2 前項の学費の一部免除の詳細は、別に定める。

第3章 附属施設

第40条 図書館を設け、図書、学術雑誌、電磁的方法により提供される学術情報等を系統的に整備し、教育研究を促進する。

- 2 大学には学部研究室、実験室、研究所等を設ける。

第41条 寄宿舎を設け、一部学生を入舎させる。

第42条 学生支援機構保健センターを設け、教職員及び学生の保健医療に当る。

附 則

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。

- 2 第27条第3項の規定は、1989年度入学生から適用する。

- 3 第9条に規定する教育職員免許状を得るための資格（高等学校地理歴史・公民科）については、1990年度入学生から適用する。

- 4 第7条、第16条は、知識工学科設置、機械工学科、機械工学第二学科の機械システム工学科、エネルギー機械工学科への名称変更及び工業化学科、化学工学科の機能分子工学科、物質化学工学科への改組転換により1994年4月1日から改正施行する。

- 5 第7条は、学部第2部を1997年度入学生から学生募集停止及び文学部第1部、法学部第1部、経済学部第1部、商学部第1部の文学部、法学部、経済学部、商学部への名称変更により1997年4月1日から改正施行する。

第16条は、文学部英文学科、文化学科国文学専攻、法学部法律学科、政治学科、経済学部、商学部、に昼間主コース、夜間主コースを設置。これにともなう学部、学科の収容定員増加変更により1997年4月1日から改正施行する。

なお、各学部の第2部は、当該学部の第2部に在学する者がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。（1997年4月1日改正）

- 6 第7条、第16条は、神学部、に神学科、経済学部、に経済学科、商学部、に商学科の学科名明示により、1999年4月1日から改正施行する。（1999年4月1日改正）

- 7 第7条、第16条は、文学部社会学科新聞学専攻のメディア学専攻への名称変更、政策学部政策学科、工学部情報システムデザイン学科及び環境システム学科の設置により2004年4月1日から改正施行する。（2004年4月1日改正）

- 8 第7条は、文学部の改組・再編による文化学科、社会学科及び各学科内の専攻の廃止、それに伴う文学部哲学科、心理学科、

美学芸術学科、文化史学科、国文学科及び社会学部社会学科、社会福祉学科、メディア学科、産業関係学科、教育文化学科の設置並びに文化情報学部文化情報学科の設置により2005年4月1日から改正施行する。

第16条は、文学部の改組・再編に伴う学部・学科の設置及び文化情報学部の設置並びに法学部及び経済学部の昼間主コース、夜間主コースの廃止により2005年4月1日から改正施行する。

なお、廃止する文化学科及び社会学科の各専攻並びに法学部及び経済学部の昼間主コース及び夜間主コースは、2005年度より学生募集を停止する。ただし、各学科・専攻及びコースは、当該学科・専攻及びコースに在学する者がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。（2005年4月1日改正）

- 9 第13条に規定する試験の成績評価は、2004年度第1年次入学生から適用し、2003年度以前の入学生については、従前の規程による。

- 10 第15条に規定する学位は、2005年度第1年次入学生から適用し、2004年度以前の入学生については、従前の規程による。

- 11 第30条の3に規定する再入学は、2004年度第1年次入学生から適用する。

- 12 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2005年度第1年次入学生から適用し、2004年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。

- 13 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2005年度入学生に適用する。2004年度以前の入学生については、従前の学費による。

- 14 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、休学在籍料については、2003年度以降在学の学生に適用する。ただし、2002年度以前の入学生のうち、従前の学費による休学中の学費が休学在籍料を下回る場合は、その額とする。

附 則

- 1 この学則は、2006年4月1日から施行する。

- 2 第7条及び第16条は、工学部知識工学科の名称変更により、改正・施行する。なお、知識工学科は、2006年度より学生募集を停止する。ただし、当該学科は、当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規定は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2006年度第1年次入学生から適用し、2005年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。

- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2006年度入学生に適用する。2005年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2007年4月1日から施行する。

- 2 第16条は、文学部英文学科及び国文学科の昼間主コース、夜間主コースの廃止により、改正・施行する。なお、文学部英文学科及び国文学科の昼間主コース及び夜間主コースは、2007年度より学生募集を停止する。ただし、当該コースは、当該コースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2007年度第1年次

入学生から適用し、2006年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。

- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2007年度入学生に適用する。2006年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2008年4月1日から施行する。
- 2 第7条は、理工学部数理システム学科、生命医科学部医工学科、医情報学科、医生命システム学科及びスポーツ健康科学部スポーツ健康科学学科の設置並びに工学部、機能分子工学科及び物質化学工学科の理工学部、機能分子・生命化学科及び化学システム創成工学科への名称変更により、改正・施行する。

第16条は、政策学部政策学科の昼間主コース及び夜間主コースの廃止、理工学部数理システム学科、生命医科学部及びスポーツ健康科学部の設置並びにこれにともなう学部・学科の収容定員変更及び工学部、機能分子工学科及び物質化学工学科の理工学部、機能分子・生命化学科及び化学システム創成工学科への名称変更により改正・施行する。

なお、政策学部政策学科の昼間主コース及び夜間主コース並びに工学部は、2008年度より学生募集を停止する。ただし、各学部・学科及びコースは、当該学部・学科及びコースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2008年度第1年次入学生から適用し、2007年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2008年度入学生に適用する。2007年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2009年4月1日から施行する。
- 2 第7条は、心理学部心理学科の設置及びそれにともなう文学部心理学科の廃止により、改正・施行する。

第16条は、心理学部心理学科の設置及びそれにともなう文学部心理学科の廃止並びに学部・学科の収容定員変更により改正・施行する。

なお、文学部心理学科は、2009年度より学生募集を停止する。ただし、文学部心理学科は、当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2009年度第1年次入学生から適用し、2008年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2009年度入学生に適用する。2008年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2010年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2010年度第1年次入学生から適用し、2009年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。

- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2010年度入学生に適用する。2009年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2011年4月1日から施行する。
- 2 第7条及び第16条は、グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科の設置により、改正・施行する。
- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2011年度第1年次入学生から適用し、2010年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2012年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2012年度第1年次入学生から適用し、2011年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2013年4月1日から施行する。
- 2 第7条は、グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科の設置により、改正・施行する。

第16条は、学部・学科の収容定員変更、商学部商学科の昼間主コース及び夜間主コースの廃止並びにグローバル地域文化学部グローバル地域文化学科の設置により、改正・施行する。

なお、商学部商学科の昼間主コース及び夜間主コースは、2013年度より学生募集を停止する。ただし、当該コースは、当該コースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2013年度第1年次入学生から適用し、2012年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2014年度第1年次入学生から適用し、2013年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2015年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2015年度第1年次入学生から適用し、2014年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2015年度入学生に適用する。2014年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 留学生別科は、2016年度より学生募集を停止する。ただし、当該組織に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。
- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2016年度第1年次入学生から適用し、2015年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課定表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2016年度入学生に適用する。2015年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2017年度第1年次入学生から適用し、2016年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2017年度入学生に適用する。2016年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2018年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2018年度第1年次入学生から適用し、2017年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2018年度入学生に適用する。2017年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2019年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2019年度第1年次入学生から適用し、2018年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2019年度入学生に適用する。2018年度以前の入学生については、従前の学費による。
なお、再入学生の入学金に関する規定のただし書きについては、2020年4月1日以降に再入学する学生に適用する。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、特別在籍料については、2019年4月1日以降に派遣を決定する学生に適用する。

附 則

- 1 この学則は、2020年4月1日から施行する。
- 2 第7条及び第16条は、理工学部エネルギー機械工学科の名称変更により改正・施行する。
なお、理工学部エネルギー機械工学科は、2020年度より学生募集を停止する。ただし、当該学科は、当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する

規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2020年度第1年次入学生から適用し、2019年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2020年度入学生に適用する。2019年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2021年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2021年度第1年次入学生から適用し、2020年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2022年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2022年度第1年次入学生から適用し、2021年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第26条に規定する連帯保証人は、2022年度第1年次入学生から適用し、2021年度以前の入学生については、従前の規程による。

附 則

- 1 この学則は、2023年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2023年度第1年次入学生から適用し、2022年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第26条第2項に規定する極度額は、2023年度第1年次入学生から適用する。2022年度の入学生については、従前の規定による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料及び教育充実費については、2023年度入学生に適用する。2022年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2024年4月1日から施行する。
- 2 第7条の14は、国際教養教育院の設置並びにこれに伴う第7条の7に定める日本語・日本文化教育センター及び第7条の12に定めるグローバル教育センターの廃止により、改正・施行する。なお、日本語・日本文化教育センター及びグローバル教育センターは、2024年度より学生の新規受入れを停止する。ただし、日本語・日本文化教育センター及びグローバル教育センターは、当該センターに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。
- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2024年度第1年次入学生から適用し、2023年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料及び教育充実費については、2024年度入学生に適用する。2023年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- この学則は、2025年4月1日から施行する。
- 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2025年度第1年次入学生から適用し、2024年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

- 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料及び教育充実費については、2025年度入学生に適用する。2024年度以前の入学生については、従前の学費による。

別表Ⅰ 学 費

入学金、授業料及び教育充実費

(年額)

		入 学 金	授 業 料	教育充実費
神 学 部 文 学 部 社 会 学 部 法 学 部 経 済 学 部 商 学 部 政 策 学 部 グローバル地域文化学部	第1年次	200,000円	783,000円	165,000円
	第2年次		983,000円	165,000円
	第3年次		983,000円	165,000円
	第4年次		983,000円	165,000円
文化情報学部	第1年次	200,000円	895,000円	178,000円
	第2年次		1,095,000円	178,000円
	第3年次		1,095,000円	178,000円
	第4年次		1,095,000円	178,000円
理 工 学 部 (数理システム 学科を除く) 生命医科学部	第1年次	200,000円	1,292,000円	249,000円
	第2年次		1,492,000円	249,000円
	第3年次		1,492,000円	249,000円
	第4年次		1,492,000円	249,000円
理 工 学 部 (数理システム 学 科)	第1年次	200,000円	1,215,000円	249,000円
	第2年次		1,415,000円	249,000円
	第3年次		1,415,000円	249,000円
	第4年次		1,415,000円	249,000円
ス ポ ー ツ 健康科学部	第1年次	200,000円	928,000円	178,000円
	第2年次		1,128,000円	178,000円
	第3年次		1,128,000円	178,000円
	第4年次		1,128,000円	178,000円
心 理 学 部	第1年次	200,000円	946,000円	186,000円
	第2年次		1,146,000円	186,000円
	第3年次		1,146,000円	186,000円
	第4年次		1,146,000円	186,000円
グ ローバル・ コミュニケー ション学部	第1年次	200,000円	896,000円	186,000円
	第2年次		1,096,000円	186,000円
	第3年次		1,096,000円	186,000円
	第4年次		1,096,000円	186,000円

- 授業料及び教育充実費については、各々2分の1を春学期学費及び秋学期学費とする。
- 4年を超えて在籍した場合（再修生）の学費は、第4年次の学費を適用する。
- 転入学生及び編入学生の入学金は、200,000円とし、授業料及び教育充実費は、転入学又は編入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。ただし、本学卒業生に限り、入学金は2分の1とする。
- 再入学生の入学金は、100,000円とし、授業料及び教育充実費は、再入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。ただし、学費未納により学年末をもって除籍された者が翌年度4月30日までに再入学手続をする場合及び春学期末をもって除籍された者が次の秋学期10月31日までに再入学手続をする場合の入学金は、50,000円とする。

ダブルディグリープログラム による留学期間	特別在籍料
1 年	300,000円
1 学期	150,000円

休学在籍料

休 学 期 間	休学在籍料
1 年	120,000円
半 年	60,000円

- 母国における兵役義務による休学が認められた者は、休学在籍料の納入を要しない。

別表Ⅰの２ 履修料

履修登録料	全 学 部	25,000円
履 修 料 (1単位につき)	神、文、社会、法、経済、商、 政策、グローバル地域文化学部	22,000円
	文化情報、スポーツ健康科学部	23,000円
	理工、生命医科学部	31,000円
	心理、グローバル・コミュニケーション学部	25,000円

- (1) 履修料の総額が当該年度の第1年次の「授業料及び教育充実費の合計額」を超える場合は、その額にとどめる。
- (2) 本学出身者及び前年度から継続の履修生の履修登録料は、2分の1とする。
- (3) 学期をまたがって履修する場合、履修登録料は、重複して徴収しない。
- (4) 複数の学部併願する場合、履修登録料は、重複して徴収しない。

別表Ⅰの３ 聴講料

聴講登録料	全 学 部	25,000円
聴 講 料 (1単位につき)	神、文、社会、法、経済、商、 政策、グローバル地域文化学部	15,000円
	文化情報、スポーツ健康科学部	15,000円
	理工、生命医科学部	21,000円
	心理、グローバル・コミュニケーション学部	17,000円

- (1) 聴講料の総額が当該年度の第1年次の「授業料及び教育充実費の合計額」を超える場合は、その額にとどめる。
- (2) 本学出身者及び前年度から継続の聴講生の聴講登録料は、2分の1とする。
- (3) 学期をまたがって聴講する場合、聴講登録料は、重複して徴収しない。
- (4) 複数の学部併願する場合、聴講登録料は、重複して徴収しない。

別表Ⅰの４ 外国人留学生（特別学生）入学金及び研修料

	入 学 金	研 修 料 (年額)	研 修 料 (年度内の在学期間が 7月以内の場合)
神学部 文学部 社会学部 法学部 経済学部 商学部 政策学部 グローバル地域文化学部	25,000円	440,000円	220,000円
文化情報学部 スポーツ健康科学部	25,000円	460,000円	230,000円
理工学部 生命医科学部	25,000円	620,000円	310,000円
心理学部 グローバル・コミュニケーション学部	25,000円	500,000円	250,000円
国際教養教育院	25,000円	666,000円	333,500円

- (1) 研修料については、2分の1を春学期学費及び秋学期学費とする。
- (2) 特別学生が正規課程に進学した場合、正規課程の入学金は特別学生時の入学金相当額を差し引いた額とする。
- (3) 期間延長者（同志社大学外国人留学生内規第4条第2項該当者）については、重複して入学金を徴収しない。また、研修料は入学年度の額を適用する。
- (4) 秋学期入学者の学費については、入学年度の春学期入学者の学費を適用する。
- (5) 特別学生が、年度内に20単位（国際教養教育院は、30単位）を超えて学科目登録をする場合は、超過する分1単位につき上記入学金及び研修料のほかに、学部授業科目を登録するときは学則別表Ⅰの2に定める履修料相当額を、ビジネス研究科ビジネス専攻を除く大学院授業科目を登録するときは大学院学則別表Ⅰの2に定める履修料相当額を、ビジネス研究科ビジネス専攻授業科目を登録するときは専門職大学院学則別表Ⅰの2に定める履修料相当額を、国際教養教育院科目を登録するときは学則別表Ⅰの2に定める神、文、社会、法、経済、商、政策、グローバル地域文化学部の履修料相当額を研修料として納入すること。
- (6) 研修料の総額が当該年度の第1年次の授業料を超える場合は、その額にとどめる。

(7) 外国の大学の教育計画で在学する特別学生又は本学と特定の外国の大学との協定により在学する特別学生その他特別の事情のある場合は、部長会の審議を経てこの学費を適用しないときがある。

別表Ⅰの５ 入学検定料

区 分		金 額
一般選抜入学試験 推薦入学試験 転入学試験 編入学試験		35,000円
大学入学共通テストを利用する 入学試験	個別学力検査を課す場合	25,000円
	個別学力検査を課さない場合	15,000円
アドミッションズオフィスによる入学者選抜	第１次審査	25,000円
	第２次審査	10,000円
推薦選抜入学試験 自己推薦入学試験 その他特別入学試験		35,000円
推薦選抜入学試験における二段階選考 自己推薦入学試験における二段階選考 その他特別入学試験における二段階選考	第１次選考	10,000円
	第２次選考	25,000円
外国人留学生入学試験 その他外国人留学生特別入学試験 外国人留学生転入学試験 外国人留学生編入学試験	書類選考および学部独自試験を課す場合	15,000円
	書類選考のみの場合	10,000円
グローバル・コミュニケーション学部 (日本語コース) 入学試験	書類選考および学部独自試験を課す場合	15,000円
	書類選考のみの場合	10,000円
国際教育インスティテュート（国際教養コース）入学試験		15,000円

別表Ⅱ 各学部人材養成目的及び教育課程表（省略）

学 部 一 般 内 規

(2024 年 4 月 1 日改正)

学 年 暦

別に定める「学年暦」は、年間の行事を示し特別の通知・掲示がない限り、このとおり行われる。行事の詳細については、その都度指示する。

学 籍 番 号

- 1 学生には、入学と同時に学籍番号が付与され、在学する期間を通じて変わらない。
- 2 第2年次転入学生及び編入学生には、第2年次生の入学年度を冠した学籍番号が付与される。
- 3 第3年次転入学生及び編入学生には、第3年次生の入学年度を冠した学籍番号が付与される。
- 4 再入学生には、再入学を許可された年次に該当する入学年度を冠した学籍番号が付与される。

学 生 証

- 1 学生証は、本学の学生であることを証明するもので、常に携帯しなければならない。
- 2 学生証は、卒業、退学及び除籍の場合は、直ちに返納しなければならない。
- 3 学生証を紛失したときは、直ちに届け出て再交付を受けなければならない。ただし、別に定める手数料を納入することを要する。
- 4 学生証は、他人に貸与又は譲渡してはならない。

履修科目の登録

- 1 履修する科目は、学年暦に定められた期間に登録しなければならない。ただし、在学留学が認められた場合は、これによらないことがある。
- 2 合格となった科目は、再度登録履修することはできない。
- 3 各年次で登録履修できる単位数は、春学期及び秋学期合計50単位に満たない範囲において学部の定めるところによる。
- 4 前項の規定にかかわらず、転入学生及び編入学生の登録履修できる最高単位数は、学部の定めるところによる。

成 績 評 価

- 1 成績評価は、学年暦に定められた期間に実施される期末試験、期末試験以外の評価に基づき、多面的に行われる。
- 2 成績は、成績原簿に記録される。
- 3 不合格となった科目を再履修し、合格となった場合は、直近の不合格の評価のみ改変される。

期 末 試 験

- 1 受験上の注意
 - (1) 学費未納のままでは受験できない。
 - (2) 未登録の授業科目は、受験できない。
 - (3) 授業日数の3分の2以上の出席がない場合は、科目担当者の判断によって、受験資格を取り消すことがある。
 - (4) 試験には、必ず学生証を持参しなければならない。
 - (5) 試験に15分以上遅刻した者は、受験を許さない。また、試験開始後30分経過するまでは退室できない。
 - (6) 試験にかかる不正行為があつて、当該学部教授会がそれを認定した場合は、その試験が実施された学期中の全科目を不合格とし、これを公表する。ただし、当該学部が定める科目については除く。
 - (7) その他試験に関する注意事項等は別に定める。
 - (8) 上記(1)から(7)の注意事項は期末試験以外の評価に適用することがある。
- 2 追 試 験
 - (1) 病気又はやむを得ない事由のために、期末試験又は学部教授会が認める期末試験以外の評価を受けることができなかった者に追試験を行うことがある。やむを得ない事由は別に定める。
 - (2) 受験希望者は、追試験願を、当該科目試験日の翌日から起算して3日以内に提出しなければならない。ただし、課外活動のため受験できない場合、追試験願は事前に提出し承認を受けなければならない。
 - (3) 追試験願には、当該試験を受験できなかった事由を証明する書類を添付しなければならない。必要な証明書類は別に定める。
 - (4) 追試験ごとに1,000円の追試験料を納入しなければならない。

届書・願書

届書及び願書には、次のようなものがある。

- 1 届 書
 - (1) 欠 席 届 授業科目担当者名明記、理由書（診断書等）添付のこと。
 - (2) 改 姓(名)届 戸籍抄本添付のこと。
 - (3) 性別変更届 戸籍抄本添付のこと。
 - (4) 住所変更届
 - (5) 連帯保証人変更届 新旧連帯保証人併記のこと。
- 2 願 書
 - (1) 休 学 願 理由記載、適宜証明書類添付のこと。
 - (2) 退 学 願 理由記載のこと。
 - (3) 再 入 学 願 理由記載のこと。
 - (4) 通称名使用願 診断書添付のこと。

- (5) 旧姓名使用願 戸籍抄本等、旧姓名を確認できる証明書類添付のこと。
- (6) 在学留学願 留学する大学の入学許可書添付のこと。
- (7) 転学部・転学科願 理由記載のこと。
- (8) 追試験願 理由及び受験科目名記載のこと。

以上の各種届書及び願書は、所定様式により提出する。必要によっては、当該学部教授会の審議を経て処理される。

教室使用願、物品使用願等は、願い出責任者を明記のうえ、教育支援機構教務部に提出すること。

再入学

- 1 退学日又は除籍日から5年以内は、当該学部教授会の審議を経て、再入学を許可する。5年を経過したときは、試験のうえ、教授会の判定によって再入学を許可する。
- 2 再入学の時期は、学期の始めとする。
- 3 再入学を許可する学部・学科等は、退学又は除籍時の学部・学科等とする。ただし、退学又は除籍時の学部・学科等が存在しない場合及び学生募集が停止されている場合は、当該学生の再入学願を審議する学部教授会は、学長が指定する。
- 4 再入学を許可する年次、修業年限及び在学年限は、再入学前に在籍していた期間により定める。
- 5 再入学生教育課程は、再入学を許可された年次に在籍する学生と同様とする。

転学部・転学科

- 1 転学部及び転学科は、やむを得ない事情の生じた場合に限り、第2年次から第3年次に進むとき、関係学部教授会の審議を経て許可することがある。なお、学部教授会が特に必要と認めた場合は、第1年次から第2年次に進むときも当該学部内において転学科を許可することがある。
- 2 いったん転学部・転学科を許可した学生の再転学部・転学科は認めない。
- 3 転学部・転学科願書の受付期限は秋学期講義最終日とし、許可決定の時期は、当該年度の終わりとする。

学士入学

学士入学は、転入学・編入学試験を受けなければならない。ただし、本学卒業生は、同一学部学科への学士入学は認められない。

免許資格課程登録料

免許資格課程に登録する者は、次の各号の免許資格課程登録料を納入しなければならない。

- (1) 教職課程 30,000円
- (2) 博物館学芸員課程 10,000円
- (3) 図書館司書課程 10,000円

- 2 免許資格課程登録料の詳細は、別に定める。

教育実習費

教育実習に登録する者は、登録と同時に実習費を納めなければならない。

諸会費

本学が代理徴収を行う学会、父母会及び卒業生団体の諸会費は、所定の期日までに納入しなければならない。

定期健康診断

学生は、毎年、学期始めに行う定期健康診断を必ず受けなければならない。疾病その他やむを得ない理由によって定期健康診断を受けることができなかった者は、その理由のなくなった後、速やかに受けなければならない。

附則

この内規は、2024年4月1日から施行する。

外国留学に関する諸規程

外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規

(設置)

第1条 本学の学部又は大学院の学生が、本学の教育課程の一環として学則第27条の2、大学院学則第20条の2、専門職大学院学則第29条又は法科大学院学則第15条により留学する場合は、この内規の定めるところによる。

(教育機関の定義)

第2条 この内規にいう外国の大学とは、外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、又はこれに相当する教育機関をいう。

2 外国の大学の調査認定は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が行う。

(留学の定義)

第3条 この内規にいう留学とは、本学の許可を受けて外国の大学に在学し、科目を履修し、又は研究指導を受けることをいう。

(条件)

第4条 この内規の適用を受けて留学する学生は、次の要件を満たさなければならない。ただし、大学院学生には適用しない。

- (1) 本学に1年以上在学していること。
- (2) 30単位以上修得していること。

2 前項第2号は、当該学部教授会の認める特別の事情がある場合には、適用しない。

(学籍)

第5条 この内規の適用を受けて留学する学生の本学学籍上の取扱いは、在学留学とし、休学としない。ただし、学生が休学を認められ、外国の大学で学修する場合は、この内規は適用しない。

(期間)

第6条 在学中に留学できる期間は、1年以内とする。在学留学期間の算定は、留学先大学の別にかかわらず、当該教育課程における在学留学期間の通算にて行う。

2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、1年間を限度として、在学留学期間の延長を許可する。

(履修)

第7条 留学する大学での履修については、留学前に留学する大学の授業科目を検討した上、当該学部又は研究科の指導を受けなければならない。

(学生納付金)

第8条 この内規の適用を受けて留学する学生は、留学中所定の学生納付金を納入しなければならない。

(手続)

第9条 外国の大学に留学する学生で、この内規の適用を希望する場合は、在学留学願を当該学部長又は研究科長を通じて学長に提出するものとする。

2 出発・帰国に際しては、留学出発・帰国届を当該学部長又は研究科長を経て、学長に提出しなければならない。

3 在学留学期間の延長を願い出る場合は、在学留学延長願を当該学部長又は研究科長を通じて、学長に提出するものとする。

(単位認定)

第10条 単位認定を受けようとする者は、帰国後速やかに、次に掲げる必要書類（留学した大学の発行するもの）を添付した取得単位認定願を、当該学部長又は研究科長に提出するものとする。

- (1) 成績証明書（時間数、単位数、科目名を明記したもの）
- (2) 指導教員又はこれに準ずる教員の所見を記したもの
- (3) 受講した科目の内容を説明した教授細目
- (4) 大学履修要項

2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会は、関係機関と協議の上審議し、留学した大学での取得単位を学則の定めるところにより認定することができる。

(帰国後の登録及び履修)

第11条 留学した学生の帰国直後の春学期又は秋学期における登録及び履修については、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が出国時までの履修状況等を勘案し、特別の措置を講ずることがある。なお、設置科目によっては関係機関との協議を必要とする。

(事務)

第12条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

(改廃)

第13条 この内規の改廃は、教務〔国際〕主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この内規は、2015年4月1日から施行する。

同志社大学外国協定大学派遣留学生に関する内規

（目的）

第1条 この内規は、同志社大学外国協定大学派遣留学生制度を設け、本学の外国協定大学に学生を派遣し、もって本学建学の精神である国際主義を体得した学生を養成することを目的とする。

（定義）

第2条 この制度による外国協定大学派遣留学生とは、本学と外国の大学との大学間協定に基づき、学長の推薦により、外国の大学に留学する学生をいう。

（取扱い）

第3条 外国協定大学派遣留学生として留学をする場合は、この内規によるほか、「外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規」の定めるところによる。

（出願条件）

第4条 外国協定大学派遣留学生として出願できる学生は、学力、人物共に優秀で本制度の趣旨をよく理解し、留学年度の4月1日現在、学部2年次生以上の者又は大学院に在学中の者とする。

（義務）

第5条 外国協定大学派遣留学生として留学を希望する学生は、募集要項に定める出願書類を指定された期日までに提出しなければならない。

（推薦方法）

第6条 外国協定大学派遣留学生は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の推薦に基づき、教務〔国際〕主任会議の審議を経て、学長が候補者を決定し、留学先大学に推薦する。

（候補者の決定）

第7条 外国協定大学派遣留学生の最終決定は、留学先大学による当該留学生の受入れ決定に基づき、学長がこれを行う。

（留学期間）

第8条 留学期間は、留学先大学の正規の1年以内とする。ただし、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、教務〔国際〕主任会議の審議を経て、学長が外国協定大学への在学留学期間の延長を認めることがある。

（事務）

第9条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

（改廃）

第10条 この内規の改廃は、教務〔国際〕主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この内規は、2015年4月1日から施行する。

学 業 履 修 に つ い て

本学のカリキュラム（教育課程）は、各学部・学科の教育上の目的を達成するために、学部ごとに定められています。本学において卒業するためには、所定の単位を修得し、この課程を修めなければなりません。

各学部のカリキュラムに定める授業科目の登録・履修にあたっての詳細な説明・手続については、本要項および各学部ごとに作成されている『登録要領』を参照してください。なお、各授業科目の内容については『シラバス』を参照してください。

障がいのある学生への受講に対する配慮

身体、精神・発達等に障がいのある学生が、他の学生と等しい条件のもとで科目を受講できるよう、「合理的配慮」について検討します。

合理的配慮を希望される場合は、スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室（SDA 室）までご相談ください。

単 位 制

単位制とは、各学部ごとに定められた授業科目を登録・履修し、試験に合格することによりそれぞれの授業科目の所定の単位を得、修業年限中に卒業に必要な単位数を修得していく制度です。

現在の我が国の大学制度は単位制度を基本としており、下記に記載している学則のとおり、1単位は、教室等での授業時間と準備学習や復習の時間を合わせて標準45時間の学修を要する教育内容をもって構成されています。授業だけでなく、準備学習や復習の時間の重要性をよく理解しておくようにしてください。

卒業必要単位数は学部によって異なるので、所属学部の欄を参照してください。学部授業科目の単位数の計算は、次の基準によります（学則第9条 3項 4項）。

3 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、次の基準による。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習、実技等については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 第1号に規定する授業の方法と前号に規定する授業の方法を併用する場合の単位数の基準は、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める。

4 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。

また、本学では、文部科学省令である大学設置基準や文部科学省通知に基づき、同志社大学学則第9条の5において、多様なメディアを高度に利用して教室等以外の場所で履修させる授業（遠隔授業）により修得する単位は、各学部における卒業に必要な単位数から64単位を除いた単位数を上限として、卒業に必要な単位とすることができると定めています。シラバス等で表示される「学則第9条の5対象科目」の修得単位数の合計に留意して、履修計画を立てる必要があります（学則第9条の5）。

授業時間

本学における授業時間は1講時について90分とし、これを2時間と計算しています。例えば、「春学期・週2時間」とは、春学期期間中に90分の授業が週1回行われるということであり、「秋学期・週4時間」とは、秋学期期間中に90分の授業が週2回行われるということです。

講 時	授 業 時 間
1	9:00～10:30
2	10:45～12:15
3	13:10～14:40
4	14:55～16:25
5	16:40～18:10
6	18:25～19:55
7	20:10～21:40

休 講

授業は、学年暦によって行われますが、担当者の公務、出張、学会、病気などによって休講となる場合もあります。休講に関する情報は本学学修支援システム DUET（以下 DUET という）で確認することができます。急な休講や休講取消もありますので、DUET を適宜確認するようにしてください。なお、休講情報もなく、講義が始まらない場合は各キャンパスの教務センターへ申し出て、確かめるようにしてください。

補 講

補講に関する情報は、DUET で確認することができます。日時、教室などをよく確認して受講してください。

集中講義

科目によっては、特定期間内に集中して行う講義（集中講義）があります。

授業教室

- (1) 学部授業時間割表は、科目登録・履修に必要な書類とともに、各自に配付されますが、それ以後の教室変更などは、DUET でお知らせしますので、よく注意してください。なお、秋学期開講科目の学部授業時間割表は、9月中旬にあらためて公開、配付します。
- (2) 開講当初の授業教室は、学部授業時間割表に記載しています。授業教室は登録者数の増減により変更することがありますので、DUET で変更教室を確認のうえ、授業に出席してください。
- (3) 授業教室名はすべて略号と教室番号で記載されています（次頁表）。例えば、京田辺校地の場合「1-201」は知真館1号館201番教室（2階）、「KD202」は恵道館202番教室（2階）を、また、今出川校地の場合「Z地1（ZB1）」は尋真館地下1番教室（地階）、「S32」は至誠館32番教室（3階）を表すものです。
- (4) 授業教室は、臨時に変更することがあります。この場合は「臨時教室変更」として DUET でお知らせしますので、その講時のみ変更された教室で受講してください。

〔京田辺キャンパス〕

略 号	館 名
(TC) 1	知真館1号館
(TC) 2	知真館2号館
(TC) 3	知真館3号館
KD	恵 道 館
TS	頌 真 館
MK	夢 告 館
JM	情報メディア館
RM	ローム記念館
KR	交 隣 館
RG	理 化 学 館
IN	医 心 館
YE	有徳館西館
YM	有徳館東館
SC	至 心 館
KC	香 知 館
HS	報 辰 館
SO	創 考 館
CG	知 源 館
SJ	知証館南館 心理学実験室
D	知証館南館 電気系実験実習棟
IJ	知証館北館 機械系実験実習棟
MS1	知証館北館 機械実習工場
MS2	実習工場別棟
HC	訪 知 館
BJ	磐 上 館
KHH	香柏館高層棟
KHL	香柏館低層棟
DV	デイヴィス記念館
TW	体育シャワー棟

〔今出川キャンパス〕

N	寧 静 館
M	明 徳 館
S	至 誠 館
K	弘 風 館
G	神 学 館
F	扶 桑 館
CL	クラーク記念館
H	博 遠 館
T	徳 照 館
KE	光 塩 館
RY	良 心 館

〔新町キャンパス〕

Z	尋 真 館
R	臨 光 館
SS	新 創 館
KS	溪 水 館

〔烏丸キャンパス〕

SK	志 高 館
----	-------

〔室町キャンパス〕

KMB	寒 梅 館
-----	-------

〔大阪サテライト〕

OS	大阪サテライト
----	---------

情報教室（京田辺キャンパス）

略 称	教 室 名	館 名
JM101	情報メディア館演習室Ⅰ	情報メディア館Ⅰ階
JM102A～C	情報メディア館情報道場Ⅰ～3	情報メディア館Ⅰ階
JM201～206	情報メディア館201～206番教室	情報メディア館2階
JM301～306	情報メディア館301～306番教室	情報メディア館3階
JM402～406	情報メディア館402～406番教室	情報メディア館4階
TS101・102	頌真館101・102番教室	頌真館Ⅰ階
TS202	頌真館202番教室	頌真館2階

情報教室（今出川キャンパス）

K21・22・25	弘風館21・22・25番教室	弘風館2階
RY307～315	良心館307～315番教室	良心館3階

情報教室（新町キャンパス）

R303・304	臨光館303・304番教室	臨光館3階
----------	---------------	-------

情報教室（烏丸キャンパス）

SK地Ⅰ・地Ⅸ	志高館地下Ⅰ・地下Ⅸ番教室	志高館地階
---------	---------------	-------

KSR	継 志 寮
-----	-------

授業の録音・録画等について

科目担当者が事前に許可した場合を除き、次の行為を禁止します。

- (1)授業の撮影（黒板・スクリーン等の撮影を含む）
- (2)授業の録音・録画
- (3)授業において配付した資料の複写
- (4)視聴のためにサーバ等に保存した授業動画のダウンロード
- (5)上記(1)～(4)により取得したものの第三者への譲渡・公開等

成績評価の方法について

本学の成績評価は、期末試験、期末試験以外の評価により、多面的に行います。

1. 期 末 試 験

各学期末の定められた期間に行われる試験を期末試験といいます。期末試験は教室で行われるものとレポートを含みます。

2. 期末試験以外の評価

期末試験以外の評価の方法には、レポート、小テスト、オンラインテスト、平常点等が含まれます。期末試験以外の評価は授業内で実施されるものだけでなく、授業時間外に取り組む課題も含まれます。

3. 追 試 験

病気またはやむを得ない理由のために、期末試験または学部教授会が認める期末試験以外の評価を受けることができなかった場合に限り行われる試験を追試験といいます。受験希望者は以下の点に注意してください。

- a. 当該科目の試験日の翌日から起算して3日以内（窓口業務休止日を除く）に、追試験願を所属学部・研究科窓口へ提出しなければならない。ただし、課外活動のために受験できない場合、追試験願は事前に提出し承認を受けなければならない。
- b. 追試験願には、当該試験を受験できなかった事由を証明する以下の書類を添付しなければならない。
- c. 追試験ごとに1,000円の追試験料を必要とする。ただし、裁判員制度および検察審査会制度を事由とする追試験については、追試験料を免除する。なお、追試験を未受験であった場合でも追試験料は返還しない。
- d. 追試験は通常の試験と同等に評価される。減点はされない。
- e. レポートは追試験の対象にはならないが、提出締切日・時間に突発的な事故等やむを得ない事由により、提出締切時間に間に合わなくなった場合は、必ず提出締切時間までに提出先に連絡を取り、指示を受けること。
- f. 追試験も何らかの事情により受験できなかった場合には、これに対する追試験は実施しない。

対象事事例	必要な証明書類
本人の病気、怪我	医師の診断書（試験当日安静が必要である旨の記載が必要） 学校感染症の場合は、大学所定の『「学校において予防すべき感染症」罹患証明書』でも可
親族（2親等内）の死亡 （適用期間は次のとおりとする。 ・死亡日を1日目とした7日以内。 ・死亡前日を1日目として遡った3日以内。）	死亡診断書、会葬案内等
教育実習	免許資格課程センター事務室の証明書
介護等体験	免許資格課程センター事務室の証明書
館園実習	免許資格課程センター事務室の証明書
社会福祉援助、精神保健福祉援助に関する実習	社会学部・社会学研究科事務室の証明書
公認心理師に係る心理実習	心理学部・心理学研究科事務室の証明書
就職試験 （採用に関わらないインターンシップや説明会等は除く。）	企業等が発行する就職(採用)試験受験証明書(注) (大学所定用紙あり)
大学院入学試験	当該大学院が発行する受験証明書
正課科目のインターンシップ	キャリアセンター、または大学コンソーシアム京都が発行する証明書
大学コンソーシアム京都単位互換科目、同志社女子大学単位互換科目の定期試験	当該科目設置大学が発行する受験証明書
国家試験	当該試験の受験票
課外活動	事前届出に基づく学生支援センターの証明書
災害	被災証明書
路線の遅延、不通 (採用に際して記載された通学区間における路線の15分以上の延着の場合に限る。)	交通機関が発行する延着証明書
裁判員制度 ・裁判員候補者として裁判員等選任手続に参加 ・裁判員、補充裁判員として職務に従事	裁判所が発行する証明書
検察審査会制度 ・検察審査員、補充員として職務に従事	検察審査会事務局が発行する証明書

(注) 対象事由が発生した場合は、企業等に証明書の作成を依頼してください。依頼にあたり不明点等ある場合は、キャリアセンターに問い合わせてください。

4. 期末試験に関する注意事項

受験上の注意

- (1) 受験のためには次の条件を備えていることが必要です。
 - a. 有効な登録がなされた科目であること。
 - b. 学費納入が済んでいること。
 - c. 科目担当者の指定する条件を備えていること。なお、授業日数の3分の2以上の出席がない場合は、科目担当者の判断によって、受験資格を取消することがある。
- (2) 試験場においては次のことを守らなければなりません。
 - a. 指定された試験場で受験すること。
 - b. 必ず学生証を持参し、机上に提示すること。万一、持参しなかった場合は、その試験の始まる前に証明書自動発行機(発行手数料100円)で仮学生証を発行すること。
 - c. 持込みを許された物以外はすべて鞆・袋などに入れること。なお、携帯電話(スマートフォンを含む)、パソコン(モバイルPC等を含む)、タブレット端末、スマートウォッチ等の通信機器、携帯音楽プレーヤー等の携帯型録音再生機器等(以下「携帯機器類」という。)については、電源を切って鞆や袋などに入しうこと(携帯機器類は時計代わりの使用も認めない)。
 - d. 試験開始より15分以上遅刻したものは受験できない。また、試験開始後30分を経過するまでは退室できない。
 - e. 受験者は学生証と答案用紙の氏名との照合確認を受けること。
 - f. 答案用紙の学生ID、氏名は必ずペン書とする。
 - g. 試験を放棄する場合も答案用紙に学生ID、氏名を記入して提出すること。答案用紙を持ち帰ってはならない。
 - h. その他すべて試験監督者の指示に従うこと。
- (3) 次の場合には、その答案は無効とみなされることがあります。
 - a. 無記名の場合。
 - b. 指定された試験場で受験しなかった場合。
 - c. 氏名を訂正した場合。
- (4) 次の行為は、不正行為として取り扱います。
 - a. 本人以外の者が、本人になりすまして試験を受けること。
 - b. 試験を受験するにあたって、机上や衣服、身体等に書き込みをすること。
 - c. 試験を受験するにあたって、持ち込みや使用を認められたものに書き込みをする等、本来の使用目的と異なる使い方をすること。
 - d. 試験時間中に、カンニングペーパー類や持ち込みを許可されていない参考書・ノート類を持ち込んだり、他の受験生の答案を見ること、他の人から答えを教わること。
 - e. 試験時間中に、答えを教える等の他の受験生を利するような行為をすること。
 - f. 答案用紙配付から回収までの私語や答案の見せ合い、交換をすること。
 - g. その他、試験監督者の指示に従わないこと。
- (5) 次の行為は、不正行為として取り扱う場合があります。
 - a. 試験時間中に、使用を認められていない器具を使用して解答すること。

講 時	試 験 時 間
1	9:20~10:30
2	11:00~12:10
3	13:25~14:35
4	15:05~16:15
5	16:45~17:55
6	18:25~19:35
7	20:05~21:15

窓口受付時間(開講期間)

		月～金曜日	土曜日
今 出 川 ※	今出川キャンパス教務センター 文学部、法学部、経済学部、今出川校地教務課、 免許資格課程センター事務局、 全学共通教養教育センター事務局	9:00~11:30 12:30~17:00 総合窓口 8:40~17:00	総合窓口のみ 8:40~11:30 12:30~17:00
	新町総合窓口 社会学部事務局、政策学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00 総合窓口 8:40~17:00	
	神学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	閉 室
	商学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	
	グローバル地域文化学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	
	国際教育インスティテュート事務局 国際教養教育院事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	閉 室
京 田 ※	京田辺キャンパス教務センター 生命医科学部、スポーツ健康科学部、心理学部、 グローバル・コミュニケーション学部、 免許資格課程センター事務局、京田辺校地教務課	9:00~11:30 12:30~17:00 総合窓口 9:00~17:00	閉 室
	文化情報学部事務局 理工学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	閉 室

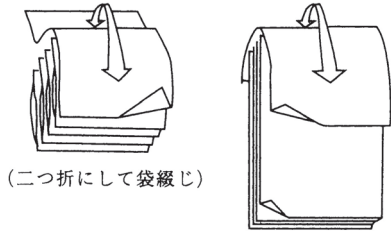
登録期間、休暇期間は受付時間が変わります。窓口受付時間が変更になる場合は、大学HP、掲示等によってお知らせします。
※ 教務センターの総合窓口では、一般的な質問の受付等を行います。

- b. 試験監督者の試験開始の指示の前に解答を始めること。
 - c. 試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
 - d. 試験場において、他の受験生の迷惑となる行為をすること。
 - e. 試験時間中に、携帯電話(スマートフォンを含む)、パソコン(モバイルPC等を含む)、タブレット端末、スマートウォッチ等の通信機能を有する機器、携帯音楽プレーヤー等の携帯型録音再生機器等(以下「携帯機器類」という。)を身に付けていたり、指示された以外の場所・状態で保管していること。
 - f. 試験時間中に、携帯機器類・時計等の音(着信、アラーム、振動音等)を鳴らすこと。
 - g. その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- (6) 上記の(4)または(5)に該当する行為があつて、当該学部教授会がそれを不正行為と認定した場合は、その試験が実施された学期中の全科目を不合格(2004年度生以降)または0点(2003年度生以前)とし、これを公表します(ただし、当該教授会が定める科目については除く)。

期末試験として実施するレポートの注意

- (1) レポート提出時は、次のことに注意すること。
 - a. レポートには所定の表紙(同志社生協で販売又は、https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/exam_type.htmlでダウンロード可)を付けること。
 - b. 表紙およびレポート受領書は、ペン書きのこと。
 - c. 学生証を持参のうえ、必ず本人が提出すること。郵送は認めない。
 - d. 提出締切日・時間に遅れたレポートは、受け付けない。ただし、提出締切日の突発的な事故等やむを得ない事由により、提出締切時間に間に合わない場合、必ず提出締切時間までに提出先に連絡を取り指示を受けること。
 - e. 一度提出したレポートは、提出締切日前であっても加筆・修正はできない。
 - f. レポート受領書は、評価が出るまで大切に保管すること。

〈見本〉 原稿用紙 レポート用紙



- (2) レポートに関する不正行為について。

次のようなレポートの不正作成は、教室で行われる試験と同様に不正行為として取扱い、教授会が認定した場合は学部一般規に従って処分の対象とします。

- a. レポートの作成にあたって、他人の著作物やWEB上の情報等を参照・引用したにもかかわらず、引用部分の明示や出典の記載もなく、自身で作成したように記述すること。
- b. 他人が作成したレポートを自身が作成したものと提出すること。

- c. 他人に依頼し作成させたレポートや電子的なツールやソフト等に指示し生成させたレポートを自身が作成したものとして提出すること。
- d. 他人に依頼されてレポートを作成すること。
- e. 転記目的で他人が作成したレポートの提供を受けること、また自身が作成したレポートを転記目的で他人に提供すること。
- f. その他、レポートの公平性を損なう行為をすること。

5. 期末試験以外の評価について

期末試験以外の評価においても、評価の方法により、上記「4. 期末試験に関する注意事項」が適用されることがある。同様に、上記「3. 追試験」の対象となることもあるので、詳細は所属の学部・研究科事務室窓口に照会すること。

学 業 成 績

成績評価

(1) 2004年度生以降

- a. 学業成績は以下の基準にしたがいA、B、C、D、Fの5段階で評価され、D以上が合格、Fが不合格です。就職用成績証明書等、本学以外で使用するために発行する学業成績証明書には、D以上の評価を得た科目とその成績に加えて、履修した全ての科目のGPA（Grade Point Average）が記載されます。

判定基準

評価	評点	判 定 内 容
A	4.0	特に優れた成績を示した
B	3.0	優れた成績を示した
C	2.0	妥当と認められる成績を示した
D	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

- b. GPAは、A～Fの段階で評価された全科目の評価を評点に換算して、その単位数で加重平均することによって算出されます。GPAの算出方法は次のとおりです。

$$GPA = \frac{(A \times 4.0 + B \times 3.0 + C \times 2.0 + D \times 1.0 + F \times 0.0)}{(A + B + C + D + F)}$$

(A～F)はA～Fの評価が付いた科目の単位数の合計

(2) 2003年度生以前

- a. 学業成績の評価は、100点満点で60点以上が合格、それに満たないものは不合格です。ただし、就職用成績証明書等、本学以外で使用するために発行する学業成績証明書には優、良、可（英文の場合はA、B、C）による評価が使用されます。優（A）は100～80点、良（B）は79～70点、可（C）は69～60点です。
- b. 平均点は、合格点に達している科目の得点を、その単位数で加重平均することによって算出されます。加重平均の算出方法は次のとおりです。

$$\text{平均点} = \frac{(\text{各科目の得点} \times \text{単位数}) \text{の合計}}{\text{総単位数}}$$

成績発表

履修科目の成績は、春学期末（9月中旬）と秋学期末（3月中旬）に各自に通知します。それ以前の成績の照会には応じません。

採点質問

成績評価に関する質問や異議申し立てをしたい場合は、定められた成績通知日から1週間以内に、所属の学部・研究科窓口にて採点質問票を提出してください。

不合格科目

(1) 2004年度生以降

F評価であった科目を再び履修してD以上の評価を得た場合は、直近のF評価についてのみGPAに算入されません。

ただし、一部の科目については取扱いが異なる場合がありますので、各学部の配布物等を参照してください。

(2) 2003年度生以前

不合格となった科目を再び履修して合格点を得た場合は、以前の不合格点は合格点に変更されます。

卒業の可否発表

卒業の可否の発表は2月下旬から3月上旬の卒業判定教授会終了後、各学生（父母住所宛）に通知します。それまでは、成績および卒業可否についての問い合わせには一切応じません。

クレーム・コミッティ制度

科目担当者との直接的なコミュニケーションでは解決できない授業内容や授業方法に関する改善の要望がある場合は、所属の学部・研究科窓口にご相談ください。学部・研究科で相談の内容を確認後、必要に応じて各学部等のクレーム・コミッティが事実関係を調査し、クレームに関わる一連の対応について回答します。

なお、いかなる場合であっても、相談者の学生IDや氏名が科目担当者に明かされることはなく、また相談によって決して不利益を被ることはありません。

欠 席 届

授業に欠席し、その理由を科目担当者に伝える場合は、欠席届を利用します。欠席届の用紙は学部・研究科事務室または各キャンパス教務センターで配布していますので、必要事項を記入の上、科目担当者に直接提出してください。なお、欠席届は任意で提出するものですので、届出必要科目は各自で判断してください。

○提出の際の留意点

- ・欠席届は、欠席の事由を科目担当者へ伝える届です。本学には「公欠」の制度はありませんので、「追試験の対象となる事由」に該当する事由か否かにかかわらず、欠席届の取扱い（欠席扱いにしない・する等）は、担当者の判断に委ねられます。
- ・欠席の事由を客観的に証明する書類がある場合は、欠席届に添付して提出してください（コピーでも可）。

例）病気の場合は「診断書」

※ ただし、欠席の事由が以下に該当する場合は、まずそれぞれの窓口に申し出て相談してください。

事由	相談窓口
学校感染症罹患による出席停止	所属の学部窓口
免許資格課程が必修としている 正課科目の実習（教育実習、博 物館実習、図書館演習）や介護 等体験に参加	免許資格課程センター事務室 （各キャンパス教務センター内）
資格取得に必修となっている 正課科目の実習に参加、など	当該科目の設置学部・研究科 事務室、所属の学部窓口
裁判員制度によるもの	所属の学部窓口
検察審査会制度によるもの	所属の学部窓口

路線の不通または暴風警報・特別警報発表に伴う 授業・期末試験の実施について

路線が不通の場合や暴風警報、特別警報が発表された場合には、授業および期末試験の実施について以下の措置をとります。

I. 路線が不通の場合

- ・「1. 対象となる路線」の定める条件に合致した場合、発生時の次の講時から授業休講・期末試験中止とします。
- ・開通後は、「2. 開通時刻と授業・期末試験開始講時」により開始講時を決定します。
- ・該当交通機関の事故等による一時的な運転見合わせの場合には、平常どおり授業・期末試験を実施しますのでご注意ください。

1. 対象となる路線

次のイ、ロ、ハのいずれかひとつの条件に合致する場合、発生時の次の講時から授業休講・期末試験中止とします。

[今出川校地]

イ. 京都市営バスおよび地下鉄が同時に全面不通の場合

ロ. 次表のa～dの2以上が同時に不通（全面または部分を問わず）の場合

路線		
a	阪急電車	京都河原町～大阪梅田間
b	京阪電車	出町柳～淀屋橋間
c	近鉄電車	京都～大阪難波間（大和西大寺経由）
d	JR	神戸～米原間

[京田辺校地]

イ. 京都市営バスおよび地下鉄が同時に全面不通の場合

ロ. 近鉄電車（京都～大和西大寺間）が全面不通の場合

ハ. 次表のa～eの2以上が同時に不通（全面または部分を問わず）の場合

路線		
a	阪急電車	京都河原町～大阪梅田間
b	京阪電車	出町柳～淀屋橋間
c	近鉄電車	京都～大阪難波間（大和西大寺経由）
d	JR	神戸～米原間
e	JR	木津～京橋間

2. 開通時刻と授業・期末試験開始講時

開通後は、次表の通り、開始講時を決定します。

授業・期末試験開始講時（※期末試験の時間帯は、授業時間と異なりますのでご注意ください。）

開通時刻	開始講時
6時30分までに開通	1講時から実施（平常どおり）
10時40分までに開通	3講時から実施
15時55分までに開通	6講時から実施
15時56分時点で不通が継続中	全講時休講

※司法研究科の期末試験開始講時は次表の通りとします。

期末試験開始講時

開通時刻	開始講時
6 時 30 分までに開通	1 講時（9 時 30 分）から実施（平常どおり）
10 時 00 分までに開通	2 講時（13 時 00 分）から実施
12 時 30 分までに開通	3 講時（15 時 30 分）から実施
12 時 31 分以後に開通	全講時実施しない

Ⅱ. 暴風警報あるいは特別警報発表の場合

- ・「1. 警報発表対象地域」に示す表の府県予報区、一次細分区域、市町村等をまとめた地域、または二次細分区域のいずれかひとつを対象に暴風警報あるいはなんらかの特別警報が発表された場合、発表時の次の講時から、その日の授業・期末試験の実施を中止します。
- ・ただし、発表された時点で、すでに実施中もしくは開始直前の授業・期末試験については、警報の緊急性等を考慮の上で、大学がその中止を判断します。
- ・特別警報が発表された場合、該当地域は非常に危険な状況にあります。特別警報発表地域にいる学生は、各自ただちに命を守る行動をとってください。特別警報の種類は問いません。ただし、特別警報発表時に大学構内にいる学生は、大学の指示に従って行動してください。また自宅や通学中の学生で特別警報が発表された地域にいる場合は、自身の判断により、命を守るために最善と思われる行動をとってください。
- ・警報解除後、危険が回避されたことが確認された場合には、「2. 警報解除時刻と授業・期末試験開始講時」により開始講時を決定します。ただし、状況判断の上、別途指示することがあります。

1. 警報発表対象地域

府県予報区	一次細分区域	市町村等をまとめた地域	二次細分区域
京都府	南部	南丹・京丹波	南丹市、京丹波町
		京都・亀岡	京都市、亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町
		山城中部	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町
		山城南部	木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村
大阪府	大阪府	北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
		東部大阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市
		大阪市	大阪市
		南河内	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
		泉州	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町

2. 警報解除時刻と授業・期末試験開始講時

警報解除後は、次表の通り、開始講時を決定します。

授業・期末試験開始講時（※期末試験の時間帯は、授業時間と異なりますのでご注意ください。）

警報解除時刻	開始講時
6 時 30 分までに解除	1 講時から実施（平常どおり）
10 時 40 分までに解除	3 講時から実施
15 時 55 分までに解除	6 講時から実施
15 時 56 分時点で警報が発表中	全講時休講

※司法研究科の期末試験開始講時は次表の通りとします。

期末試験開始講時

警報解除時刻	開始講時
6 時 30 分までに解除	1 講時（9 時 30 分）から実施（平常どおり）
10 時 00 分までに解除	2 講時（13 時 00 分）から実施
12 時 30 分までに解除	3 講時（15 時 30 分）から実施
12 時 31 分時点で警報が発表中	全講時実施しない。

- Ⅲ. I、Ⅱにかかわらず、授業・期末試験を行うことが困難もしくは危険であると学長が判断した場合、休講・中止とすることがあります。
- Ⅳ. I. に定めた路線において計画運休の確定情報が発表された場合、不通となる路線に応じて、授業の休講、期末試験の中止などの措置をとることがあります。
- Ⅴ. 路線の不通や暴風警報・特別警報の発表、荒天・自然災害などにより、平常どおり授業・期末試験を行うことができない時には、大学 HP、同志社大学ポータル、DUET、e-class 等を利用して、大学や授業担当者から、必要に応じた連絡を行います。
大学 HP、同志社大学ポータル、DUET、e-class 等をこまめに確認してください。

以上

春 学 期

17 週 (102 日)

秋 学 期

18 週 (108 日)

2025 年

4 月 1 日 (火)	春学期始め・春学期入学式
2 日 (水)	新入学生履修指導期間
3 日 (木)	オンデマンド授業期間 (DO Week)
4 日 (金)	
5 日 (土)	
6 日 (日)	
7 日 (月)	
8 日 (火)	面接授業開始 (注 1)
9 日 (水)	
10 日 (木)	
11 日 (金)	
28 日 (月)	
4 月 29 日 (火)	春学期学費納入最終日
5 月 2 日 (金)	休日
5 月 5 日 (月)	振替休日 (授業日)
6 日 (火)	
7 月 17 日 (木)	面接授業最終日
18 日 (金)	期末試験開始
21 日 (月)	海の日 (試験日)
31 日 (木)	期末試験終了
8 月 1 日 (金)	期末試験予備日・夏期休暇開始
1 日 (金)	春学期集中講義期間
7 日 (木)	
9 月 11 日 (木)	夏期休暇終了
12 日 (金)	在学生成績通知 (注 2)
20 日 (土)	春学期終り
27 日 (土)	春学期卒業式・学位授与式

9 月 21 日 (日)	秋学期始め・秋学期入学式
24 日 (水)	オンデマンド授業期間
25 日 (木)	(DO Week)
26 日 (金)	
27 日 (土)	
28 日 (日)	
29 日 (月)	
30 日 (火)	
10 月 1 日 (水)	面接授業開始
13 日 (月)	スポーツの日 (授業日)
31 日 (金)	秋学期学費納入最終日
11 月 1 日 (土)	同志社クローバー祭
2 日 (日)	
2 日 (日)	スポーツフェスティバル
3 日 (月)	文化の日 (授業日)
24 日 (月)	振替休日 (授業日)
26 日 (水)	創立記念行事週間 (休講)
27 日 (木)	
28 日 (金)	
29 日 (土)	創立記念日 (休日)
12 月 24 日 (水)	冬期休暇開始
25 日 (木)	キリスト降誕日 (休日)

2026 年

1 月 6 日 (火)	冬期休暇終了
7 日 (水)	面接授業再開
12 日 (月)	成人の日 (休日)
19 日 (月)	面接授業最終日
20 日 (火)	期末試験開始
23 日 (金)	創立者永眠の日
2 月 9 日 (月)	期末試験終了
12 日 (木)	秋学期集中講義期間
18 日 (水)	
3 月上旬	卒業可否通知
13 日 (金)	在学生成績通知 (注 3)
20 日 (金)	秋学期卒業式・学位授与式
21 日 (土)	
22 日 (日)	
31 日 (火)	秋学期終り

※ 1週分のオンデマンド授業は、各学期の面接授業開始以降、成績評価を終えるまでに配信される。

(注 1) 2 年次生以上は前年度 3 月の成績通知日以降、1 年次生は入学式以降、この面接授業開始日までに、先行登録期間及び履修科目登録期間が設定される。

(注 2) 成績通知日以降、秋学期の面接授業開始日までに、先行登録期間及び履修科目登録変更期間が設定される。

(注 3) 成績通知日以降、翌年度 4 月の面接授業開始日までに、先行登録期間及び履修科目登録期間が設定される。

2025 年

	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土	
4 月				1	2	3	4	5						1	2	3																
	6	7	8	9	10	11	12		4	5	6	7	8	9	10		8	9	10	11	12	13	14		7	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19		11	12	13	14	15	16	17		15	16	17	18	19	20	21		13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26		18	19	20	21	22	23	24		22	23	24	25	26	27	28		20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30					25	26	27	28	29	30	31		29	30								27	28	29	30	31		

日 月 火 水 木 金 土							日 月 火 水 木 金 土							日 月 火 水 木 金 土							日 月 火 水 木 金 土										
8 月						1 2	9 月		1 2	3 4	5 6	10 月			1 2	3 4	11 月							12 月							
	3	4	5	6	7 8 9	7		8	9	10 11 12 13	5		6	7	8	9		10 11	2	3	4	5	6 7 8								
	10	11	12	13	14 15 16	14		15	16	17 18 19 20	12		13	14	15	16 17 18		9	10	11	12 13 14 15										
	17	18	19	20	21 22 23	21		22	23	24 25 26 27	19		20	21	22	23 24 25		16	17	18	19 20 21 22										
	24	25	26	27	28 29 30	28		29	30		26		27	28	29 30 31	23		24	25	26 27 28 29											
	31																														

2026 年

	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土	
12月		1	2	3	4	5	6	1月					①	2	3	2月		1	2	3	4	5	6	7	3月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13		4	5	6	7	8	9	10		8	9	10	⑪	12	13	14	3		8	9	10	11	12	13	14
	14	15	16	17	18	19	20		11	⑫	13	14	15	16	17		15	16	17	18	19	20	21	15		16	17	18	19	⑳	21	
	21	22	23	24	25	26	27		18	19	20	21	22	23	24		22	⑬	24	25	26	27	28	22		23	24	25	26	27	28	
	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30	31												29	30	31			

●印は「国民の祝日に関する法律」に規定する休日

	I	II	III	IV	V
授業時間	9:00~10:30	10:45~12:15	13:10~14:40	14:55~16:25	16:40~18:10
	VI	VII			
	18:25~19:55	20:10~21:40			